

令和8年度  
政策予算説明資料

## 目 次

・ 総合政策部	1
・ 総務部	11
・ 市民部	17
・ 福祉部	25
・ こども未来部	31
・ 保健部	41
・ 環境部	49
・ 産業振興部	57
・ 農林水産振興部	69
・ 観光スポーツ文化部	85
・ 建設部	103
・ 都市整備部	119
・ 港湾局	137
・ 総合支所	147
・ 菊川総合支所	148
・ 豊田総合支所	150
・ 豊浦総合支所	152
・ 豊北総合支所	154
・ 消防局	157
・ 教育委員会	161
・ 上下水道局	173
・ ポートレース企業局	181
・ 参考資料	183

※様式中の開始年度について、合併以前から継続している事業(業務)は新市成立後の平成17年度としています。

# 総合政策部

事業名	地域おこし協力隊業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費		
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	挑戦でき活躍しやすい環境が整っていると感じる若者の割合		
担当課名	企画課	開始年度	平成29年度

1 事業の概要・取組

概要	都市地域から過疎地域等へ生活の拠点を移した者を地方公共団体が「地域おこし協力隊」として委嘱し、隊員は一定期間地域に居住して地域おこしの支援や地域協力活動を行う。そして、この活動を契機として地域への定住・定着を図ることにより、地域の活性化へと繋げる。
令和8年度の主な取組	①隊員枠を現行の7名から1名増員し、活動の活性化を図る。 ②隊員退任後の本市での起業を支援するとともに、就職などで市内に定住する隊員についても支援を行い、退任後の定住を促進する。 ③隊員が一体となって、自らの活動を地域に周知するなどコミュニケーションの場を創出し、隊員同士及び地域住民との繋がりを強化する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
地域おこし協力隊員の定住率(累積)	%	60.0	66.7	66.7	80.0

3 参考情報

■隊員の配置状況  
【R7(7名枠分)】

- ・菊川地区：1名
- ・豊田地区：1名
- ・豊浦地区：3名
- ・豊北地区：2名

【R8】  
新規1名増による8名枠体制

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		26,566	35,000	39,300	未定	未定
主要な経費	報償費(人件費等)	14,200	16,900	19,300		
	委託料等(受入団体経費等)	12,366	16,100	18,000		
	補助金(起業支援)		2,000	2,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	26,566	35,000	39,300		

事業名	ふるさと納税業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費/ふるさとしものせき応援基金費		
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	企画課	開始年度	平成20年度

1 事業の概要・取組

概要	ふるさと納税制度を活用した「ふるさとしものせき応援寄附金」の周知PR、受付、出納、返礼品送付等の業務を行う。また、寄附金の使途を明確化し、本市の課題や将来のまちづくりを見据えた事業に活用していくため、基金への積立てを行う。 【寄附金額 R4:944,079千円、R5:1,672,848千円、R6:2,631,940千円】
令和8年度の主な取組	市内事業者の既存商品を掘り起こし、新たな返礼品の導入による閑散期の底上げ及びPR強化を図り、年間通しての寄附金額の増額及び新規寄附者の獲得を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
ふるさとしものせき応援寄附金額	千円	2,631,940	2,800,000	3,300,000	3,500,000

3 参考情報

①ふるさとしものせき応援基金積立金（R8当初予算）  
1,568,100千円

②基金の活用状況（R8当初予算）  
1,060,000千円

充当分野	子育て支援	人口減少対策	医療福祉	有害獣対策	まちの活性化	市長が必要
充当額(千円)	305,900	25,000	22,200	8,800	543,700	154,400

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		2,631,665	2,800,000	3,300,000	未定	未定
主要な経費	委託料	1,230,400	1,311,737	1,473,729		
	その他事務費	155,065	163,263	258,171		
	基金積立金	1,246,200	1,325,000	1,568,100		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(財産収入)	1,224	2,178	9,560		
一般財源		2,630,441	2,797,822	3,290,440		

事業名	スマートシティ推進事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費		
総合計画の体系	第5章 第13節 スマートシティの推進	実施計画番号	30
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	しもまちプラス等で提供する各種サービスの利用率		
担当課名	企画課	開始年度	令和2年度

1 事業の概要・取組

概要	「スマートシティ基本設計」に基づき、産学官で構成するスマートシティ推進協議会を中心に、市民へ高質なサービスを「しもまちプラス」を通して提供できるよう開発を進めるとともに、人材育成やデジタルデバイス対策を講じ、デジタル社会への理解力や適応力、技術力の底上げを図る。
令和8年度の主な取組	①各種サービスの開発・連携 ②アドバイザー業務 ③スマートシティ推進協議会の運営 ④若者スタートアップ支援補助金 ⑤デジタル版地域おこし協力隊

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R16)
しもまちプラス等で提供する各種サービスの利用率	%	25.4	27.0	29.0	50.0

3 参考情報

《令和8年度事業のトピックス》

- 地域ポータルアプリの整備
  - ・しもまちプラスのアプリ化による各種サービスの充実、市民の利便性向上
- 地域ポイントサービス（しもまちポイント）運用開始
  - ・本市が進める施策に対して意識の向上や参加意欲を高めるため、各種ポイントを市民等へ提供する。

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		31,284	75,000	84,000	未定	未定
主要な経費	委託料等(市民サービス開発・運営経費等)	14,916	47,800	59,700		
	負担金等(協議会経費・若者スタートアップ)	7,571	13,000	10,100		
	報償費等(デジタル版地域おこし協力隊)	8,797	14,200	14,200		
財源	国庫支出金	11,107		19,000		
	県支出金					
	市債		28,800			
	その他特定財源(基金繰入金・諸収入)	272	19,400	20,500		
	一般財源	19,905	26,800	44,500		

事業名	情報発信最適化業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 文書広報費		
総合計画の体系	第8章 第1節 行政機能の充実	実施計画番号	35
ゴール目標【KGI】	市政の動向の把握や市政情報を適切に入手し、様々な行政サービスを活用できていると感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	市報やホームページなど市政情報の発信や市民の声の聴取などの環境が充実していると思う市民の割合		
担当課名	広報戦略課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	市公式ホームページの更新システム（CMS）を利用して、市が発信する情報をデータベース化し、各広報媒体へスムーズに連携させるための情報基盤を構築するもの。
令和8年度の主な取組	令和9年4月からのリニューアルに向けたシステム開発、データ移行、研修実施等

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R16)
(市民実感調査) 市報やホームページなど市政情報の発信や市民の声の聴取などの環境が充実していると思う市民の割合	%	29.9	34.0	38.0	70.0

3 参考情報

新しい情報発信体制（イメージ）

職員の作業効率の向上を図りつつ  
各媒体の特性を活かした  
戦略的な広報を実施

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				50,000	未定	未定
主要な経費	委託料			50,000		
財源	国庫支出金			25,000		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			25,000		

事業名	国際親善交流業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 国際交流費		
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進 第7章 第3節 人権意識の醸成、男女共同参画・多文化共生の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	市民一人ひとりの人権や多様性が尊重されていて、誰もが個性と能力を發揮できる、共生・協働社会に向けた取組が進んでいると感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	多文化共生社会の推進に向けた取組件数		
担当課名	国際課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	姉妹・友好都市との親善交流の実施、訪日団の受入れ、訪問団の派遣、釜山広域市・青島市への職員派遣、国際交流ボランティアを活用した様々な交流、小中学生海外派遣・国際交流研修事業、多文化共生のまちづくりに向けた啓発事業の実施、下関塾事業の実施、外国人住民のための地域日本語教室の開催により、国際交流等の推進を図る。
令和8年度の主な取組	姉妹・友好都市との行政交流や、青少年交流を目的とした海外派遣を実施する。特に釜山広域市との姉妹都市締結50周年を迎える年となるため、各種記念事業を執り行う。また、地域住民と外国人住民が一緒に行う防災訓練や多言語サポーター養成事業を実施するなど、下関市多文化共生・国際交流推進計画に基づき施策の推進を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R16)
多文化共生社会の推進に向けた取組件数	件	9	9	10	15

3 参考情報

<p>多文化共生事業状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災訓練、外国人住民のための日本語教室 等</li> </ul> <p>姉妹・友好都市交流状況 (R8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サントス市 (ブラジル連邦共和国) . . . 55周年記念事業</li> <li>・ 釜山広域市 (大韓民国) . . . 50周年記念事業、青少年交流事業等</li> <li>・ 青島市 (中華人民共和国) . . . 青少年交流事業等</li> <li>・ ピッツバーグ市 (アメリカ合衆国) . . . 青少年交流事業等</li> </ul>
---

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		28,587	31,577	46,762	未定	未定
主要な経費	釜山市・青島市職員派遣事業	6,276	7,445	7,286		
	青少年国際交流推進業務	8,030	9,322	9,128		
	姉妹友好都市締結周年記念事業	4,246		15,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金	288	307	327		
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金・諸収入)	3,328	4,494	17,849		
一般財源		24,971	26,776	28,586		

事業名	海峡エリアビジョン推進事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費		
総合計画の体系	第2章 第3節 みなとのにぎわいの創出	実施計画番号	12
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	共創イノベーション課	開始年度	令和5年度

1 事業の概要・取組

概要	「あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン」に掲げる「日本を代表するウォーターフロントシティ」の実現に向けて、官民一体の推進体制を整え、昼も夜も楽しみ尽くすことができる魅力的なエリアの創出を目指す。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光客等への魅力的な体験型コンテンツ等の構築に向けた実証</li> <li>◆マーケティングに必要な効果検証・データ分析等の実施</li> <li>◆マーケティングを主体的に行う組織の設立に向けた支援</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R9)
事業化したコンテンツの件数	件	1	3	3	3

3 参考情報

<p>◆組織の組成イメージ (構成員) 地先の事業者等 (組織体制) 企画広報チーム・・・エリア全体の広報活動、コンテンツの企画 実証・実行チーム・・・社会実験の実行、実績報告</p>	 <p>実証事業実施状況</p>
--	---

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		84,758	83,500	30,000	未定	
主要な経費	マスタープラン推進業務委託料	56,000	60,976	18,000		
	マスタープラン推進業務負担金等	20,758	14,524	12,000		
	リノベーションまちづくり推進業務委託料	8,000	8,000			
財源	国庫支出金	42,328	40,250	14,500		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	42,430	43,250	15,500		

事業名	地域資源を活用した公民共創まちづくり推進事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費		
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	14
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	共創イノベーション課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	リノベーションまちづくりの取り組みにより、空き家や空き地等を活用し、若者や地域住民が関わる拠点を創出することで、地域コミュニティの再生を図るとともに、関係人口の拡大及び移住定住につなげる。また、この取り組みに関心の高い民間事業者と連携し事業の推進を図る。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆当事業に未着手の菊川・豊田・豊浦地域へ横展開</li> <li>◆セミナー・ワークショップ開催</li> <li>◆未利用財産の調査、マッチング、改修等</li> <li>◆地域活性化起業人の活用</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R10)
地域資源を活用した公民共創プロジェクト件数	件			10	10

3 参考情報

本市の地域資源を、公民共創による「リノベーションまちづくり」を通じて一体的に推進し、「持続可能な地域社会の実現」と「地方創生の新たなモデル構築」を目指す。

建物・空間のリノベーション  
地域住民のリノベーション  
教育のリノベーション  
公民共創のリノベーションまちづくり「下関モデル」  
行政のリノベーション  
産業のリノベーション  
働き方のリノベーション  
テレワーク研修プログラム  
持続可能な地域社会を実現し、地方創生の新たなモデルを目指す

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				58,900	未定	未定
主要な経費	委託料			47,100		
	地域活性化起業人負担金			11,800		
財源	国庫支出金			22,300		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(諸収入)			30,656		
	一般財源			5,944		

事業名	人口定住促進業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費		
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	挑戦でき活躍しやすい環境が整っていると感じる若者の割合		
担当課名	共創イノベーション課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	移住定住トータルサポートセンターを中心に、移住希望者等に対して相談業務を行うとともに、各種支援制度や移住体験コンテンツを設けるなど、本市への移住定住促進を図る。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆移住定住トータルサポートセンター運営業務</li> <li>◆お試し暮らし物件の創出</li> <li>◆大都市圏から本市への移住促進を図るため移住支援金を拡充</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
UJIターン相談件数	件	1,131	1,200	1,400	1,500

3 参考情報

◆令和7年度主な取組みの状況（R7.12月末時点）

- ・移住相談件数 1,222件
- ・移住体験お試し暮らし実施件数 10件：82人
- ・移住支援事業補助金交付件数 13件：34人
- ・下関暮らしサポート補助金交付件数 16件：33人

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		57,553	70,560	79,663	未定	未定
主要な経費	委託料	36,145	37,261	37,605		
	補助金	14,900	27,083	34,708		
	報償費等	6,508	6,216	7,350		
財源	国庫支出金	12,231	15,698	15,698		
	県支出金	9,627	11,400	15,250		
	市債					
	その他特定財源(使用料・基金繰入金等)	2,414	16,539	3,850		
一般財源		33,281	26,923	44,865		



# 総務部

事業名	公立大学法人管理運営業務		
予算区分	一般会計 教育費 大学費 大学費		
総合計画の体系	第3章 第2節 教育の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	総務課	開始年度	平成19年度

1 事業の概要・取組

概要	公立大学法人の安定的な経営を図るための運営費交付金、大学等における修学の支援に関する法律に基づく授業料等減免額に応じた授業料等減免交付金を交付する。また、下関市公立大学法人評価委員会の運営等を通じて、法人業務の公共性や透明性を確保し、業務運営の効率化を推進する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営費交付金及び授業料等減免交付金の交付</li> <li>下関市公立大学法人評価委員会の開催</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R12)
(市民実感調査) 下関市立大学は地元の公立大学として地域に貢献していると思う市民の割合	%	17.27	20.00	20.00	20.00

3 参考情報

◆評価委員会による各年度の業務実績評価							◆評価区分		
評価項目		第3期中期目標期間						「S」年度計画を上回る成果が認められる 「A」年度計画を順調に実施している 「B」年度計画をおおむね順調に実施している 「C」年度計画に対する取組がやや不十分である 「D」年度計画に対する取組が不十分である	
		R1	R2	R3	R4	R5	R6		
分野別	教育	B	B	B	B	B	A		
	研究	C	A	A	A	A	A		
	産官学連携の推進	A	A	B	A	A	A		
	管理運営	C	B	B	B	A	A		

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		404,915	1,499,895	1,776,371	未定	未定
主要な経費	運営費交付金	292,196	1,231,412	1,462,934		
	授業料等減免交付金	112,495	268,000	313,000		
	公立大学法人管理業務	224	483	437		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(財産収入・基金繰入金)	4	496,000	434,000		
	一般財源	404,911	1,003,895	1,342,371		

事業名	下関市立大学大学院無償化事業		
予算区分	一般会計 教育費 大学費 大学費		
総合計画の体系	第3章 第2節 教育の振興	実施計画番号	17
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	総務課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	リカレント教育等を推進するため、下関市立大学の大学院の授業料及び入学金を無償化する。
令和8年度の主な取組	大学院を運営する公立大学法人下関市立大学に対して、無償化した授業料及び入学金相当額を運営費交付金として交付する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R13)
・大学院生を筆頭著者とする査読付きの論文掲載数(国際誌・全国誌) ・大学院生を筆頭発表者とする学会での発表数(国際学会・全国大会)	件			5	15

3 参考情報

研究科	課程	修業年限	入学定員	収容定員	開設年 ※新設は予定	
既設 経済学研究科	修士	2年	10人	20人	H12	【授業料】 535,800円/年
新設 地域サステナビリティ学研究科(仮称)	博士	3年	5人	15人	R9	
新設 データサイエンス学研究科(仮称)	修士	2年	15人	30人	R9	【入学金】 141,000円(市内) 282,000円(市外)
	博士	3年	5人	15人	R11	
看護学研究科(仮称)	修士	2年	5人	10人	R11	

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				13,536	未定	未定
主要な経費	運営費交付金			13,536		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			13,000		
	一般財源			536		

事業名	個別避難計画作成業務		
予算区分	一般会計 消防費 消防費 災害対策費		
総合計画の体系	第7章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	33
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	個別避難計画の作成率		
担当課名	防災危機管理課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	自ら避難することが困難な避難行動要支援者の安全な避難の確保を図るため、福祉専門職等関係者と連携して避難支援等を実施するための計画を作成する。
令和8年度の主な取組	福祉担当部局や福祉専門職、自治会等のさまざまな関係者と連携を図り、避難行動要支援者のうち、同意が得られた方から順次個別避難計画を作成する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R16)
個別避難計画の作成率	%	0.6	20.0	40.0	90.0

3 参考情報

○令和8年度作成予定人数：600人（直営により100人、委託により500人）  
 【対象者数】約3,000人（避難行動要支援者約7,500人のうち、半数以上は不同意者や未回答者と見込む。）

●災害対策基本法

（個別避難計画の作成）

第49条の14第1項 市町村長は、地域防災計画の定めるところにより、名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、当該避難行動要支援者について避難支援等を実施するための計画（以下「個別避難計画」という。）を作成するよう努めなければならない。ただし、個別避難計画を作成することについて当該避難行動要支援者の同意が得られない場合は、この限りでない。

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		1,654	4,500	4,500	4,500	4,500
主要な経費	委託料		3,850	3,850	3,850	3,850
	需用費	111	100	100	100	100
	役務費	1,543	499	499	499	499
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,654	4,500	4,500	4,500	4,500

事業名	国道用地先行取得事業(長府印内交差点周辺)		
予算区分	土地取得特別会計 土地取得事業費 土地取得事業費 土地取得事業費/国道用地取得事業費		
総合計画の体系	第5章 第5節 道路の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く(ハード面)、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	安全で便利な道路機能が構築されていると感じる市民の割合		
担当課名	資産経営課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	長府印内交差点周辺の慢性的な渋滞解消を図るため、平成28年度より国土交通省が国道2号印内地区交差点改良事業を進め、印内交差点から中土居交差点区間の拡幅工事が完了している。引き続き中土居交差点から三島交差点区間について、国から、市による事業用地の先行取得の依頼があり、事業推進のためこれを受託し、令和7・8年度の2か年で実施するもの。
令和8年度の主な取組	事業用地の先行取得として、用地買収及び建物補償等を実施する。また、令和7年度に先行取得した用地の一部は、国より再取得される。

2 施設の概要、計画等

■事業概要：中土居交差点～三島交差点

- 道路延長約300m、計画道路幅員25m(現況15m)
- 右折車線増設、自転車歩行者道整備

■令和7・8年度実施内容

- 用地買収、建物補償等

※取得の翌年度より4か年で国が再取得

国道2号 印内地区交差点改良事業 延長 1.0km

設計推進区間 L=0.3km

今回の先行取得範囲 用地推進区間 L=0.3km

R6.2.29工事完成区間 L=0.4km

自転車歩行者道の整備 横断歩道橋 (又)横断歩道 左折車線の増設

中土居交差点 印内西交差点

中央分離帯 大雲浦小学校

下り線側右折レーンの延伸 H30.2完成 下り線側自転車歩行者道の整備 R2.1完成

中土居交差点～三島交差点間

現況道路幅員 W=15m

計画道路幅員 W=25m

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			271,400	336,200	141,000	141,000
主要な経費	用地取得費		267,700	262,600		
	事務費		3,700	3,600		
	繰出金			70,000	141,000	141,000
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(財産収入・一般会計繰入金)		271,400	336,200	141,000	141,000
一般財源						



# 市民部

事業名	住民自治によるまちづくり推進事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費		
総合計画の体系	第7章 第4節 市民協働の推進 第8章 第1節 行政機能の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	まちづくり政策課	開始年度	平成24年度

1 事業の概要・取組

概要	市民が自主的に運営、活動するまちづくり協議会を積極的に支援し、まちづくりを支える人材の育成や地域課題の解決、地域活性化を図る。また、しもまちアプリを活用した市民に役立つ情報の発信や地域プロモーションに取り組む。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり協議会ネットワーク会議、会長意見交換会の開催</li> <li>○まちづくり交付金の交付</li> <li>○電子回覧板機能を主とした地域交流アプリの再構築</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
(市民実感調査) 住民自治によるまちづくり(まちづくり協議会)の取組が進んできたと感じる市民の割合	%	14.7	16.0	16.0	16.0

3 参考情報

<p>【令和7年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会ネットワーク会議(年2回)</li> <li>・まちづくり協議会会長意見交換会(年1回)</li> <li>・地域サポート職員配置</li> <li>・まちづくり交付金の交付</li> <li>・しもまちアプリの管理運用(令和7年12月末現在 60,420 DL)</li> </ul>
---

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		53,027	57,351	56,752	未定	未定
主要な経費	まちづくり交付金	49,251	52,200	51,000		
	しもまちアプリ情報発信事業	1,977	2,269	1,900		
	地域交流アプリ再構築業務			2,700		
財源	国庫支出金			1,350		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金・諸収入)	49,099	50,099	50,099		
一般財源		3,928	7,252	5,303		

事業名	コミュニティづくり推進業務		
予算区分	一般会計 民生費 社会福祉費 市民生活費		
総合計画の体系	第7章 第4節 市民協働の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	まちづくり政策課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	市民の自主的で主体的なまちづくりの促進を図るため、自治会等の地域コミュニティ組織が行う活動に対する支援を行う。また、自治会が管理する町民館の整備・維持補修への支援を行い、活動の場の確保に努める。
令和8年度の主な取組	町民館整備等に対する補助を行うほか、コミュニティ施設の維持管理を行う。また、下関市連合自治会に各種市政情報を配布するなど、自治会との連携を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
(市民実感調査) 住んでいる地域に地域活動の場(町民館等)が確保されていると思う市民の割合	%	51.8	52.0	53.0	55.0

3 参考情報

補助制度名称	実施件数		
	R5	R6	R7
掲示板設置事業	8	9	10
町民館整備事業	27	26	19
コミュニティセンター助成事業	0	0	0
一般コミュニティ助成事業	2	1	1

※ 令和7年度実施件数は見込み



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		123,022	128,461	125,025	未定	未定
主要な経費	地域活動振興業務委託料	106,135	107,749	106,322		
	町民館整備事業補助金、その他補助金	15,071	18,610	15,710		
	コミュニティ施設維持管理等	1,816	2,102	2,993		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(手数料・諸収入)	2,010	5,010	1,110		
	一般財源	121,012	123,451	123,915		

事業名	内日コミュニティセンター整備事業		
予算区分	一般会計 民生費 社会福祉費 市民生活費		
総合計画の体系	第7章 第4節 市民協働の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	まちづくり政策課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	内日公民館、内日支所及び内日老人憩の家の機能を旧内日中学校に移転・集約化し、支所併設のコミュニティセンターとして整備する。
令和8年度の主な取組	・コミュニティセンター改修工事の入札及び契約締結

2 施設の概要、計画等

■概要

- ・校舎1階改修 … 床・壁等改修、空調設備設置、照明LED化、トイレ改修、外壁改修 等
- ・屋内運動場 … 空調設備設置
- ・プール解体、駐車場整備、歩道整備

【改修後の用途】  
支所、スタジオ、レクリエーション室、調理実習室・多目的室、研修室、倉庫、自治連合会・まちづくり協議会事務所 等

■スケジュール(予定)

R7	実施設計
R8	入札・契約
R9	改修工事
R10	供用開始

■債務負担行為 (R9)  
限度額 500,000千円

内日公民館  
(内日支所)  
  
1,091㎡

→

内日中学校(閉校)  
集約化  
  
校舎:1,803㎡  
(うち1F 1,028㎡)  
体育館:776㎡

←

内日老人  
憩の家  
  
170㎡

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		1,837	20,500	債務負担行為の設定	500,000	
主要な経費	委託料	1,837	20,000			
	事務費		500			
	工事請負費					500,000
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債		18,400		450,000	
	その他特定財源					
一般財源		1,837	2,100		50,000	

事業名	綾羅木コミュニティ施設(仮称)整備事業		
予算区分	一般会計 民生費 社会福祉費 市民生活費		
総合計画の体系	第7章 第4節 市民協働の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	まちづくり政策課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	川中公民館分館の機能集約化に際し、指定避難所などの川中公民館に移転できない機能を補完するため、綾羅木地区(旧川中西幼稚園跡地)に新たなコミュニティ施設を整備する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>分館代替施設(綾羅木コミュニティ施設)実施設計</li> <li>旧川中西幼稚園舎解体工事実施設計</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

■概要  
 綾羅木コミュニティ施設  
 【建設予定地】旧川中西幼稚園跡地(古屋町二丁目8-1)  
 【建物】構造規模:RC造 地上2階建て 延床面積:約650㎡



■スケジュール(予定)

		R7	R8	R9	R10	R11
分館代替 旧川中西幼稚園	建設	←地元協議・調整→	→実施設計→		←建設工事→	→供用開始→
	解体		→実施設計→	←解体工事→		

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		7,700		54,000	124,850	527,866
主要な経費	委託料	7,700		54,000		
	工事請負費				124,850	527,866
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			54,000		
一般財源		7,700			124,850	527,866

事業名	防犯カメラ設置費補助金		
予算区分	一般会計 民生費 社会福祉費 市民生活費		
総合計画の体系	第7章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	34
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	犯罪認知件数		
担当課名	生活安全課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた取組を支援するため、防犯カメラを設置する自治会等の団体及び個人に対して設置費用の一部を助成する。
令和8年度の主な取組	【団体向け】 補助率2/3、上限30万円/団体 【個人向け】 補助率1/2、上限3万円/世帯

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R16)
犯罪認知件数	件	1,031	798	787	700

3 参考情報

補助金の交付実績

【団体向け】期間：R7. 5. 1～R7. 6. 30 (R7. 12. 1～R8. 1. 16追加募集)

年度	補助率	上限額	想定件数	補助件数	カメラ設置数
令和7年度	2/3	30万円/団体	5件	9件	16台

【個人向け】期間：R7. 10. 1～R8. 1. 30 (R8. 2. 27まで延長)

年度	補助率	上限額	想定件数	補助件数	カメラ設置数
令和7年度	1/2	3万円/世帯	600件	328件	584台

R8. 1. 30現在

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			23,500	27,600	未定	未定
主要な経費	団体向け防犯カメラ設置費補助金		1,500	3,000		
	個人向け防犯カメラ設置費補助金		18,000	18,000		
	事務費		4,000	6,600		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		22,000	24,000		
	一般財源		1,500	3,600		

事業名	男女共同参画施策推進業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費		
総合計画の体系	第7章 第3節 人権意識の醸成、男女共同参画・多文化共生の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	市民一人ひとりの人権や多様性が尊重されていて、誰もが個性と能力を発揮できる、共生・協働社会に向けた取組が進んでいると感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	性別を理由として、役割を固定的に分けることにとらわれない考え方を持っている市民の割合		
担当課名	人権・男女共同参画課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	男女共同参画社会の実現に向け、「第4次下関市男女共同参画基本計画」(令和3～令和8年度)に基づき、調査研究、講演会の開催等による意識啓発及び推進団体への支援を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画協議会の開催</li> <li>・男女共同参画に係る講演会・講座等の開催</li> <li>・男女共同参画意識啓発のための広報紙作成</li> <li>・「第5次下関市男女共同参画基本計画」作成</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R16)
(市民実感調査)性別を理由として、役割を固定的に分けることにとらわれない考え方を持っている市民の割合	%	61.9	62.0	64.0	70.0

3 参考情報

令和8年度実施予定		
・男女共同参画協議会	年	3回
・男女共同参画意識啓発事業講演会	年	1回
・DV防止講座	年	1回
・ハッピーマイライフセミナー	年	2回
・男女共同参画講座	年	3回
・男女共同参画パネル展	年	2回
・男女共同参画推進団体補助金		1団体



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		3,175	2,210	5,213	2,210	2,210
主要な経費	調査研究業務	1,919	382	3,359	210	210
	意識啓発業務	1,206	1,778	1,804	1,950	1,950
	男女共同参画推進団体育成業務	50	50	50	50	50
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,175	2,210	5,213	2,210	2,210

事業名	人権教育・人権啓発		
予算区分	一般会計 民生費 社会福祉費 人権啓発費		
総合計画の体系	第7章 第3節 人権意識の醸成、男女共同参画・多文化共生の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	市民一人ひとりの人権や多様性が尊重されていて、誰もが個性と能力を發揮できる、共生・協働社会に向けた取組が進んでいると感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	人権が尊重されていると感じる市民の割合		
担当課名	人権・男女共同参画課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	人権問題についての正しい理解を深め、人権意識の高揚を図るため、市民・企業・地域・学校に対する人権教育・啓発活動を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権施策推進審議会の開催</li> <li>・各種人権教育、啓発講座、研修会の開催</li> <li>・人権フェスティバルの開催</li> <li>・人権の花運動の実施</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R16)
(市民実感調査)人権が尊重されていると感じる市民の割合	%	30.9	22.0	32.0	34.0

3 参考情報

令和8年度実施予定					 <p>人権フェスティバル</p>
・人権施策推進審議会	年	1~2回			
・人権フェスティバル	年	1回			
・人権の花運動	対象小学校	5校			
・みんなで学ぼう人権講座	年	10回			
・人権ふれあいセミナー	年	3回			
・暮らしと人権セミナー	年	3回			
・人権ステップアップ講座	年	3回			

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		2,467	2,793	2,662	2,662	2,662
主要な経費	委託料	975	1,137	1,000	1,000	1,000
	報償費	569	621	621	621	621
	役務費	269	316	355	355	355
財源	国庫支出金					
	県支出金	990	1,120	1,099	1,099	1,099
	市債					
	その他特定財源					
一般財源		1,477	1,673	1,563	1,563	1,563

# 福祉部

事業名	蓋井島保健福祉館改修事業		
予算区分	一般会計 民生費 社会福祉費 社会福祉施設費		
総合計画の体系	第4章 第2節 地域福祉の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	日常の暮らしの中で、相談できる人や場所があると感じている市民の割合		
担当課名	福祉政策課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	老朽化した蓋井島保健福祉館の長寿命化を図る。
令和8年度の主な取組	蓋井島保健福祉館の外壁、防水、内装改修工事等を行う。

2 施設の概要、計画等

【施設の概況】

建築年	経過年数	法定耐用年数	使用目標年数	構造
1970年	55年	47年	2034年/64年	鉄筋コンクリート、一部鉄骨造

【改修等計画】

年度	項目
令和6年度	耐震診断等
令和7年度	改修設計
令和8年度	外壁、防水、建物改修工事（浴室、台所、トイレ、天井、玄関ドア、事務室ほか）






3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		3,254	9,000	108,000		
主要な経費	工事請負費			105,200		
	人件費			2,800		
	委託料	3,254	9,000			
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	3,200	9,000	108,000		
	その他特定財源					
	一般財源	54				

事業名	医療的ケア児・者在宅レスパイト事業		
予算区分	一般会計 民生費 社会福祉費 障害者福祉費/児童福祉費 児童措置費		
総合計画の体系	第4章 第4節 障害者福祉の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	市民一人ひとりの人権や多様性が尊重されていて、誰もが個性と能力を發揮できる、共生・協働社会に向けた取組が進んでいると感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	障害のある人、その家族にとって、日常や将来の生活に不安なく暮らしやすいと思う市民の割合		
担当課名	障害者支援課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	在宅の医療的ケア児や医療的ケア者に対し、訪問看護ステーションが、健康保険法の適用時間を超えて訪問看護を実施した場合の超過費用や、病院受診や外出の際の付き添いでの訪問看護の費用について助成し、家族の休息時間の確保や介護負担の軽減を図る。
令和8年度の主な取組	医療的ケア者（18歳に達する日以降の最初の3月31日を過ぎた医療的ケアを必要とする者）が利用できるよう対象を拡大し、在宅で医療的ケア児や医療的ケア者を支える家族を支援する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
延べ利用時間	時間	8	672	933	933

3 参考情報

<p>○対象者（以下の全てに該当する方）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下関市内に住所を有すること。</li> <li>・同居している家族から、在宅で介護を受けて生活していること。</li> <li>・人工呼吸器の管理、経管栄養等の医療的ケアを日常的に必要としていること。</li> <li>・訪問看護により、医療的ケアを受けていること。</li> </ul> <p>○事業内容</p> <p>訪問看護ステーションが、対象者への訪問看護（健康保険法の適用対象の訪問看護を除く）を行った場合に、その費用を助成する。（年間48時間上限）</p>
---

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		60	5,000	7,000	未定	未定
主要な経費	扶助費	60	5,000	7,000		
財源	国庫支出金	30	2,500	2,000		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			5,000		
	一般財源	30	2,500			

事業名	国民健康保険の保健事業		
予算区分	国民健康保険特別会計 保健事業費		
総合計画の体系	第4章 第1節 保健・医療の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	保険年金課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	被保険者の健康の保持増進及び医療費の適正化を図るため、データヘルス計画に基づき、疾病の予防、早期発見及び重症化予防を目的として、特定健康診査の受診率及び特定保健指導の利用率向上を図る。 また、糖尿病性腎症重症化予防事業、ジェネリック医薬品の利用促進、重複服薬や重複・頻回受診者への指導などを実施する。
令和8年度の主な取組	特定健康診査の受診率向上のため、自己負担金無料化やショッピングモール(ゆめシティ、シーモール)での集団健診を継続するとともに、SNSを活用した周知啓発に努める。また、特定保健指導については、市民の利便性向上を図るため、集団健診や人間ドック受診の際に利用できるようにするとともに、利用勧奨を推進していく。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
特定健康診査の受診率	%	31.9	33.0	34.5	39.0

3 参考情報

特定健康診査受診率

年度	R2	R3	R4	R5	R6
対象者数(人)	40,629	38,864	36,610	34,651	32,248
受診者数(人)	10,683	10,187	10,456	10,184	10,274
受診率(%)	26.3	26.2	28.6	29.4	31.9

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		232,848	311,001	314,042	未定	未定
主要な経費	保健助成業務	73,238	108,838	113,392		
	特定健康診査業務	157,141	192,657	190,493		
	特定保健指導業務	2,469	9,506	10,157		
財源	国庫支出金					
	県支出金	142,517	112,622	122,223		
	市債					
	その他特定財源(国民健康保険料)	90,331	198,379	191,819		
一般財源						

事業名	介護人材確保支援事業		
予算区分	介護保険特別会計 保健福祉事業費 保健福祉事業費 保健福祉事業費		
総合計画の体系	第4章 第3節 高齢者福祉の充実	実施計画番号	19
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	高齢者が、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して生活を送っていると思う市民の割合		
担当課名	介護保険課	開始年度	令和3年度

1 事業の概要・取組

概要	85歳以上人口の増加と労働力人口の減少が見込まれる中、介護保険サービスの提供体制を持続していくため、事業所へ就職する方への就労定着支援金等の支給、訪問介護員の労務環境改善に対する経費の助成、学生を対象とする出前講座の開催等を行い、介護人材の確保と就労定着に向けた支援を行うもの。			
令和8年度の主な取組	①介護職員等就労定着支援	8,500千円【拡充】	⑥介護職員定着支援	200千円【継続】
	②外国人介護人材確保支援	1,500千円【見直し】	⑦介護の仕事魅力発信	264千円【継続】
	③訪問介護事業所等暑さ対策支援	2,280千円【新規】		
	④介護サービス事業所人材確保支援	1,000千円【見直し】		
	⑤介護現場の生産性向上推進	296千円【見直し】		

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
介護サービス事業所への就職者数	人	45	90	90	90

3 参考情報

①介護職員等就労定着支援金の支給  
常勤100千円×40人（復職の有資格者150千円×10人）、非常勤訪問介護員50千円×30人、  
【新設】豊田・豊北圏域加算100千円×15人

②新たに就職する外国人介護職への転入旅費、引越費用、家賃の助成 150千円×10人

③【新規】訪問介護事業所等が行う訪問介護員の暑さ対策に要する経費の助成 30千円×76事業所

④訪問介護事業所等が行う新たな人材を確保するために取り組む経費の助成 50千円×20法人

⑤介護現場の生産性向上に関するセミナーの開催

⑥新規採用者のフォローアップを含む、介護職員同士の意見交換会の開催

⑦小中高校生を対象とした、介護支援専門員による出前講座の開催（10校）

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		7,828	13,209	14,040	未定	未定
主要な経費	介護職員等就労定着支援金	3,200	7,000	8,500		
	外国人介護人材確保支援事業補助金	900	2,000	1,500		
	訪問介護事業所等暑さ対策支援事業補助金			2,280		
財源	国庫支出金	7,828	13,209	14,040		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源					

事業名	旧4町圏域訪問介護サービス支援事業		
予算区分	介護保険特別会計 保健福祉事業費 保健福祉事業費 保健福祉事業費		
総合計画の体系	第4章 第3節 高齢者福祉の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	高齢者が、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して生活を送っていると思う市民の割合		
担当課名	介護保険課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	<p>介護報酬改定や物価高騰等の影響により、訪問介護事業はサービス維持が厳しい状況にあり、特に旧4町圏域（菊川・豊田・豊浦・豊北圏域）でのサービス継続を図る必要がある。</p> <p>については、旧4町圏域のサービス利用者の在宅生活を支援するため、旧4町圏域へ訪問介護を提供する事業所等に支援金を支給するもの。</p>
令和8年度の主な取組	<p>①旧4町圏域訪問介護サービス提供支援金（400円/回）を支給</p> <p>②旧4町圏域訪問介護サービスケアプラン作成支援金（400円/件）を支給</p>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
旧4町圏域に訪問介護サービスを提供する事業所数	箇所	20	19	21	21

3 参考情報

①旧4町圏域訪問介護サービス提供支援金  
旧4町圏域に居住する利用者（同一建物減算対象者を除く）へ訪問介護サービスを提供した場合、1回につき400円を事業所へ支給する。

②旧4町圏域訪問介護サービスケアプラン作成支援金  
旧4町圏域に居住する利用者（同一建物減算対象者を除く）へ訪問介護サービスのケアプランを作成した場合、1件につき400円を事業所へ支給する。

※本事業の「訪問介護サービス」には、要支援認定者等が利用する訪問型サービスを含む。

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				13,600	未定	未定
主要な経費	旧4町圏域訪問介護サービス提供支援金			12,000		
	旧4町圏域訪問介護サービスケアプラン作成支援金			1,600		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			13,600		
	一般財源					

# こども未来部

事業名	放課後児童クラブ運営業務 (民間委託拡充)		
予算区分	一般会計 民生費 児童福祉費 児童措置費		
総合計画の体系	第3章 第1節 こども・子育て支援の充実	実施計画番号	15
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合		
目標指標【KPI】	理想だと思ふこどもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
担当課名	子育て政策課	開始年度	令和5年度

1 事業の概要・取組

概要	放課後児童クラブにおける「支援員の処遇改善」、「責任の所在が不明瞭な組織体制」、「専門性の確保・資質向上の困難性」といった運営上の課題、そして「待機児童の解消」といった政策課題に取り組んでいくため、放課後児童クラブ運営業務委託を拡充するもの。
令和8年度の主な取組	待機児童が多く発生している長府・山陽・川中・勝山・山陰地域（一部）の児童クラブの運営について、民間委託を実施する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
職員配置基準による待機児童数 (委託運営するエリア内)	人	42	0	0	0

3 参考情報

○委託対象クラブ一覧

クラブ名	支援単位	定員	クラブ名	支援単位	定員
豊浦	4	213	川中	3	145
長府	2	96	川中西	2	94
王司	2	122	垢田	1	47
清末	2	126	安岡	4	161
小月	2	91	勝山	2	167
王喜	1	49	吉見	1	47

※支援単位及び定員はいずれも令和8年4月1日見込

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		16,998	17,268	434,880	411,759	411,759
主要な経費	委託料	16,998	17,268	434,880	411,759	411,759
財源	国庫支出金	5,665	2,502	62,614	62,614	62,614
	県支出金	5,665	2,502	62,614	62,614	62,614
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金・利用料)	2,179	2,853	309,460	57,460	57,460
	一般財源	3,489	9,411	192	229,071	229,071

事業名	放課後児童健全育成事業費補助金		
予算区分	一般会計 民生費 児童福祉費 児童措置費		
総合計画の体系	第3章 第1節 こども・子育て支援の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合		
目標指標【KPI】	理想だと思ふこどもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
担当課名	子育て政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	放課後児童クラブの待機児童が発生している地域において、民間事業者による新規の児童クラブ開設に要する経費に対して補助金を交付することにより、民間事業者の参入を促進し、待機児童の解消を図る。
令和8年度の主な取組	○令和9年度から新規に児童クラブを開設する民間事業者を選定（2か所） ○児童クラブ開設に要する経費に対して補助金を交付

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R9)
民間事業者による児童クラブ開設数	箇所				2

3 参考情報

【開設予定日】	令和9年4月1日
【開所予定日数】	年間約290日
【定員規模】	1か所当たり40名程度
【補助金交付額】	1か所当たり12,600千円以内

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				25,200	未定	未定
主要な経費	補助金			25,200		
財源	国庫支出金			8,400		
	県支出金			8,400		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			8,400		

事業名	病児保育利用料無償化事業		
予算区分	一般会計 民生費 児童福祉費 児童措置費		
総合計画の体系	第3章 第1節 こども・子育て支援の充実	実施計画番号	15
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合		
目標指標【KPI】	理想だと思ふこどもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
担当課名	子育て政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、病児保育所に病児を預けた場合の利用料を無償化する。
令和8年度の主な取組	令和8年4月1日から、病児1人当たり日額2,000円の利用料を徴収しないものとする（食事代やおむつ代等の実費は対象外）。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
病児保育無償化事業の利用者数	人			2,500	2,500

3 参考情報

病児保育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すこやかルーム（長府東侍町）</li> <li>・わかば病児保育所（汐入町）</li> <li>・おひさまキッズハウス（秋根南町）</li> <li>・病児保育室ここいえ（生野町）</li> </ul>
企業主導型保育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなとあひるっ子園唐戸（唐戸町）</li> <li>・やすおかKIDS（横野町）</li> <li>・りすさんの保育室（第1園）（唐戸町）</li> <li>・りすさんの保育室（第2園）（富任町）</li> </ul>

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				5,000	5,000	5,000
主要な経費	委託料			4,000	4,000	4,000
	補助金			1,000	1,000	1,000
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			5,000		
	一般財源				5,000	5,000

事業名	放課後児童クラブ (玄洋児童クラブ専用棟整備)		
予算区分	一般会計 民生費 児童福祉費 児童福祉施設費		
総合計画の体系	第3章 第1節 こども・子育て支援の充実	実施計画番号	15
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合		
目標指標【KPI】	理想だと思ふこどもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
担当課名	子育て政策課	開始年度	平成27年度

1 事業の概要・取組

概要	放課後児童クラブを利用する児童数の増加や小学校の統廃合に対応し、学校の余裕教室の確保や専用棟の新設等を計画的に進め、待機児童の解消に努めるとともに、保育環境の改善を図る。
令和8年度の主な取組	現玄洋中学校に開校される、本村小学校、西山小学校及び玄洋中学校の3校を統合した小中一貫校について、校舎内に余裕教室が見込めないことから敷地内に放課後児童クラブ専用棟を新設する。 令和8年度は専用棟の新築工事を行い、令和9年度からの運用開始に向けた準備を進める。

2 施設の概要、計画等

○玄洋児童クラブ  
 令和7年度：実施設計、地質調査  
 令和8年度：新築工事  
 令和9年4月1日：運用開始

<施設の概要>  
 構造：鉄骨造2階建て  
 建築面積：134.17㎡  
 延床面積：268.34㎡  
 定員：90人

児童クラブ	支援単位	種別	定員	保育必要児童数
西山	1	専用棟	69	63
本村	1	余裕教室	49	14



児童クラブ	支援単位	種別	定員
玄洋	2	専用棟	45
			45

※保育必要児童数は令和7年5月1日時点

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			16,152	168,000		
主要な経費	工事請負費			167,000		
	委託料		16,152	400		
	備品購入費			400		
財源	国庫支出金			23,614		
	県支出金			23,614		
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		16,000	120,000		
	一般財源		152	772		

事業名	就学前施設給食費無償化事業		
予算区分	一般会計 民生費 児童福祉費 児童措置費/児童福祉施設費		
総合計画の体系	第3章 第1節 こども・子育て支援の充実	実施計画番号	15
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思う保護者の割合		
目標指標【KPI】	理想だと思うこどもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
担当課名	幼児保育課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市内に居住し、就学前施設を利用する3歳以上児クラスの児童の給食費（主食費及び副食費）を月額上限額の範囲内で無償化する。
令和8年度の主な取組	本事業について、施設や保護者に対し周知を図るとともに、要綱等に基づき適切に運用する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
事業実施施設数	施設			78	80

3 参考情報

- 対象児童の給食費を1人当たり月額上限額7,900円の範囲内で無償化する。
- 対象施設：保育園、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設、企業主導型保育施設、地域型保育事業所、多様な集団活動事業施設
- 事業開始時期：令和8年4月1日

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				270,000	未定	未定
主要な経費	扶助費			266,000		
	賄材料費			4,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金			2,572		
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			267,000		
一般財源				428		

事業名	こども誰でも通園制度		
予算区分	一般会計 民生費 児童福祉費 児童措置費		
総合計画の体系	第3章 第1節 こども・子育て支援の充実	実施計画番号	15
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合		
目標指標【KPI】	理想だと思ふこどもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
担当課名	幼児保育課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	こどもの良質な成育環境を整備するとともに、すべての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、就労要件を問わず、月10時間の利用可能枠の中で柔軟にこどもを受け入れる事業を実施する。
令和8年度の主な取組	乳児等通園支援事業の実施体制を拡充するとともに、事業実施施設に対し乳児等支援給付費を支給する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
事業実施施設数	施設		10	15	15

3 参考情報

●令和8年度実施予定園

【公立施設】川中幼稚園、清末幼稚園、中央・菊川・豊田・川棚子育て支援センター

【私立施設】弥生保育園、のあ保育園、ひがし子ども園、しおかぜの里こども園、でしまつ子ども園、勝山保育園子育て支援センター、りすさんの保育室、りすさんの保育室第2園、紬木保育園

- 対象児童 保育所等に通園していない0歳6か月から満3歳未満のこども
- 利用料標準額 1時間当たり300円

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			35,987	38,201	未定	未定
主要な経費	人件費等		8,987	17,961		
	委託料・扶助費		10,000	20,240		
	工事請負費		17,000			
財源	国庫支出金		14,949	23,610		
	県支出金			3,935		
	市債		15,600			
	その他特定財源(諸収入)		475	2,280		
	一般財源		4,963	8,376		

事業名	第2子以降保育料無償化事業		
予算区分	一般会計 民生費 児童福祉費 児童措置費		
総合計画の体系	第3章 第1節 こども・子育て支援の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合		
目標指標【KPI】	理想だと思ふこどもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
担当課名	幼児保育課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、認可外保育施設も含め、所得制限などの要件を設けず、第2子以降の保育料を無償化（認可外保育施設の場合は月額上限あり）する。
令和8年度の主な取組	本事業について、施設や保護者に対し周知を図るとともに、要綱等に基づき適切に運用する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
無償化対象児童数	人	1,199	1,200	1,200	1,200

3 参考情報

	対象施設・利用形態	無償化の内容	手続き
認可保育施設	・保育所 ・認定こども園（保育部分） ・事業所内保育事業	第2子以降のお子さん(0~2歳児)が、認可保育施設を利用する場合の保育料を無償化	原則、手続きは不要
認可外保育施設等	・認可外保育施設等 ・企業主導型保育施設 ・ファミリー・サポート・センター事業 ・病児保育事業	保育を必要とする第2子以降のお子さん(0~2歳児)が、認可外保育施設等を利用する場合の保育料を無償化（償還払、月額上限あり）	保育の必要性の認定と、保育料の償還払について、申請手続きが必要
幼稚園等	・幼稚園 ・認定こども園（幼稚園部分）	保育を必要とする第2子以降のお子さんが、幼稚園等の満3児クラスで預かり保育を利用する場合の保育料を無償化（償還払、月額上限あり）	

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		130,301	84,000	57,600	未定	未定
主要な経費	扶助費	130,301	84,000	57,600		
財源	国庫支出金					
	県支出金	12,390	42,000	28,800		
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)	117,000	42,000	28,000		
	一般財源	911		800		

事業名	交流型子育て総合支援施設整備事業		
予算区分	一般会計 民生費 児童福祉費 児童福祉施設費 一般会計 土木費 道路橋りょう費 交通安全施設整備事業費		
総合計画の体系	第3章 第1節 こども・子育て支援の充実	実施計画番号	15
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合		
目標指標【KPI】	理想だと思ふこどもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
担当課名	幼児保育課／道路河川建設課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	旧第一幼稚園跡地に、民設民営を前提とする認定こども園、子育て支援、保健・福祉、及び多世代交流の機能を備えた交流型子育て総合支援施設を整備する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業者公募に向けた資料作成業務</li> <li>○園舎解体設計業務</li> <li>○用地測量、工作物調査等、道路改良工事</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<p>○敷地概要</p> <p>3943.7㎡(公簿面積)</p>	<p>○周辺地図</p>																
<p>○事業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">スケジュール</th> </tr> <tr> <th>施設整備検討業務</th> <th>周辺道路整備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～R6</td> <td>廃園・アスベスト調査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>基本構想・計画策定</td> <td>測量・設計</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>公募準備 園舎解体設計</td> <td rowspan="2">用地測量・工作物調査等 道路改良工事</td> </tr> <tr> <td>R9～</td> <td>公募・園舎解体工事 施設整備等</td> </tr> </tbody> </table>	年度	スケジュール		施設整備検討業務	周辺道路整備	～R6	廃園・アスベスト調査		R7	基本構想・計画策定	測量・設計	R8	公募準備 園舎解体設計	用地測量・工作物調査等 道路改良工事	R9～	公募・園舎解体工事 施設整備等	
年度		スケジュール															
	施設整備検討業務	周辺道路整備															
～R6	廃園・アスベスト調査																
R7	基本構想・計画策定	測量・設計															
R8	公募準備 園舎解体設計	用地測量・工作物調査等 道路改良工事															
R9～	公募・園舎解体工事 施設整備等																

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		1,200	20,000	80,850	未定	未定
主要な経費	施設整備検討業務	1,200	5,000	19,000		
	周辺道路整備		15,000	61,850		
財源	国庫支出金		8,250	31,350		
	県支出金					
	市債		6,000	27,400		
	その他特定財源(基金繰入金)		5,750	22,000		
	一般財源	1,200		100		

事業名	多子世帯子育て応援給付金給付事業		
予算区分	一般会計 民生費 児童福祉費 児童福祉総務費		
総合計画の体系	第3章 第1節 こども・子育て支援の充実	実施計画番号	15
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合		
目標指標【KPI】	理想だと思ふこどもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
担当課名	こども家庭支援課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	3人以上のこどもを養育する多子世帯に対して、こどもを養育する上で特に金銭的負担が大きい節目の時期に、子育て応援給付金を給付する。
令和8年度の主な取組	○1歳に50万円、6歳に20万円、15歳に10万円を給付

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
給付率	%			100	100

3 参考情報

○対象者	：10月1日時点で下関市に住所を有し、18歳未満（18歳到達後最初の年度末までを含む）のこどもを3人以上養育する者（生活保護受給世帯除く） ※1年以上下関市に継続して住所を有する場合に限る。
○対象児童	：第3子以降の1歳、6歳（翌年度小学校入学者）、15歳（中学3年生）
○給付方法	：児童手当の仕組みが利用可能な世帯はプッシュ型 公務員世帯等は申請型
○申請時期	：令和8年11月～12月（予定）
○支給時期	：令和9年1月（予定）

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				173,000	173,000	173,000
主要な経費	補助金			166,700	166,700	166,700
	事務費			6,300	6,300	6,300
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			173,000	173,000	173,000
	一般財源					

# 保健部

事業名	AED屋外設置事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 保健衛生総務費		
総合計画の体系	第4章 第1節 保健・医療の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	健康づくりに関するサービスや医療環境などが充実し、健康的な生活がしやすいと実感する市民の割合		
担当課名	地域医療課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	保健部がAEDを設置している公共施設(237施設)においては、宿日直業務等により24時間職員が常駐している一部の施設を除き、原則、施設閉館中はAEDを使用することができない状況にあるため、いつでも使用できるように、段階的にAEDの屋外設置用ボックスを設置する。
令和8年度の主な取組	近隣に24時間使用可能なAEDがない地域を優先し、公民館を中心とした13施設に設置を行う。

2 施設の概要、計画等

【屋外設置予定施設】13施設

榑崎公民館	室津支所(室津公民館)	内日公民館
殿居公民館	宇賀ふれあいセンター	吉母公民館
三豊公民館	長府公民館	玄洋公民館
角島支所(角島公民館)	王司公民館	
栗野支所(栗野公民館)	吉田公民館	

壁掛け型(例)



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				3,000	未定	未定
主要な経費	委託料			3,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			3,000		
	一般財源					

事業名	新病院周辺整備事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 保健衛生総務費		
総合計画の体系	第4章 第1節 保健・医療の充実	実施計画番号	18
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	健康づくりに関するサービスや医療環境などが充実し、健康的な生活がしやすいと実感する市民の割合		
担当課名	地域医療課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	下関市立市民病院及び下関医療センターを統合した新病院の整備に向け、国土交通省の「都市構造再編集中支援事業」を活用し、新病院整備と一体的に周辺整備を行う。
令和8年度の主な取組	病院を誘導施設とする国内事例の収集や都市計画の目標設定などを行い、新病院と一体となった周辺整備に関する「都市再生整備計画」を策定する。

2 施設の概要、計画等

●都市構造再編集中支援事業

「立地適正化計画」に基づき、地方公共団体や民間事業者等が行う都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の誘導・整備、防災力強化、災害からの復興、居住の誘導の取組等に対し集中的な支援を行い、各都市が持続可能で強靱な都市構造へ再編を図ることを目的とする事業。

「都市再生整備計画」に基づき実施される事業等のうち立地適正化計画の目標に適合するものに支援される。

【都市再生整備計画策定区域】

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				10,000		
主要な経費	委託料			10,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			10,000		
	一般財源					

事業名	新病院整備事業		
予算区分	病院事業会計 資本的支出 建設改良費 新病院整備事業費		
総合計画の体系	第4章 第1節 保健・医療の充実	実施計画番号	18
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	健康づくりに関するサービスや医療環境などが充実し、健康的な生活がしやすいと実感する市民の割合		
担当課名	地域医療課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	地域医療構想調整会議中間報告及び第2次中間報告を踏まえ、下関市立市民病院及び下関医療センターを統合した新病院を整備する。
令和8年度の主な取組	令和7年度に引き続き、新病院建設地における文化財調査を実施するとともに、新病院の設計施工者選定に係る要求水準の整理や設計施工者の選定などの新病院整備支援の委託を行う。

2 施設の概要、計画等

令和8年度に基本計画を策定し、令和8年度から令和9年度にかけて設計施工者を選定し、基本設計等を行う。

- 令和6年度～令和8年度：基本計画の策定
- 令和8年度～令和9年度：設計施工者選定準備及び選定
- 令和9年度～：基本設計等に着手

R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	R11(2029)年度	R12(2030)年度	R13(2031)年度
基本計画策定(R6～)	設計施工者の選定等	基本設計～建設				

○債務負担行為 (千円)

事業名	期間	限度額	左の財源内訳	
			他会計補助金	その他
新病院整備コンストラクション・マネジメント業務	R9～R12	170,300	170,300	
新病院整備医療コンサルアドバイザー業務	R9～R12	171,000	171,000	

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			112,320	89,200	未定	未定
主要な経費	委託料		80,320	77,700		
	負担金(文化財調査)		31,000	10,500		
	事務費		1,000	1,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(他会計補助金)		112,320	89,200		
一般財源						

事業名	産後ママとベビーのためのケア事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 保健衛生総務費		
総合計画の体系	第4章 第1節 保健・医療の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	健康づくりに関するサービスや医療環境などが充実し、健康的な生活がしやすいと実感する市民の割合		
担当課名	健康推進課	開始年度	平成28年度

1 事業の概要・取組

概要	出産後1年以内の母子に対して心身のケアや育児のサポート等きめ細かい支援（産後ケア）を実施する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産後ケアの提供体制の拡充を図る。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料の無償化（自己負担の撤廃）</li> <li>・訪問型の利用回数の拡大（1回→7回）ただし、日帰り型と合わせて7回まで（任意に選択可能）</li> <li>・多胎児家庭の利用回数の拡大（7回→10回）</li> </ul> </li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
利用後のアンケートで「満足できた」「まあまあ満足できた」と回答した人の割合	%	90	90	100	100

3 参考情報

●事業を実施している市内の助産所 (箇所数)				●利用実績 (延件数)				
	助産所	サービス型				宿泊型	日帰り型	訪問型
		宿泊型	日帰り型	訪問型				
令和6年度末	3	0	2	2	令和6年度	17	28	3
令和7年度(12月末時点)	4	1	3	4	令和7年度(12月末時点)	20	294	60

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		1,967	3,000	12,000	未定	未定
主要な経費	職員手当等			322		
	需用費			100		
	委託料	1,959	3,000	11,569		
財源	国庫支出金	983	1,500	6,000		
	県支出金		750	3,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	984	750	3,000		

事業名	不妊治療費助成事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 保健衛生総務費		
総合計画の体系	第4章 第1節 保健・医療の充実	実施計画番号	19
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	健康づくりに関するサービスや医療環境などが充実し、健康的な生活がしやすいと実感する市民の割合		
担当課名	健康推進課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	不妊に悩む夫婦が早い段階から治療に取り組めるよう、一般不妊治療費及び人工授精費の保険診療の自己負担分を助成し、経済的負担を軽減する。
令和8年度の主な取組	相談体制を強化するとともに、所得要件及び助成限度額を撤廃し、治療に係る保険診療の自己負担分を全額助成する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
一般不妊治療費及び人工授精費助成の申請件数	件	167	170	260	260

3 参考情報

●令和8年度より撤廃する所得要件及び助成限度額

	所得要件	助成限度額
一般不妊治療費助成事業	夫婦の控除後の前年所得合計 730万円未満	30,000円/年度
人工授精費助成事業		9,000円/年度

➡ 撤廃

●令和6年度申請実績：167件（一般103件、人工64件）

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		2,841	4,625	10,000	未定	未定
主要な経費	人件費			3,781		
	報償費	88	136	135		
	扶助費	2,673	4,300	5,950		
財源	国庫支出金	225	225	188		
	県支出金	1,441	2,126	1,924		
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			7,800		
一般財源		1,175	2,274	88		

事業名	RSウイルスワクチン予防接種事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 予防費		
総合計画の体系	第4章 第1節 保健・医療の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	健康寿命の延伸		
目標指標【KPI】	健康づくりに関するサービスや医療環境などが充実し、健康的な生活がしやすいと実感する市民の割合		
担当課名	健康推進課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	予防接種法に基づき、令和8年度から妊婦を対象としたRSウイルスワクチンの定期接種を実施し、新生児・乳児のRSウイルス感染症の発症及び重症化を予防する。
令和8年度の主な取組	対象者：妊娠28週から37週に至るまでの者（妊娠中1回）

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
定期予防接種の接種率	%			100	100

3 参考情報

- 接種見込人数 1,200人 ※R3～R6年の妊娠届出数の平均
- 接種委託料単価 31,130円（山口県個別接種標準料金(案)）
- 費用負担 定期予防接種A類に該当するため、接種費用の全額を市が負担

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				45,000	未定	未定
主要な経費	需用費			25		
	委託料			43,973		
	補助金			1,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			45,000		

事業名	飼い主のいない猫と地域との共生事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 環境衛生費		
総合計画の体系	第7章 第2節 公衆衛生の充実	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	動物愛護管理センター	開始年度	令和8年度

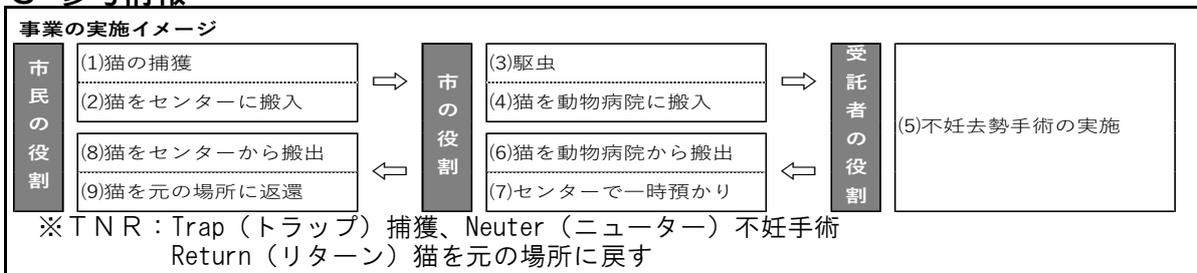
1 事業の概要・取組

概要	市民が飼い主のいない猫の不妊去勢を無料で行えるしくみを整えることにより、市民によるTNRを促進し、飼い主のいない猫の繁殖による増加の抑制を図り、もって飼い主のいない猫と地域との共生を実現する。
令和8年度の主な取組	飼い主のいない猫の不妊去勢手術の実施 ・実施期間 令和8年度から令和12年度まで（5年間） ・実施形態 業務委託 ・計画頭数 400頭/年

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R12)
不妊去勢手術の実施頭数(累計)	頭			400	2,000

3 参考情報



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				14,200	12,600	12,600
主要な経費	委託料			11,940	11,940	11,940
	需用費			1,808	417	417
	役務費・備品購入費			452	243	243
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			14,200	12,600	12,600
	一般財源					

# 環境部

事業名	脱炭素先行地域づくり業務		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 公害対策費		
総合計画の体系	第6章 第2節 自然と調和した脱炭素社会の構築	実施計画番号	31
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	温室効果ガス排出量		
担当課名	環境政策課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	令和6年9月の脱炭素先行地域（第5回）選定を受け、海響館や唐戸市場等の観光施設や第三次産業が集積する市街地（あるかぼーと・唐戸エリア）を中心に脱炭素化の取組を進めるとともに、地域新電力による地産地消の再エネ普及拡大と地域内経済の活性化を図る。
令和8年度の主な取組	①未利用地への太陽光発電の導入、潮流発電の導入（潮流調査） ②公共施設の脱炭素化 ③カーボンオフセット都市ガスの展開 ④地域金融機関と連携した金利優遇融資商品の展開 ⑤環境教育、資源循環活動による市民行動変容の実現 ⑥再エネ省エネ設備導入補助金

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
エリア内の民生部分における化石由来の電力需要量	万kWh	3,523	3,188	2,452	0

3 参考情報

二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）補助率2/3  
【令和8年度の主な取組（事業費/交付金額）】

- ①太陽光発電の導入、潮流発電の導入（潮流調査）（586,802千円/388,534千円）
- ②公共施設（海響館・唐戸市場・市役所本庁舎）の脱炭素化（43,763千円/29,175千円）
- ③カーボンオフセット都市ガスの展開（1,784千円/0円）
- ④地域金融機関と連携した金利優遇融資商品の展開（18,000千円/0円）
- ⑤環境教育、資源循環活動による市民行動変容の実現（12,000千円/8,333千円）
- ⑥再エネ省エネ設備導入補助金（239,935千円/159,958千円）

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			368,000	648,000	未定	未定
主要な経費	補助金		344,000	570,992		
	委託料		21,276	73,213		
財源	国庫支出金		364,000	606,000		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			42,000		
	一般財源		4,000			

事業名	みらいまなびチャンネル事業		
予算区分	一般会計 衛生費 保健衛生費 公害対策費		
総合計画の体系	第6章 第2節 自然と調和した脱炭素社会の構築	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	温室効果ガス排出量		
担当課名	環境政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	地域の自然や施設、企業などの地元素材を活かした環境学習動画教材を整備し、学校教育や家庭学習で活用することで、児童が環境について学べる機会を確保するもの。 授業内で継続的に活用できる教材とすることで、将来の環境を考える力を育み、より多くの児童に安定的な環境学習の機会を提供する。
令和8年度の主な取組	学校教育現場のニーズを踏まえ、授業内で最も活用しやすい環境学習動画教材を作成し、授業や家庭学習での活用状況を検証する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
動画教材を授業等で活用した小学校数	校			1	41

3 参考情報

○学校現場の授業進行や時間割に合わせて活用できる教材とすることで、教員負担の軽減と環境教育の継続的実施を図る。  
○令和8年度は動画教材を作成し、授業での活用状況等を検証した上で、次年度以降は段階的な教材拡充を検討

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				2,000	未定	未定
主要な経費	委託料			2,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			2,000		
	一般財源					

事業名	一般廃棄物処理業等合理化事業		
予算区分	一般会計 衛生費 清掃費 し尿処理費		
総合計画の体系	第6章 第3節 循環型社会の進展を目指す廃棄物処理の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	廃棄物対策課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	浄化槽汚泥収集運搬・清掃の営業許可を持つ事業者の廃業及び許可車両の減車に対し、「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」（合特法）に基づき合理化事業計画(第1期)を策定し、廃業する事業者へ転廃交付金を交付する。
令和8年度の主な取組	浄化槽汚泥清掃業者2事業者が廃業し、事業者が保有する浄化槽汚泥収集運搬車両3.99台（汚泥積載量1.8kℓ換算）を減車することに伴い、廃業する事業者へ転廃交付金を交付する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R9)
廃業事業者数（累計）	者		2	4	5

3 参考情報

- 平成31年2月から下関市新合理化事業計画推進協議会及び同検討部会により協議を重ねてきた。代替業務の提供が困難であり、廃業に伴う減車に対し、転廃交付金の交付を行う。
- 合理化事業計画は令和7年2月4日に山口県承認
- 計画期間（第1期）：令和7年度～令和9年度
- 計画内容：5事業者廃業（保有車両8.99台（汚泥積載量1.8kℓ換算））
- 転廃交付金：21,894千円/台 ・ 廃業時加算金：2,188千円/者
- 事業者数の推移：令和7年度16事業者・令和8年度14事業者

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			70,058	91,733	45,976	
主要な経費	補償金		70,058	91,733	45,976	
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		70,058	91,733	45,976	

事業名	廃棄物減量等推進業務		
予算区分	一般会計 衛生費 清掃費 清掃総務費		
総合計画の体系	第6章 第3節 循環型社会の進展を目指した廃棄物処理の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	市民1人1日当たりのごみ排出量		
担当課名	クリーン推進課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	地球環境に負荷の少ない循環型社会の形成を実現するため、4つのR（リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ）の啓発、ごみの分別の徹底、生ごみ・食品ロスの削減、事業系ごみの削減及び適正処理を推進し、「下関市一般廃棄物処理基本計画」に定める目標の達成を維持するとともに、新たな基本計画の目標設定について検討を進める。
令和8年度の主な取組	令和9年度に予定している次期「下関市一般廃棄物処理基本計画」の策定に向けてごみ組成調査を実施する。その他に、リユース品の試験回収、親子リサイクル教室の開催、ごみの分け方・出し方ガイドの作成、生ごみ堆肥化容器購入費補助金の交付、再資源化推進事業奨励金の交付等を行う。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R9)
市民1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	967	998	989	980

3 参考情報

事業実績		R2	R3	R4	R5	R6
生ごみ堆肥化容器購入費補助金	土地埋め込み式(基)	20	31	30	15	28
	電気式(基)	32	31	41	46	58
	合計	52	62	71	61	86
再資源化推進事業奨励金	実施団体数(団体)	276	264	254	253	232
	再資源化量(t)	3,085	3,150	2,998	2,360	2,157

【下関市一般廃棄物処理基本計画】計画期間：平成30年度～令和9年度

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		13,321	20,107	20,910	未定	未定
主要な経費	ごみ組成調査業務			3,000		
	生ごみ堆肥化容器購入費補助金	1,165	1,486	1,605		
	再資源化推進事業奨励金	9,041	12,879	11,037		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(諸収入)	376	376	376		
	一般財源	12,945	19,731	20,534		

事業名	基幹的設備改良事業 (奥山工場180t炉)		
予算区分	一般会計 衛生費 清掃費 じん芥処理費		
総合計画の体系	第6章 第3節 循環型社会の進展を目指す廃棄物処理の推進	実施計画番号	32
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており(ソフト面)、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	環境施設課	開始年度	令和元年度

1 事業の概要・取組

概要	一般廃棄物処理施設(奥山工場180t炉)は、老朽化が顕著となり、施設全体の性能水準が急速に低下する時期となっていることから、長寿命化総合計画に基づき基幹的設備改良を行うことにより当該施設の延命化を図る。
令和8年度の主な取組	基幹的設備改良工事を継続し施設の延命化を図る。

2 施設の概要、計画等

【奥山工場180t炉】

施設概要等		整備スケジュール	
能力	180t/24h×1基	業務内容	R1 R2 R3 R4 R5 R6~R9
延床面積	11,145㎡	経過年数	17 18 19 20 21 22~25
炉形式	ストーカ式	長寿命化総合計画作成	→
排ガス処理設備	バグフィルタ	発注仕様書作成業務	→
発電設備	3,180kW	地域計画策定業務	→
供用開始	H14年12月	基幹的設備改良	→
主な整備内容		ごみクレーン、焼却炉、ストーカ油圧装置、廃熱ボイラ蒸発管、過熱器、蒸気復水器、灰コンバヤ、バグフィルタ、送風機、空気圧縮機、照明設備 など	

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			932,400	4,654,600	未定	
主要な経費	委託料		671,015	743,171		
	工事請負費		251,000	3,778,583		
	負担金		3,485	6,346		
財源	国庫支出金			337,700		
	県支出金					
	市債		193,400	2,930,300		
	その他特定財源(基金繰入金)		739,000	1,386,000		
	一般財源			600		

事業名	功山寺公衆便所整備事業		
予算区分	一般会計 衛生費 清掃費 し尿処理費		
総合計画の体系	第6章 第3節 循環型社会の進展を目指した廃棄物処理の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	環境施設課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	長府地区の功山寺に設置してある公衆便所は、観光地のトイレとしては手狭・未洋式化であり、老朽化も進んでいる。観光客や市営墓地利用者の利便性を向上させるため、新たな場所に建て替えを行うもの。
令和8年度の主な取組	地質調査、アスベスト調査、実施設計を行う。

2 施設の概要、計画等

<p>○施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築年:1993年(H5)(建築年数 33年)</li> <li>・構造:鉄筋造</li> <li>・延床面積:21㎡程度(7.6m×2.8m)</li> </ul>	<p>○債務負担行為(令和9年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限度額 7,852千円</li> </ul>																									
<p>○整備スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地質調査、アスベスト調査</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プロポーザル、実施設計</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設工事、外構工事</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td>供用開始</td> </tr> <tr> <td>既設便所解体</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R8	R9	R10	R11	地質調査、アスベスト調査	→				プロポーザル、実施設計	→	→			建設工事、外構工事			→	供用開始	既設便所解体				→	
項目	R8	R9	R10	R11																						
地質調査、アスベスト調査	→																									
プロポーザル、実施設計	→	→																								
建設工事、外構工事			→	供用開始																						
既設便所解体				→																						

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				13,000	未定	未定
主要な経費	委託料			13,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			13,000		



# 産業振興部

事業名	スタートアップ支援施策事業			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費			
総合計画の体系	第1章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	5	
ゴール目標【KGI】	企業所得額			
目標指標【KPI】	第2/3次産業総生産額			
担当課名	産業振興課	開始年度	令和6年度	

1 事業の概要・取組

概要	スタートアップと市内企業の連携による事業創出のための支援事業を行う。また地域と都市・海外との連携推進やアントレプレナーシップ教育によりエコシステムを循環させ、支援組織の自走化や拠点整備により、次世代の起業家を生み出すための環境を整える。
令和8年度の主な取組	①国内外スタートアップ企業と市内企業との連携事業創出 ②プロモーションを通じた地域間連携やネットワーク構築によるコミュニティ形成の強化 ③アントレプレナーシップ教育の推進による人材の育成 ④スタートアップ支援における自走組織設立準備と拠点施設の整備検討

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
コミュニティ参加者数/ スタートアップ企業による実証 事業件数	者/件	35/0	10/1	15/1	20/10

3 参考情報

令和7年度における主な事業進捗 (R7. 12月末現在)

- ・本年度コミュニティ新規参加者数 15者
- ・国内外スタートアップ企業と市内企業との事業創出
  - >R7.7 スタートアップカンファレンス(IVS2025)への出展 (市内企業2社出展)
  - >R7.9 大学起業家サークルによる市内企業訪問 (実証事業2件)



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		14,544	31,300	28,000	未定	未定
主要な経費	旅費	574	300	600		
	委託料	13,970	31,000	27,400		
財源	国庫支出金		15,500	13,700		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		15,000			
一般財源		14,544	800	14,300		

事業名	成長志向企業の経営力向上支援事業			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費			
総合計画の体系	第1章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	5	
ゴール目標【KGI】	生産性（市内就業者1人当たり総生産）			
目標指標【KPI】	第2/3次産業総生産額			
担当課名	産業振興課	開始年度	令和6年度	

1 事業の概要・取組

概要	市や地域関係機関が連携を図り、人的資本経営を促進する体制「地域の人事部」を通じて、中小企業が様々な環境変化に柔軟に対応し変革に挑戦していけるよう、企業が抱える人材課題（確保・育成・定着）の解決を図る。また、事業継続の課題を有する中小企業の事業承継を支援する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人事部協議会の運営</li> <li>○中小企業による副業人材活用・リスクリングの支援等</li> <li>○令和7年度に実施した「事業承継・人材課題に関するアンケート調査」に基づく事業承継支援</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
支援企業数（セミナー等）	者	51	80	80	80

3 参考情報

○地域の人事部イメージ

【中小企業が抱える人材課題】

- ▶労働力不足（量の不足）
- ▶人材不足（質の不足）
- ▶人材定着難（高い離職率）
- ▶高い経営者高齢化率と後継者不在率など

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		6,928	12,300	10,150	未定	未定
主要な経費	委託料	6,700	12,000	10,000		
	旅費	228	300	150		
財源	国庫支出金		6,000	5,000		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	6,928	6,300	5,150		

事業名	商店街等競争力強化事業費補助金 (下関駅前応援事業)		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費		
総合計画の体系	第1章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	企業所得額		
目標指標【KPI】	第2/3次産業総生産額		
担当課名	産業振興課	開始年度	令和5年度

1 事業の概要・取組

概要	下関駅前応援宣言を踏まえ、下関駅周辺の大規模小売店舗や商店街が実施する小売商業活性化や施設整備等により魅力向上が図られる事業に対して補助することにより、「下関の顔」である下関駅前の振興を図る。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駅前商業活性化事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①誘客促進事業 (a.送客バス運行事業 b.イベント開催等支援事業)</li> </ul> </li> <li>○駅前商業施設魅力向上事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>②テナント誘致支援事業 ③公益的施設整備等事業</li> </ul> </li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
補助金申請件数 (プレミアム付商品券事業を除く)	件	11	12	8	8

3 参考情報

- ① a. 市外からの送客バス運行経費を補助  
補助対象経費の1/2、上限 10万円/台 (30台300万円)  
b. 集客イベント・催事を補助  
補助対象経費の2/3、上限200万円/件 (1回200万円)
- ② 誘客効果の高いテナント誘致を補助  
第1種店舗：補助対象経費の1/2、上限1,000万円/件 (2店舗2,000万円)  
第2種店舗：補助対象経費の1/3、上限 250万円/件 (2店舗 500万円)
- ③ トイレ等整備費を補助 補助対象経費の1/2、上限500万円/件 (2箇所1,000万円)

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		216,992	70,000	40,000	未定	未定
主要な経費	補助金(プレミアム付商品券事業)	178,501				
	補助金(上記事業以外分)	38,491	70,000	40,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)	216,000	70,000	40,000		
	一般財源	992				

事業名	商店街等競争力強化事業費補助金 (まちなかウォークブル推進事業)		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費		
総合計画の体系	第1章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	企業所得額		
目標指標【KPI】	第2/3次産業総生産額		
担当課名	産業振興課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	唐戸5号線歩道の高質化に伴い、魅力ある商店街づくりを推進するための施設整備費用の一部を助成するもの。
令和8年度の主な取組	沿道の建物や土地を活用して、オーニング(伸縮機能を有するひさし)を設置し、景観の向上、来街者及び沿線店舗の利便性向上を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R9)
歩行者通行量 (令和7年度比)	%			100	101

3 参考情報

【補助内容】  
商店街等競争力強化事業費補助金の既存メニュー「施設等整備事業」の支援内容(補助率、上限額)を拡充する。

- ▶補助対象 唐戸5号線歩道高質化事業の対象地区内商業団体
- ▶補助内容 補助率1/2、限度額1,500万円

【参考：商店街等競争力強化事業費補助金(通常版)】

- ▶補助対象 市内商店街等
- ▶補助内容 補助率1/3、限度額1,000万円

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				15,000	15,000	
主要な経費	補助金			15,000	15,000	
財源	国庫支出金			7,500	7,500	
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			7,500	7,500	

事業名	国内販路開拓事業			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費			
総合計画の体系	第1章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	5	
ゴール目標【KGI】	企業所得額			
目標指標【KPI】	第2/3次産業総生産額			
担当課名	産業振興課	開始年度	令和5年度	

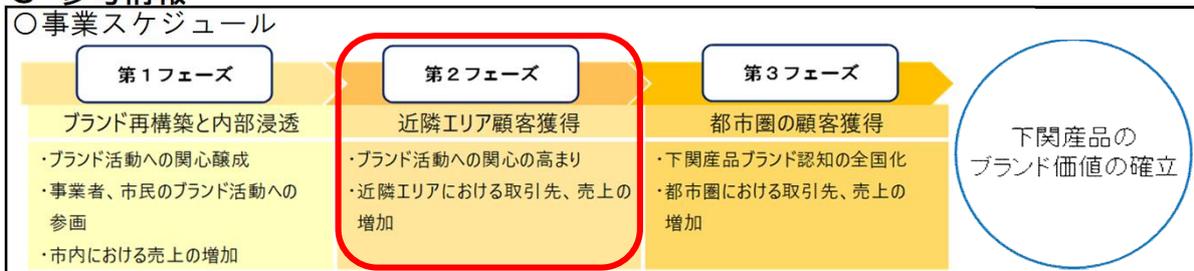
1 事業の概要・取組

概要	<p>下関製品の需要拡大のため、新たなブランド戦略に基づきその付加価値を向上させ、コアな顧客基盤に加えて新たなファン層の獲得により販路を開拓し、本市の基幹産業の更なる活力創造を図る。</p>
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブランド認定制度の継続</li> <li>○地域資源を活用した新商品開発の支援</li> <li>○近隣エリア（九州～関西）での販路開拓、PR活動強化</li> <li>○ブランドサイト、市民PRアンバサダーによる情報発信</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
新規成約件数	件	18	10	15	25

3 参考情報



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		7,362	16,200	14,600	未定	未定
主要な経費	委託料	7,055	9,547	9,000		
	補助金		5,000	5,000		
	旅費	259	712	410		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金・諸収入)		12,000	12,000		
一般財源		7,362	4,200	2,600		

事業名	中小企業者への資金繰り支援事業		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費		
総合計画の体系	第1章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	企業所得額		
目標指標【KPI】	第2/3次産業総生産額		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	市内金融機関と協調して必要な事業資金の融資や市が債務保証料の補給を行うことにより、円滑な融資を実現し、市内中小事業者の資金繰りを支援する。
令和8年度の主な取組	①各制度融資 利率見直し予定 (R8.4月) ②保証料補給 全額補助を継続 (中小企業体質強化特別融資)

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
中小企業体質強化特別融資 新規預託件数 (当初予算/9月補正)	件	73	386 (76/316)	217	217

3 参考情報

■制度融資各メニュー  
次の融資区分に基づき本市と市内金融機関が協調して融資を実行  
 { 中小企業事業資金融資、起業資金融資、中心市街地活性化チャレンジ資金融資、  
 中小企業体質強化特別融資、中小企業等経営安定化短期資金融資

■保証料補給金の補助  
制度融資を活用した市内事業者が、信用保証協会に支払うべき保証料の一部又は全額を補助

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		1,834,192	1,906,772	5,471,851	未定	未定
主要な経費	貸付金(預託金)	1,785,227	1,880,872	5,250,000		
	補助金(保証料補給金)	48,965	25,900	221,851		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(諸収入・基金繰入金)	1,789,151	1,888,220	5,471,800		
一般財源		45,041	18,552	51		

事業名	下関地域商社／海外販路開拓支援事業		
予算区分	一般会計 商工費 商工費 貿易振興費		
総合計画の体系	第1章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	企業所得額		
目標指標【KPI】	第2/3次産業総生産額		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成27年度

1 事業の概要・取組

概要	海外事業展開を志向する市内中小企業に対し、市を中心に「産・官・学・金」の各主体がノウハウを持ち寄った擬似的な貿易商社「下関地域商社」が、情報収集から貿易取引に至るまでの支援を行うことで、スムーズかつ効果的な海外への販路開拓を図る。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アドバイザー招致</li> <li>○国際食品商談会出展支援</li> <li>○東南アジア市場販路開拓支援</li> <li>○台湾市場販路開拓支援</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
成約件数／展示会等参加企業数	件/者	21/22	20/20	20/20	20/20

3 参考情報

【海外展開を志向する事業者支援】  
アドバイザーによるセミナー

【海外販路開拓支援】  
オンライン・リアル商談、商談会の出展支援を通じた市内中小企業の商談機能の強化  
東南アジア・台湾市場における下関産品のプロモーション等の実施



▲東南アジア市場販路開拓支援でのバイヤー招へい時の様子

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		13,565	14,390	14,387	未定	未定
主要な経費	委託料	11,989	9,970	9,750		
	負担金		3,200	3,200		
	報償費	780	400	400		
財源	国庫支出金			5,500		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金・諸収入)		7,400			
	一般財源	13,565	6,990	8,887		

事業名	勤労福祉会館改修事業		
予算区分	一般会計 労働費 労働諸費 労働福祉施設費		
総合計画の体系	第1章 第3節 地域産業を支える労働力の確保	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	産業立地・就業支援課	開始年度	令和3年度

1 事業の概要・取組

概要	「公共施設の適正配置に関する方向性(中期)」において継続使用施設とされている当施設において、長寿命化を図るための改修工事等を実施する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本館外壁改修工事</li> <li>○体育館耐震改修工事実施設計</li> <li>○PCB含有機器運搬・処分</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<p>○施設の概要</p> <p>昭和56年開館(築44年)</p> <p>構造 鉄筋コンクリート造 地上4階、地下1階</p> <p>個別施設計画 下関市勤労福祉施設個別施設計画 I</p> <p>○経費内訳</p> <p>(工事請負費)</p> <p>本館外壁改修工事 4,900万円</p> <p>(委託料)</p> <p>体育館耐震改修工事実施設計 900万円</p> <p>PCB含有機器運搬・処分 70万円</p>	 <p>▲勤労福祉会館外観</p>
---	---

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		41,168	23,500	60,000	未定	未定
主要な経費	工事請負費	38,610	19,500	49,000		
	委託料	858	3,500	9,700		
	人件費	1,700	500	1,300		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	39,600	18,000	54,200		
	その他特定財源					
一般財源		1,568	5,500	5,800		

事業名	しものせき産学交流しごとの魅力発信事業		
予算区分	一般会計 労働費 労働諸費 雇用対策費		
総合計画の体系	第1章 第3節 地域産業を支える労働力の確保	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生産性（市内就業者1人当たり総生産）		
目標指標【KPI】	やりたい仕事を見つけやすいと感じる若者の割合		
担当課名	産業立地・就業支援課	開始年度	平成29年度

1 事業の概要・取組

概要	市内企業への就業者数の増加を図るため、職業体験イベント「しものせき未来創造jobフェア」を通じて、市内企業と大学・高校等が交流を深めながら産学連携を図り、一体となって地域の仕事の魅力を発信する。
令和8年度の主な取組	「下関市での進学から就職まで」を意識した集合型職業体験イベントを開催し、中高生を中心とした若者が市内企業の仕事の魅力を体験することで、働く意義や市内就職への関心を醸成する。合わせて、小学生を対象としたSTEMプログラム(ワークショップ)を複合的に実施し、社会的に重要性が高まるプログラミングへの関心の喚起・向上を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
イベント参加者数	人	4,520	5,300	5,300	5,300

3 参考情報

<p>【令和7年度実施状況】</p> <p>期日：令和7年8月6～7日</p> <p>会場：海峡メッセ下関</p> <p>出展：企業、団体、大学等…47団体</p> <p>参加：4,481人（中高生2,576人）</p> <p>※中学校24校 高等学校2校</p> <p>プログラミング体験教室107人</p> <p>一般1,278人</p>	
---	--

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		20,000	20,000	20,000	未定	未定
主要な経費	委託料	20,000	20,000	20,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(寄附金・基金繰入金)	7,000	20,000	20,000		
一般財源		13,000				

事業名	働き方・職場改革等促進事業		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 企画費 一般会計 労働費 労働諸費 雇用対策費		
総合計画の体系	第1章 第3節 地域産業を支える労働力の確保 第7章 第3節 人権意識の醸成、男女共同参画・多文化共生の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生産性（市内就業者1人当たり総生産）		
目標指標【KPI】	やりたい仕事を見つけやすいと感じる若者の割合		
担当課名	人権・男女共同参画課 / 産業立地・就業支援課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	若者や女性が自分らしく働ける魅力的な職場づくりを促進するため、市内企業に対し、働き方や職場改革等に向けた意識啓発や取組支援を実施するほか、地域を牽引する地元企業や金融機関等が連携し、各参画企業における既存取組のブラッシュアップや新たな取組の実践により、優良取組事例を創出し、市内企業への連鎖的波及を図る。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業向け意識啓発セミナーの開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の認定制度への理解と認定取得等の取組意識の啓発</li> </ul> </li> <li>○地域を牽引する企業による協議体の運営支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有や連携等により市内企業の模範となる優良取組事例を創出</li> </ul> </li> <li>○市内企業への事例紹介や有識者派遣、意見交換会開催等による取組支援</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R10)
セミナーの参加人数 / 協議体への参画企業数	人/者			60/5	60/10

3 参考情報

<p>【国の認定制度】</p> <p>『えるぼし』※「女性活躍推進法」に基づく認定制度 ・女性の活躍促進のための取組実施状況が優良な企業</p> <p>『くるみん』※「次世代育成支援対策法」に基づく認定制度 ・仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組み、一定基準を満たした企業</p> <p>『ユースエール』※「若者雇用促進法」に基づく認定制度 ・若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業</p>	
---	---

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				23,000	25,000	30,000
主要な経費	委託料(セミナー開催)			3,000	5,000	5,000
	委託料(企業支援)			20,000	20,000	25,000
財源	国庫支出金			11,500	12,500	15,000
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			11,500	12,500	15,000

事業名	奨学金返還支援事業		
予算区分	一般会計 労働費 労働諸費 雇用対策費		
総合計画の体系	第1章 第3節 地域産業を支える労働力の確保	実施計画番号	6
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)		
目標指標【KPI】	やりたい仕事を見つけやすいと感じる若者の割合		
担当課名	産業立地・就業支援課	開始年度	令和元年度

1 事業の概要・取組

概要	本市産業の持続的な成長に向け、中小企業を中心とした市内企業等の人材確保及び本市の未来を担う若者の就業促進を図るため、大学等在学中に受けた奨学金の返還を支援する補助金を交付する。
令和8年度の主な取組	対象者に補助金を交付するとともに、SNSを活用した制度周知を図る。 [支援内容]奨学金の実返還額を就職2年目から5年間支援する。 (R5年度までの候補者:年上限12万円で5年間最大 60万円) (R6年度以降の候補者:年上限20万円で5年間最大100万円) ※ただし、奨学金返還額の2分の1以内の額

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R14)
奨学金返還支援制度利用者数(補助金の新規交付者数)	人	24	100	100	100

3 参考情報

<p><b>登録対象企業</b></p> <p>① 下関市内に事業所を有する中小企業者</p> <p>② ①の中小企業等以外の企業等で市内に事業の本拠となる本社、本店又はこれに類する事業所を有する事業者</p> <p>③ ①②以外の企業等で市内に事業所があり、市内の事業所に限定した採用を行う事業者</p> <p>④ 下関市役所</p>	<p><b>交付候補者対象</b></p> <p>① 大学等新卒者</p> <p>② 30歳未満の転入者</p> <p>③ 新規起業者</p>	
--	---	--

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		9,160	22,000	24,250	未定	未定
主要な経費	補助金	8,134	16,549	19,409		
	委託料	796	5,102	4,482		
	事務費	230	349	359		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)	8,000	22,000	24,000		
	一般財源	1,160		250		

# 農林水產振興部

事業名	有機農業推進事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	1
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)		
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額		
担当課名	農業振興課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

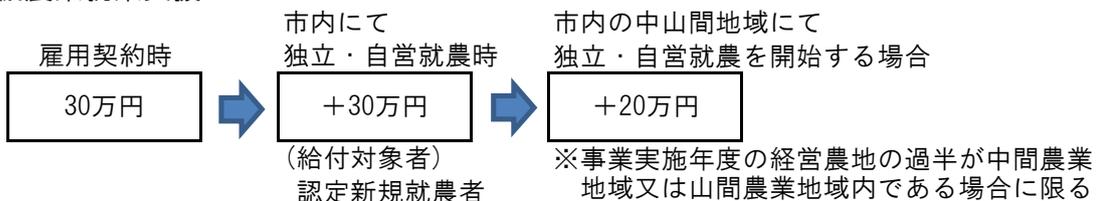
概要	新規就農希望者への有機農業の普及を目的として、技術習得と人材確保を図るため、伴走型で技術を習得できる体制を構築する取組として、市内に経営農地と有機栽培の技術を有している農業法人等に雇用された方を支援するとともに、市内での就農を促進する取組として、独立・自営就農する際に本市を就農地として選択された方への支援を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技術習得(雇用契約時) 有機雇用就農支援給付金 30万円</li> <li>○人材確保(市内にて独立・自営就農時) 有機経営開始支援給付金 中山間地域50万円、左記を除く地域30万円</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R9)
本事業による農業者(年間)	人		2	2	2

3 参考情報

○有機農業就業支援



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			1,600	1,600	1,600	未定
主要な経費	補助金		1,600	1,600	1,600	
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		1,600			
	一般財源			1,600	1,600	

事業名	体験受入ヤングファーマーズサポート事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生産性（市内就業者1人当たり総生産）		
目標指標【KPI】	第1次産業（農業/林業/水産業）総生産額		
担当課名	農業振興課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	若い世代の新規就農者を確保するため、若手農業者の組織が新規就農希望者を受け入れ、長期間の農業就業体験の場を提供する取組を支援する。 また、体験期間中の新規就農希望者に対しては、期間中の生活面での不安を解消するための給付金を交付し、安心した生活環境を提供することで農業に取り組む若者同士の相互交流により新規就農を推進する。
令和8年度の主な取組	○指導団体支援：50歳未満の農業者3名以上で構成する若手組織 （例：JA山口県下関青壮年部） ○研修生支援：50歳未満の市内での就農希望者

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R10)
本事業による体験者数（年間）	人			2	2

3 参考情報

○事業内容
・給付額： 60千円/月(指導団体) 176千円/月(研修生)
・支援内容：指導団体の指導の下実施する農業就業体験
・体験期間：原則1月(月概ね20日)以上、4月以内

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				2,000	2,000	2,000
主要な経費	補助金			1,888	1,888	1,888
	消耗品費			112	112	112
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
一般財源				2,000	2,000	2,000

事業名	スマート農業実践加速化事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	1
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)		
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額		
担当課名	農業振興課	開始年度	令和5年度

1 事業の概要・取組

概要	<p>省力・省人化等に資するため、地域の担い手を対象としたスマート農機の導入を支援するとともに、農業用ドローン普及のため、生産者の免許取得やレンタル利用支援を行う。</p> <p>新たにレンタル用の大型多用途ドローンの導入や地域の担い手による草刈作業の省力化実証として雑草抑制資材の導入支援を行う。</p>
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スマート農機導入支援【有機農業は要件緩和】</li> <li>○農業用ドローン免許取得支援</li> <li>○農業用ドローンレンタル利用支援</li> <li>○大型多用途ドローン導入支援【新規】</li> <li>○雑草抑制省力化支援(実証)【新規】</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
本事業を活用してスマート農機を導入した経営体数(年間)	経営体	9	6	6	6

3 参考情報

事業内容				新規	
	スマート農機導入支援※	免許取得支援	レンタル利用支援	大型多用途ドローン導入支援	雑草抑制省力化支援(実証)
事業対象者	市内認定農業者又は認定新規就農者等	市内農業者又は農業法人		ドローン事業者	農業法人
補助率(上限)	1/2 (3,750千円/経営体)	1/2 (上限100千円/人)	1/2 (上限20千円/日)	1/2 (1,500千円/事業者)	1/2 (1,000千円/法人)
支援額	16,500千円	500千円	500千円	1,500千円	5,000千円

※有機農業に取り組む者については面積拡大要件等を1/2に緩和

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		15,772	17,500	24,000	24,000	24,000
主要な経費	補助金	14,774	16,500	24,000	24,000	24,000
	委託料	998	1,000			
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)	15,700	17,500	24,000		
一般財源		72			24,000	24,000

事業名	有害鳥獣対策業務		
予算区分	一般会計 農林水産業費 林業費 林業振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	2
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)		
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額		
担当課名	農業振興課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	有害鳥獣による農林作物被害の防止を図るため、有害鳥獣侵入防止柵の設置支援や捕獲対策を行うとともに、捕獲個体の受入拡大を図りジビエとしての有効活用を推進する。 また、市街地における危険野生獣出没時の体制を整備する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有害鳥獣の捕獲奨励金の交付</li> <li>○金網柵、電気柵等の有害鳥獣侵入防止柵の設置に係る助成</li> <li>○ドローンを活用した有害鳥獣対策【拡充】、新規捕獲隊員の確保支援、ジビエ受入拡大支援(捌き場環境の充実)</li> <li>○市街地における危険野生獣対策(緊急銃猟含む)【新規】</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
有害鳥獣による農林作物被害額(シカ、イノシシ等主要5獣)	千円	149,571	111,285	111,285	111,285

3 参考情報

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ドローンを活用した有害鳥獣対策事業(予算額:1,400千円)【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な有害鳥獣対策の実践支援(生息状況確認、狩猟時の追い込み、サル追い払い等)</li> <li>・対象経費:猟友会員の免許取得及び操縦指導研修費</li> <li>・交付先:下関市鳥獣被害防止対策協議会</li> </ul> </li> <li>○市街地における危険野生獣対策事業(予算額:1,000千円)【新規】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出没・目撃情報に対応する現地確認、出動経費(追い払い、駆除(緊急銃猟含む))</li> <li>・緊急銃猟に備えた装備品(クマスプレー等)及び損失補償保険の加入経費</li> </ul> </li> </ul>
--

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		52,099	78,931	70,999	70,999	70,999
主要な経費	負担金補助及び交付金	44,281	66,115	58,731	58,731	58,731
	委託料	5,843	6,880	8,853	8,853	8,853
	事務費等	1,975	5,936	3,415	3,415	3,415
財源	国庫支出金					
	県支出金	205	331	781	781	781
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金・手数料)	10	19,610	8,810	10	10
一般財源		51,884	58,990	61,408	70,208	70,208

事業名	ニューフィッシャー確保育成推進事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	1
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)		
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額		
担当課名	水産振興課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	新規漁業就業希望者に対して、研修から就業・定着に至るまでの一貫したサポートを行うとともに、漁業研修生の受入体制を強化し、漁業の担い手の確保・育成を図る。
令和8年度の主な取組	①漁業研修生・新規漁業就業者向け補助事業等 ②漁業研修指導者確保促進事業 …長期漁業技術研修の実施に必要な漁具等の購入費の一部を補助 ③サステナブル漁業推進事業 …漁業研修生等に水産生物の資源管理講習(種苗放流等)を実施

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
新規漁業就業者の年間確保数	人	2	3	3	3

3 参考情報

①漁業研修生・新規漁業就業者向け補助事業等

区分	内容等	実施主体	摘要
募集	漁業就業支援フェア	県	年1回開催
研修	短期研修事業	県	期間:2~3日程度(最大7日)
	新規漁業就業者定着支援事業 (長期漁業技術研修)	国、県・市	期間:2年以内 ※研修中に支援金を支給
	乗組員定着促進事業	県・市	期間:1年以内、補助率:県1/2・市1/4
就業	新規漁業就業者生活・生産基盤整備事業	県・市	7) 補助率:県1/3・市1/3
	7) 住宅改修事業 4) 漁船等リース事業	県・市	4) 補助率:県1/4・市1/4
定着	経営自立化支援事業	県・市	期間:3年間、補助率:県1/2・市1/2

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		5,196	12,863	7,285	未定	未定
主要な経費	補助金	5,196	6,986	6,700		
	委託料		5,500			
	原材料費等		377	585		
財源	国庫支出金					
	県支出金	1,985	2,000	2,000		
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		6,100			
一般財源		3,211	4,763	5,285		

事業名	持続可能な漁業経営モデル創出事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)		
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額		
担当課名	水産振興課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	スマート技術や省力化機器等の新技術を搭載したモデル漁船を用いて漁業協同組合が実施する実証を通じて得られた効果等を「経営モデル」として、沖合底びき網漁業をはじめとした各漁業へ展開することにより、生産性と持続性を両立させた漁業経営体の育成を目指す。
令和8年度の主な取組	本市水産業の中核である沖合底びき網漁業の持続的発展を図るため、山口県以東機船底曳網漁業協同組合が実施する各種実証に対し、山口県と連携してその実施に係る経費の一部を助成する。 ①海洋環境の変化への適応技術の実証、②漁労作業の省力化・軽労化技術の実証、③資源状況に応じた操業体制の実証

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R8)
「経営モデル」策定数	件			1	1

3 参考情報

○補助概要

- ・事業主体：山口県以東機船底曳網漁業協同組合
- ・事業期間：3か年(R6~R8)
- ・補助対象経費：実証に要する経費
- ・補助率：1/2(県1/4、市1/4)  
※県は市を通じて間接補助
- ・補助限度額：100,000千円/年

○事業内容のイメージ

モデル漁船を選定し、各種実証を実施(3か年)  
→実証効果等を示した「経営モデル」を策定

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		100,000	100,000	100,000		
主要な経費	補助金	100,000	100,000	100,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金	50,000	50,000	50,000		
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)	50,000	50,000	50,000		
一般財源						

事業名	「お魚食べよう！」普及啓発事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生産性（市内就業者1人当たり総生産）		
目標指標【KPI】	第1次産業（農業/林業/水産業）総生産額		
担当課名	水産振興課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	<p>下関市魚食の普及推進に関する条例（通称「お魚食べよう条例」）で「魚食の日」を定めたことを受け、教育委員会と連携して、市立小中学校で「魚食の日」にちなんだ学校給食を実施するとともに、本市の魚食に関する情報を集約し、広く発信することで魚食普及の一層の推進を図る。</p>
令和8年度の主な取組	<p>①「魚食の日」給食実施 ②魚食に関する情報発信</p>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R8)
「魚食の日」給食実施校数	校			64	64

3 参考情報

<p>①「魚食の日」給食実施 教育委員会と連携して、市立小中学校で「魚食の日」にちなんだ学校給食を実施するための食材の一部提供</p> <p>②魚食に関する情報発信 魚食に関するニュースやイベントカレンダーの発信及び身近な場所で手軽に新鮮な魚介類を購入できる店舗を紹介するマップの作成</p>
--

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				3,300	未定	未定
主要な経費	需用費			2,000		
	委託料			1,300		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			3,300		

事業名	「下関ふく」競争力強化事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生産性（市内就業者1人当たり総生産）		
目標指標【KPI】	第1次産業（農業/林業/水産業）総生産額		
担当課名	水産振興課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	トラフグの水揚地が北上・分散し、各地でブランド化が進む中、西日本でのTAC（漁獲可能量）導入検討も行われており、集荷力とブランド維持に課題が生じている。これらの状況を踏まえ、需要・供給の両面から下関ふくの競争力を高め、ブランドの持続と集荷体制の強化を図る。
令和8年度の主な取組	①トラフグ等漁獲・流通現況調査 ②下関ふく再興プロジェクト

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R10)
コンテンツ等の開発・改善数	件			6	6

3 参考情報

①トラフグ等漁獲・流通現況調査 南風泊市場の集荷戦略を構築するため、東日本におけるトラフグ等の漁獲・流通の現地調査に係る経費の一部を補助する。 ・補助対象経費：旅費など ・補助率：10/10
②下関ふく再興プロジェクト 「下関でふくを食べる理由」を再定義して、他地域のふぐブランドと一線を画す下関全体のハイブランドとして差別化・定着を図る。 ・事業内容：観光・食文化の統合体験コンテンツ、宿泊・食事連携パッケージの開発等

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				10,800	未定	未定
主要な経費	補助金			2,800		
	委託料			8,000		
財源	国庫支出金			4,000		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			6,800		
一般財源						

事業名	くじらの街下関推進事業			
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費			
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	3	
ゴール目標【KGI】	企業所得額			
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額			
担当課名	水産振興課	開始年度	平成17年度	

1 事業の概要・取組

概要	母船式捕鯨船団の母港である本市において、地域産業である捕鯨業の振興のため、くじら給食の提供拡大、鯨肉及び鯨肉加工品の消費喚起や流通・販売網の充実、捕鯨船団の乗組員等の移住に対する支援を行い、「くじらの街日本一」の実現を目指す。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校や就学前施設等へのくじら給食提供</li> <li>・家庭での鯨料理提供につながるくじら給食の新規メニューの開発・活用</li> <li>・イベント等での鯨肉の消費喚起</li> <li>・市内スーパー等での鯨肉加工品の販売促進、販路拡大</li> <li>・下関市鯨肉消費拡大推進協議会への支援、捕鯨船団乗組員等の移住支援</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
商業捕鯨による鯨肉の陸揚量	トン	250	1,000	1,000	1,000

3 参考情報

○背景  
商業捕鯨が長期休止していたことにより、鯨肉市場が縮小し、スーパー等での取扱量や家庭での鯨肉使用頻度が低下するなど、鯨を食べる意識が希薄となっている。

○フロー

<ul style="list-style-type: none"> <li>・くじら給食の提供対象拡大</li> <li>・新規メニューの開発・活用</li> <li>・スーパー等での販売促進他</li> </ul> ⇒ 鯨食普及や鯨肉消費拡大	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆陸揚量の増</li> <li>☆鯨関連産業(加工、倉庫、運送、飲食、観光、宿泊等)による地域経済活性化</li> </ul>	→	くじらの街日本一
---	---	--	---	----------



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		8,406	20,200	18,700	未定	未定
主要な経費	委託料	7,225	17,700	16,200		
	補助金	1,168	2,500	2,500		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		12,000	11,500		
一般財源		8,406	8,200	7,200		

事業名	林業担い手支援事業			
予算区分	一般会計 農林水産業費 林業費 林業振興費			
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—	
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)			
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額			
担当課名	農林水産整備課	開始年度	令和3年度	

1 事業の概要・取組

概要	林業就業者の減少及び高齢化が進行する中、森林経営管理制度に伴い森林整備面積が増加していることから、林業経営体への雇用支援を実施してきたが、新規林業就業者への支援を拡充し、林業の担い手の確保と定着を図ることで、森林整備の推進を図る。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○林業経営体に対する雇用支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・求人支援、装備支援、資格支援</li> </ul> </li> <li>○新規林業就業者に対する就業支援【拡充】                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅支援、生活支援、子ども支援</li> </ul> </li> </ul> ※支援対象者 市内の林業経営体及び新規林業就業者【支援期間3か年度】

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R12)
本事業による新規林業就業者(年間)	人	1	2	2	2

3 参考情報

○森林整備促進事業費補助金

- ①雇用支援
  - ・求人支援(雇用促進のための経費の1/3を補助)
  - ・装備支援(労働安全衛生装備の購入経費の1/3を補助)
  - ・資格支援(資格取得経費の1/3を補助)
- ②就業支援【拡充】
  - ・住宅支援(3万円/月を上限に家賃の1/2を補助)
  - ・生活支援(就業初期の生活支援で3万円/月を補助)
  - ・子ども支援(18歳以下の子どもに1万円/月を補助)



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		408	1,500	2,000	3,500	5,000
主要な経費	補助金	408	1,500	2,000	3,500	5,000
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	408	1,500	2,000	3,500	5,000

事業名	下関漁港南風泊地区高度衛生管理整備事業		
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 漁港建設費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	4
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)		
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額		
担当課名	市場流通課	開始年度	平成27年度

1 事業の概要・取組

概要	安全安心な水産物の供給と販路拡大等を図るため、国策定の「特定漁港漁場整備事業計画(下関地区)」に基づき、県と連携して下関漁港(本港及び南風泊地区)の整備を進めている。このうち、南風泊地区の高度衛生管理型荷さばき所(卸売市場)整備については、本事業により、本市が事業主体となって整備を行う。
令和8年度の主な取組	下関漁港南風泊地区 高度衛生管理型荷さばき所整備工事

2 施設の概要、計画等

○施設の概要	敷地面積: 11,838㎡ 建物面積: 6,548㎡ 構造: プレストレスト鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造	
○事業計画	平成28~29年度 基本・実施設計 平成29~30年度 仮設荷さばき所設置工事 令和元年度 既存市場解体撤去工事 令和4~8年度 高度衛生管理型荷さばき所整備工事 令和9年度 新卸売市場(南風泊市場)供用開始、仮設荷さばき所解体撤去工事	
※令和7年度3月補正(前倒し): 1,297,000千円		

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		543,128	213,000	380,900	179,300	
主要な経費	工事請負費	488,149	168,000	380,900	176,300	
	事務費	54,979	45,000		3,000	
財源	国庫支出金	325,430	112,000	253,900	117,500	
	県支出金	81,357	28,000	63,400	29,300	
	市債	81,600	65,700	57,200	29,200	
	その他特定財源					
	一般財源	54,741	7,300	6,400	3,300	

事業名	新下関市場再整備調査検討業務			
予算区分	市場会計 市場費 市場費 市場管理費			
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	4	
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)			
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額			
担当課名	市場流通課	開始年度	令和7年度	

1 事業の概要・取組

概要	新下関市場は、建設から48年が経過し、施設の老朽化が著しく、耐震診断により耐震強度不足が判明している。そのため、市場関係者からのヒアリング調査や青果流通の実態調査、市場運営の課題整理等、施設の再整備に向けた調査検討を進める。
令和8年度の主な取組	市場再整備検討の基礎資料とするため、市場関係者からのヒアリング調査、青果流通の実態調査、市場運営の課題や解決策の提案や他市場の事例調査、施設の規模、概算の総事業費の算定、財源の検討等を委託により行う。

2 施設の概要、計画等

<p>&lt;施設の現況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設名：下関市地方卸売市場新下関市場</li> <li>建築年：昭和51年</li> <li>主な建物</li> <li>卸・仲卸売場棟：鉄骨造2階建、延床面積 9,506㎡</li> <li>関連商品売場棟：鉄骨造、延床面積 1,740㎡</li> <li>仲卸売場別棟・管理棟・低温卸売場ほか：延床面積 3,790㎡</li> <li>延床面積合計 15,036㎡</li> </ul> <p>&lt;事業スケジュール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度～8年度 再整備調査検討(総事業費 12,000千円)</li> <li>令和9年度～10年度 再整備基本構想策定</li> <li>令和11年度～12年度 基本設計、実施設計</li> <li>令和13年度以降 再整備に着手</li> </ul>	
--	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			3,600	8,400	未定	未定
主要な経費	委託料		3,600	8,400		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(一般会計繰入金等)		3,600	8,400		
	一般財源					

事業名	唐戸市場基本計画策定業務			
予算区分	市場会計 市場費 市場費 市場管理費			
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	4	
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)			
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額			
担当課名	市場流通課	開始年度	令和5年度	

1 事業の概要・取組

概要	唐戸市場は、建設から20年以上が経過し、設備の老朽化が著しく進んでいる。そのため、唐戸市場の今後のあり方について検討し、市場の安定的な継続・発展と、来場者の安全確保のため、運営体制や改築等整備手法の利点・欠点を整理し、方針を決定し、リニューアル事業を進める。
令和8年度の主な取組	令和7年度に実施した基本構想を基に、大規模改修工事後の大まかな施設配置の方針や大規模改修工事中の仮店舗の規模や配置を場内事業者向けに説明し、合意形成を図り、基本計画を策定する。

2 施設の概要、計画等

令和7年度に実施の「下関市地方卸売市場唐戸市場基本構想策定業務」では、リニューアル事業を進めるにあたり、大規模改修期間中の仮店舗の設置や大規模改修工事後の市場配置等について検討した。

令和8年度は、庁内関係課で組織する唐戸市場再整備プロジェクトチームを軸に、より詳細な基本計画を策定する。

<施設の現況>

- ・施設名：下関市地方卸売市場唐戸市場
- ・建築年：平成13年
- ・主な建物：市場棟 延床面積 14,473.7㎡  
 駐車場棟 延床面積 9,683.2㎡ 合計 24,156.9㎡  
 (共にプレキャスト・プレストレスト・コンクリート造3階建)

<事業スケジュール>

- ・令和7年度～8年度 基本構想・計画
- ・令和9年度 基本設計
- ・令和10年度 実施設計
- ・令和11年度以降 再整備に着手

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		9,869	9,000	50,000	未定	未定
主要な経費	委託料	9,869	9,000	50,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(一般会計繰入金等)	9,869	9,000	50,000		
	一般財源					

事業名	唐戸市場渋滞対策事業		
予算区分	市場会計 市場費 市場費 市場管理費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	市場流通課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	唐戸地区には「卸売市場・海響館・歴史的建造物」などがあり、市内でも観光客の集まるエリアとなっている。特に3連休やゴールデンウィーク等には、唐戸市場だけでも1日2,000台以上の車が来場し、市場業者の車両の出入り等に支障が生じていることから、その対策を講じるもの。
令和8年度の主な取組	①警備員の配置【拡充】 ②臨時駐車場の自動化・活用実証事業【拡充】 ③渋滞対策計画の策定【新規】

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R10)
臨時駐車場の活用日数	日	104	116	365	365

3 参考情報

① 警備員の配置【拡充】	GW等、混雑が予想される日の交差点等の警備員を1名増員し、渋滞緩和を図る。
② 臨時駐車場の自動化・活用実証事業【拡充】	唐戸市場横の大型バス駐車場をカメラ式駐車場として整備し、ゲートレス化や電子決済により、渋滞緩和や利便性の向上を図るとともに、車両ナンバーから来場者情報のデータ化を行い、唐戸市場再整備検討の資料として活用する。
③ 渋滞対策計画の策定【新規】	唐戸市場リニューアル事業の一環として、唐戸地区の渋滞対策計画を策定する。

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		3,281	15,658	22,000		
主要な経費	委託料	1,493	1,925	12,000		
	負担金	1,788	13,733	10,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(一般会計繰入金等)	3,281	15,658	22,000		
	一般財源					

事業名	特牛市場製氷施設整備事業		
予算区分	市場会計 市場費 市場費 市場管理費		
総合計画の体系	第1章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生産性(市内就業者1人当たり総生産)		
目標指標【KPI】	第1次産業(農業/林業/水産業)総生産額		
担当課名	市場流通課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	特牛市場において、現行の製氷施設は特定フロンを使用している上、老朽化も進行している。これらを踏まえ、水揚げされるケンサキイカ「下関北浦特牛イカ」等の鮮度を維持するため、フロンガス規制に適合した新たな製氷施設を早急に整備し、安定した氷の供給体制を確立することで、当地区の拠点市場機能を強化する。
令和8年度の主な取組	実施設計に基づき、製氷施設を整備する。

2 施設の概要、計画等

<p>整備前： 製氷能力 15 t/日、貯氷能力 300 t 特定フロンガス (R22) を使用 角氷を人力で製造</p> 	▶	<p>整備後： 製氷能力 20 t/日、貯氷能力 50 t 規制に適合した新冷媒を使用 砕氷を自動で製造</p> 
---	---	---

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		3,190	26,000	420,000		
主要な経費	工事請負費			400,000		
	委託料	3,190	26,000			
	事務費			20,000		
財源	国庫支出金		13,000	200,000		
	県支出金					
	市債			220,000		
	その他特定財源(一般会計繰入金等)	3,190	13,000			
	一般財源					

# 観光スポーツ文化部

事業名	観光地域づくり法人(DMO)設立に伴う調査・検討業務		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	本市観光の現状や課題の分析を踏まえ、行政及び地域のステークホルダー(市内観光関連事業者等)の参加により、今後の持続可能な観光地域づくりの司令塔となる新たな組織の設立に向け、その機能やあり方について調査及び検討を行う。
令和8年度の主な取組	観光地域づくり法人(DMO)の理解度を高め、関係団体との役割分担及び連携のあり方を検討するほか、現状の観光データの把握や課題の可視化を行うことで、持続可能な観光地域づくりに向けた機運の醸成を図るとともに、目指すビジョンを共有した合意形成を確立する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
観光地域づくり法人(DMO)の設立	件				1

3 参考情報

観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン (R7.10.1)

○観光地域づくり法人の使命と役割  
 観光地域づくり法人の使命は、持続可能な観光地域づくりを実現することである。

- ①継続的な各種データ収集・分析、観光地経営戦略の策定、KPIの設定、PDCAサイクルの確立
- ②観光資源の磨き上げ、交通アクセス整備、受入環境整備等の着地整備に関する取組の推進
- ③観光関連事業と観光地経営戦略との整合性を図る調整や仕組みづくり、プロモーション
- ④多様な関係者との体制構築や合意形成
- ⑤①から④の役割を達成するために必要な組織の確立と財源の確保

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				5,000	未定	未定
主要な経費	委託料			5,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			5,000		

事業名	関門海峡におけるジップライン可能性調査業務		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	令和4年度の観光庁「将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業」に採択され、中国運輸局が取りまとめた「関門海峡メガトリップエリア構想」において、関門エリアのキラーコンテンツとして観光及び地域振興への大きな効果が期待されると評価された関門海峡におけるジップラインの事業化に向けた調査・検討を行う。
令和8年度の主な取組	関門エリアの更なる魅力向上のため、キラーコンテンツとして位置づけられるジップラインの実現性を高めるために、新たな資金支援企業や中核となる企業の掘り起こしを見据えた事業の可能性を探る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
関門海峡におけるジップラインの事業化	件				1

3 参考情報

○関門海峡メガトリップエリア構想  
 事業主体：中国運輸局  
 関門海峡の雄大な自然景観や四季折々の食材、両岸に点在する日本遺産等の歴史的建造物群、関門橋を始め現代の人工的建造物など多くの観光資源を有する関門エリアを、新たな技術などの導入により陸海空で強く結ぶことで回遊性とレガシーの拠点性を高め、行政区域を越えた一大観光エリアを形成し当該地区全体の活性化を図る。

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				10,000	未定	未定
主要な経費	委託料			10,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			10,000		
	一般財源					

事業名	山口DC・オープントップバス実証事業		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	13
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光政策課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	令和8年秋に開催される「山口デスティネーションキャンペーン」を契機に、3か年（プレDC、本番、アフターDC）にわたり、県、県内他都市、JR西日本と連携し、観光素材の開発や既存素材の磨き上げ、各種イベントの開催や誘客キャンペーンの展開、受入体制の整備等に取り組む。
令和8年度の主な取組	山口DC本番の目玉企画として、官民で組織するしものせき観光キャンペーン実行委員会はJR西日本等と連携し、令和8年10月から12月までの間、オープントップバスの実証運行を行う。平日は滝部～角島間、休日は市内中心部での運行を予定している。また、城下町長府における滞在時間の延長と誘客促進を目的として、デジタルスタンプラリーを実施する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R9)
観光客数（暦年・実人数）	千人	5,856	6,800	7,500	8,200

3 参考情報

<p>●オープントップバス実証事業 [1,500万円]</p> <p>角島ルートは、平日運行により<b>観光需要の平準化</b>を図り、山陰線との連携で<b>2次交通を充実</b>させ、バスと宿泊施設とのセット販売で<b>宿泊客数の増加</b>を目指す。関門海峡ルートは、市中心部から長府エリアの<b>周遊強化</b>を図る。また、実行委員会は観光客へのおもてなし事業等、JRはバスの運行、商品の造成・販売を担う。プロモーションは、共同で実施する。</p> <p>●城下町長府デジタルスタンプラリー [150万円]</p> <p>●産業観光バスツアー等（R7からの継続） [100万円]</p> <p>●山口DC特別企画プロモーション [200万円]</p>	
---	---

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			2,000	19,500	未定	未定
主要な経費	補助金		2,000	19,500		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		2,000	19,500		
	一般財源					

事業名	次世代型マイクロモビリティ導入実証事業		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	太陽光発電を活用した次世代マイクロモビリティを実証的に導入することで、ウォーターフロント開発などで呼び込んだ観光客の周遊性及び満足度向上を図るとともに、将来的な民間事業者のシェアリングやレンタル事業の自走化を目指す。
令和8年度の主な取組	あるかぼーと・唐戸エリアを中心に周辺の観光施設や観光地等へのアクセス性や回遊性を高めるため、マイクロモビリティ導入による実証事業を行い、利用者が楽しみながら、ストレスなく移動できる実現可能な手法の導入を検討する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R9)
利用者数（延べ）	人			1,500	3,000

3 参考情報

<p>【令和7年度の主な取組】</p> <p>○次世代型マイクロモビリティ試乗会及び説明会                  実施日：令和7年11月24日・25日                  試乗会：約100名（市民、観光客、宿泊事業者など）                  説明会：16名（観光・交通事業者、行政など）                  場所：11月24日 あるかぼーと岸壁                  11月25日 下関市市民広場</p>	
--	---

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				4,000	未定	
主要な経費	委託料			4,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			4,000		

事業名	国際観光対策業務		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光政策課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	外国人観光客誘致を促進するため、国内外で開催される観光展・商談会への参加、SNSや国際メディア、西のゴールデンルートアライアンスによる幅広いプロモーション活動、各種媒体を活用した「旅マエ」「旅ナカ」における効果的な情報発信を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内外の観光展、商談会への参加及びエージェントセールス実施</li> <li>○インバウンド向けSNSや国際メディアを活用した観光情報発信</li> <li>○山口県や近隣都市、西のゴールデンルート参画自治体と連携したプロモーション</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
外国人宿泊客数(暦年)	人	26,050	29,000	37,000	50,000

3 参考情報

【外国人宿泊客数(暦年)】

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
人	23,486	4,563	1,233	3,252	20,097	26,050
対前年増減	-	△18,923	△3,330	2,019	16,845	5,953

- ・令和2年3月以降 新型コロナウイルス感染症の影響が本格化
- ・令和6年は新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年と比較すると110.9%、約2,500人増加

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		12,816	18,471	29,399	未定	未定
主要な経費	委託料	9,776	6,187	19,341		
	負担金、補助金	2,042	9,938	7,930		
	その他	998	2,346	2,128		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(諸収入)	300	300	300		
	一般財源	12,516	18,171	29,099		

事業名	観光地トイレ満足度向上事業				
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光施設費				
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—		
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)				
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数				
担当課名	観光施設課	開始年度	令和8年度		

1 事業の概要・取組

概要	本市観光施設にあるトイレの改修及び民間が所有し、多くの観光客が利用する観光地のトイレ整備や改修に係る費用の一部を助成し、観光地トイレの満足度の向上を図る。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長府毛利邸の屋外及び屋敷内トイレの洋式化改修</li> <li>・観光地エリアの設定及び整備基準ガイドラインに沿った、民間のトイレ整備に対する助成事業実施</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

長府毛利邸トイレ洋式化…1,000万円  
 観光地エリア設定及びガイドラインによる助成事業…500万円  
 助成事業  
 ・500万円を上限として、観光地トイレの改修や洋式便器化等の費用の1/2を助成

【主な対象】

改修	洋式便器化・バリアフリー化工事 温水便座・自動水栓の設置 多言語の利用案内 等を想定
----	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				15,000	未定	未定
主要な経費	負担金補助及び交付金			5,000		
	工事請負費			10,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			15,000		
	一般財源					

事業名	火の山地区観光施設再編整備事業		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光施設費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	8
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光施設課	開始年度	令和3年度

1 事業の概要・取組

概要	火の山地区の地域資源を活かした再整備を図るため、「火の山地区観光施設再編整備基本構想」に基づき、市民や観光客が年間を通して訪れ、楽しめる魅力ある観光拠点としての整備を行う。
令和8年度の主な取組	当該事業により整備された観光施設のプロモーション業務、老朽化により機能低下が見込まれる火の山パークウェイの改修に向けた劣化度調査及び山頂立体駐車場の車路管制設備等の改修を実施する。

2 施設の概要、計画等

令和8年度計画

【工事請負費】9,300万円

- 火の山立体駐車場施設整備工事
  - ・車路管制設備改修工事
  - ・車路管制表示灯改修工事
  - ・エレベーター改修工事
  - ・予防保全工事

【委託料】5,690万円

- 火の山地区観光施設再編整備プロモーション業務
- 火の山パークウェイ劣化度調査業務
- 火の山山麓キャンプ場運営準備業務

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		61,814	66,644	154,500	未定	未定
主要な経費	工事請負費	29,260	34,000	93,000		
	委託料(劣化度調査)	30,511		50,000		
	委託料(プロモーション、キャンプ場運営)		30,000	6,900		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	26,300	22,100	85,800		
	その他特定財源(基金繰入金)	35,000	44,000	68,000		
	一般財源	514	544	700		

事業名	城下町長府地区散策拠点等整備事業		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光施設費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	27
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光施設課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	本市の歴史的観光拠点である長府地区の滞在性、回遊性の向上、にぎわいの創出を図るため、「城下町長府地区散策拠点等整備事業」の一環として長府庭園横の駐車場、美術館前広場及び関見台公園下の屋外トイレ、鯨館を整備する。
令和8年度の主な取組	現在、美術館用地となっている長府庭園横駐車場の用地買戻し及び分筆登記を実施し、観光バスも駐車可能となる整備工事を行う。また、美術館前広場の屋外トイレ改修に係る実施設計、関見台公園内の鯨館改修に係る実施設計、土堀をライトアップする社会実験を行う。

2 施設の概要、計画等

<p>【施設の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○長府庭園横駐車場 場所：下関市長府黒門東町9番 面積：(整備予定)約2,600㎡</li> <li>○美術館前広場の屋外トイレ 場所：下関市長府黒門東町2番 面積：(整備予定)約22㎡</li> <li>○鯨館 場所：下関市長府外浦町 関見台公園内 面積：(整備予定)約129㎡</li> </ul> <p>【今後の計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度 ○長府庭園横駐車場…用地買戻し、分筆登記、用地整備工事</li> <li>○美術館前広場の屋外トイレ・鯨館…改修に向けた実施設計</li> <li>○土堀(古江小路他)…ライトアップ社会実験</li> </ul>	
--	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			14,882	260,000	未定	未定
主要な経費	委託料		13,700	36,400		
	工事請負費			38,000		
	公有財産購入費			182,088		
財源	国庫支出金		1,700	44,623		
	県支出金					
	市債			39,100		
	その他特定財源(基金繰入金)		13,000	176,000		
	一般財源		182	277		

事業名	巖流島観光拠点化事業		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光施設費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	9
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光施設課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	巖流島を観光地として再生させるため、新たな拠点施設としてインフラ整備等を含む、これからの観光資源としてのあり方(活用方法)に対する方向性の検討を行う。加えて、島内トイレの改修を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巖流島を新たな観光拠点としての開発に向けた基本構想の策定</li> <li>・島内公衆便所に浄化式汚水処理システムの整備</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<p>○巖流島島内施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵・小次郎像、バーベキューサイト、釣りデッキ、東屋、トイレ(汲取り)</li> </ul> <p>○観光拠点化に向けた計画(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R7 基礎調査業務</li> <li>R8 基本構想業務</li> <li>R9 基本計画</li> <li>R10 実施設計</li> <li>R11~12 工事</li> </ul>	 
--	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			29,500	147,000	未定	未定
主要な経費	委託料		10,000	12,000		
	工事請負費		15,000	135,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		29,500	147,000		
一般財源						

事業名	道の駅きくがわりリニューアル事業		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光施設費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	11
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光施設課	開始年度	令和4年度

1 事業の概要・取組

概要	本市東部地区の玄関口として観光交流施設の役割を果たしている「道の駅きくがわ」をリニューアルすることで、交流人口の拡大や観光客の滞在時間の延長を図るとともに、元気に稼ぐ地域経済の拠点とする。
令和8年度の主な取組	リニューアル工事に着手する。

2 施設の概要、計画等

<p>【施設の概要】</p> <p>○現状</p> <p>①開設年月日 平成9年4月5日(築28年)</p> <p>②構造 鉄骨瓦葺2階建</p> <p>③延床面積 767㎡</p> <p>④駐車場 普通車70台、大型車5台 障害者用3台、二輪車用(2か所)</p> <p>○リニューアル後</p> <p>①内容 増改築によるリニューアル</p> <p>②延床面積 1,061㎡</p> <p>【スケジュール】</p> <p>○令和6年度 基本計画策定、基本設計</p> <p>○令和7年度 実施設計</p> <p>○令和8・9年度 リニューアル工事</p> <p>○令和10年度 リニューアルオープン</p>	 <p>リニューアル前</p>  <p>リニューアル後</p>
---	---

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		7,458	25,000	359,000	510,000	未定
主要な経費	工事請負費			339,000	476,000	
	委託料	7,458	25,000	19,672	31,803	
	負担金補助及び交付金				1,000	
財源	国庫支出金			177,500	249,500	
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)	7,000	25,000	181,000	260,000	
	一般財源	458		500	500	

事業名	道の駅北浦街道豊北リニューアル事業		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光施設費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光施設課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	豊北地域の観光拠点施設である道の駅北浦街道豊北を利用者の安全、安心に配慮した更に魅力ある観光施設へリニューアルを行い、機能強化を図ることで交流人口及び滞在人口の拡大に繋げる。
令和8年度の主な取組	道の駅の駐車場用地拡大に向けた用地取得に必要な測量・補償費算定及びリニューアル基本計画を策定する。

2 施設の概要、計画等

<p>■施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設年月日 平成24年3月24日</li> <li>・建築面積 1,645㎡</li> <li>・延床面積 1,279㎡</li> <li>・駐車場 142台 普通車133台、大型車5台 身障者用3台、EV車1台</li> </ul> <p>■リニューアルスケジュール(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度 基本計画 【500万円】 用地補償算定 【3,200万円】 測量設計 【2,000万円】</li> <li>・令和9年度 基本設計/実施設計</li> <li>・令和10・11年度 造成/リニューアル工事</li> </ul>	 <p>道の駅北浦街道豊北(全景)</p>
---	---

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				57,000	未定	未定
主要な経費	委託料			57,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			57,000		
	一般財源					

事業名	海響館改修事業		
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光施設費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光施設課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	施設に求められる性能及び機能の維持・向上を図るための改修を行い、利用者の安全・安心の確保と満足度を向上させ、継続的な入館者数の確保及び増を図る。
令和8年度の主な取組	・イルカスタジアム観覧席更新、各所扉更新、小型昇降機2号機改修 ・脱炭素化改修に合わせて、電気設備や機械設備の長寿命化改修工事に向けた基本計画・基本設計を行う。

2 施設の概要、計画等

○ 施設の概況等										
市立しものせき水族館「海響館」										
平成13年4月 開館										
平成22年3月 ペンギン村開館										
令和7年8月 アシカ展示施設開館										
・施設規模	<table border="0"> <tr> <td>本館</td> <td>延床面積</td> <td>12,277.53㎡</td> </tr> <tr> <td>ペンギン村</td> <td>延床面積</td> <td>2,112.57㎡</td> </tr> <tr> <td>アシカ展示施設</td> <td>延床面積</td> <td>101.26㎡</td> </tr> </table>	本館	延床面積	12,277.53㎡	ペンギン村	延床面積	2,112.57㎡	アシカ展示施設	延床面積	101.26㎡
本館	延床面積	12,277.53㎡								
ペンギン村	延床面積	2,112.57㎡								
アシカ展示施設	延床面積	101.26㎡								
○ 事業スケジュール										
令和8年度	基本計画、基本設計									
令和9年度	実施設計									
令和10年度～	工事									
○ 令和8年度工事										
イルカスタジアム観覧席更新工事										
各所扉更新等工事										
小型昇降機2号機改修工事										

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		622,552	1,926,000	113,500	未定	未定
主要な経費	委託料	18,810	15,700	50,000		
	工事請負費	571,290	1,886,600	62,000		
	事務費	32,452	23,700	1,500		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	559,400	1,730,800	57,000		
	その他特定財源(基金繰入金)	55,000	195,000	56,500		
	一般財源	8,152	200			

事業名	火の山パルスゴンドラ整備事業		
予算区分	観光施設事業特別会計	観光施設事業費	観光施設費 施設建設費
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	8
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	観光施設課	開始年度	令和5年度

1 事業の概要・取組

概要	火の山地区観光施設再編整備事業の一環として、老朽化した既存ロープウェイをパルスゴンドラ方式により更新するもの。
令和8年度の主な取組	駅舎整備工事及びアンテナ移設に着手するとともに、パルスゴンドラ施設の整備の進捗を図る。

2 施設の概要、計画等

○事業計画(予定)

- ・火の山移動施設整備設計・施工業務
  - 測量、調査等 . . . R5~R6
  - 設計業務 . . . R6
  - 施工 . . . R7~R9
- ・駅舎実施設計業務 . . . R6
- ・駅舎整備工事 . . . R9
- ・既存ロープウェイ施設解体 . . . R6~R7
- ・アンテナ移設 . . . R7~R8



イメージ

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		136,369	210,000	330,000	2,017,020	
主要な経費	工事請負費		179,300	188,850	527,840	
	委託料	136,369	30,298	140,650	1,489,180	
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	68,500	105,000	165,000	1,008,000	
	その他特定財源(一般会計繰入金)	67,869	105,000	165,000	1,009,020	
	一般財源					

事業名	学校部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育振興費		
総合計画の体系	第2章 第1節 文化・スポーツの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	令和5年度

1 事業の概要・取組

概要	学校部活動の地域展開に伴い、地域全体で地域クラブ化を推進し、持続可能で多様なスポーツ・文化活動の環境を確保するため、「しものせき SD CLUB」を設立し、令和9年度からの休日の地域展開に向けた準備や制度の周知を図る。
令和8年度の主な取組	生徒や保護者、指導者等に向けた制度説明会を開催するとともに、ICTを活用したクラブ運用システムを導入し、団体及び参加者、指導者の募集・登録・認定事務等を進める。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R8)
制度説明会の実施回数	回			10	10

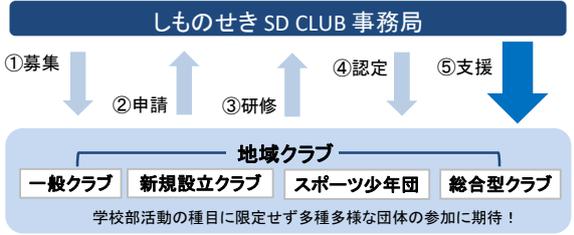
3 参考情報



**しものせき SD CLUB とは**

本市が進める新たな地域クラブの仕組みです。市内に活動拠点を置き、本市が定める基準を満たす団体はどなたでも参加できます。地域の様々な団体が参画することで、子どもたちの活動の場を地域全体で支え、持続可能で選択肢のある活動環境を目指しています。

しものせき SD CLUB 事務局



4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		8,183	6,100	37,500	未定	未定
主要な経費	委託料	8,129	6,100	37,500		
	旅費	54				
財源	国庫支出金			12,500		
	県支出金	4,940	4,900	12,500		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,243	1,200	12,500		

事業名	下関アスリートサポートプロジェクト		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育振興費		
総合計画の体系	第2章 第1節 文化・スポーツの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	下関市ゆかりのアスリートをサポートアスリートとして認定し、市民一体となって活躍を後押しするとともに、市民との交流機会を設けることにより、シビックプライドの醸成や市民のスポーツへの関心の向上、活動意欲及び競技力の向上につなげる。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「トップアスリート」及び「みらいアスリート」の認定申請受付</li> <li>■選考会の実施（各競技団体等の選考委員による審査）</li> <li>■支援金交付（トップアスリート：100万円、みらいアスリート：30万円）</li> <li>■活動報告会等の実施（市民との交流機会）</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
認定申請件数	件			13	13

3 参考情報

【トップアスリート】※認定予定件数：3名程度  
 認定要件：申請の前年度以降に次のいずれかに該当し、競技団体からの推薦を受けた者  
 ①国際競技大会等に出場②中央競技団体等から日本代表またはその候補として指定  
 ③オリンピック/パラリンピック委員会または同委員会の正加盟団体からの強化指定  
 【みらいアスリート】※認定予定件数：10名程度  
 認定要件：申請の前年度以降に次の要件に該当し、競技団体からの推薦を受け、かつ将来的にトップアスリートの認定要件を満たすと見込まれる者  
 ①国内主要大会等において入賞以上

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				6,500	未定	未定
主要な経費	旅費			134		
	委託料			300		
	補助金			6,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			6,500		

事業名	下関陸上競技場施設整備事業		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 体育施設費		
総合計画の体系	第2章 第1節 文化・スポーツの振興	実施計画番号	7
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	市民1人当たりのスポーツ施設年間利用回数		
担当課名	スポーツ振興課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	「するスポーツ」の基盤として、快適かつ質の高いスポーツ活動に取り組める環境整備を目指すとともに、「見るスポーツ」における利便性の向上を目的として、下関陸上競技場に大型映像装置を導入することで、施設の利用促進を図る。
令和8年度の主な取組	令和7年度に実施のコンサルティング業務の結果報告を踏まえて、施設整備に係る実施設計を行う。

2 施設の概要、計画等

<p>◆施設の概要</p> <p>[施設名] セービング陸上競技場</p> <p>[建築] 昭和63年竣工、平成10年メインスタンド設置</p> <p>[規模] 全天候型 400mトラック×8コース ※日本陸連第二種公認陸上競技場</p> <p>[構造] 鉄筋コンクリート造4階建</p> <p>[各年度利用人数] R4:47,623人 R5:47,963人 R6:58,551人</p> <p>[主な大会] レノファ山口ホームゲーム(年1回) 県陸上競技大会・市内陸上競技大会(年10回程度)</p> <p>◆事業スケジュール</p> <p>令和8年度 実施設計業務委託</p> <p>令和9年度～ 工事実施</p>	  <p>※整備イメージ</p>
---	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			5,000	50,000	未定	未定
主要な経費	委託料		5,000	50,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		5,000	50,000		
	一般財源					



# 建設部

事業名	道路維持管理業務		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路維持費		
総合計画の体系	第5章 第6節 道路・橋梁等老朽化対策の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	道路河川建設課／道路河川管理課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	市民生活や社会・経済活動の基盤となる道路施設のメンテナンスを推進し、計画に沿った事業進捗を図る。
令和8年度の主な取組	老朽化の著しい路線の舗装、道路施設の保全改修や雑草対策等を計画的に実施する。 また、近年、ゲリラ豪雨等による冠水被害が頻発している地下道等において、防災ライブカメラを設置する。

2 施設の概要、計画等

【事業計画】	
事業名	事業実施期間
市道重点改修事業	令和3年度～令和12年度
道路施設保全改修事業	令和5年度～令和14年度
市道等雑草対策推進事業	令和4年度～令和13年度
道路附属物点検事業	令和元年度～令和13年度
道路附属物更新事業	令和元年度～令和13年度
下関駅前人工地盤改修事業（本体）	平成26年度～令和10年度
防災ライブカメラ設置事業	令和7年度～令和9年度



市道重点改修事業  
市道 松小田・才川線（竣工）

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		534,099	313,750	295,000	未定	未定
主要な経費	市道重点改修事業	175,020	160,000	200,000		
	道路施設保全改修事業(防護柵、側溝等)	16,309	67,800	30,000		
	市道等雑草対策推進事業	6,993	7,000	20,000		
財源	国庫支出金	42,787	13,500	16,000		
	県支出金					
	市債	394,000	258,400	227,600		
	その他特定財源(基金繰入金)		1,000	20,000		
	一般財源	97,312	40,850	31,400		

事業名	緊急自然災害防止対策事業 (道路防災・河川改修)		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費 一般会計 土木費 河川費 河川新設改良費		
総合計画の体系	第5章 第5節 道路の整備 第5章 第7節 河川・海岸環境の整備	実施計画番号	25
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く(ハード面)、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	安全で便利な道路機能が構築されていると感じる市民の割合		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	令和元年度

1 事業の概要・取組

概要	災害の発生予防・拡大防止を目的に、道路に接した法面からの落石や冠水の恐れのある道路等の施設整備や河川護岸等の整備を行い、防災・減災対策を推進する。
令和8年度の主な取組	緊急自然災害防止対策事業債を活用し、道路法面や河川護岸等の整備を計画的に行う。

2 施設の概要、計画等

【道路防災】				【河川改修】			
管内	路線名	事業内容	事業実施期間	管内	河川名	事業内容	事業実施期間
本庁	彦島福浦町25号線	排水路改修 L=80m	令和8年度 ~ 令和10年度	本庁	塩田川	護岸改修 L=80m	令和8年度
	小月小月町42号線	排水路改修 L=80m	令和8年度 ~ 令和10年度		小月京泊地区水路	水路改修 L=250m	令和8年度 ~ 令和12年度
	安岡富任25号線	排水路改修 L=150m	令和8年度 ~ 令和11年度		綿屋川	護岸改修 L=50m	令和8年度 ~ 令和12年度
	彦島緑町1号線	排水路改修 L=160m	令和8年度 ~ 令和12年度		禊田川	護岸改修 L=1,100m	令和8年度 ~ 令和12年度
	吉見本町50号線	排水路改修 L=150m	令和8年度 ~ 令和11年度		伊倉川	護岸改修 L=330m	令和8年度 ~ 令和9年度
	川中綾羅木本町37号線	排水路改修 L=150m	令和8年度 ~ 令和10年度		安養寺川	護岸改修 L=300m	令和8年度 ~ 令和12年度
	川中石原4号線	排水路改修 L=20m	令和8年度 ~ 令和10年度		吉見地区水路	水路改修 L=12m	令和8年度
	川中伊倉新町8号線	排水路改修 L=60m	令和8年度 ~ 令和10年度		福浦川	護岸改修 L=80m	令和8年度 ~ 令和12年度
	菊川 下大野~谷井線	擁壁工 L=100m	令和8年度 ~ 令和12年度		丸山地区水路	水路改修 L=230m	令和8年度 ~ 令和12年度
	豊田 殿敷住宅1号線	排水路改修 L=240m	令和8年度 ~ 令和9年度		前田地区水路	水路改修 L=300m	令和8年度 ~ 令和10年度
豊浦 岩谷線	法面対策工 L=30m	令和8年度 ~ 令和10年度	杉迫川	水路改修 L=300m	令和8年度 ~ 令和12年度		
豊北 阿川田耕線	法面対策工 L=130m	令和8年度 ~ 令和12年度	小野川	水路改修 L=10m	令和8年度 ~ 令和9年度		
				彦島迫町地区水路	水路改修 L=20m	令和8年度	
				菊川 下市地区水路	水路改修 L=600m	令和8年度 ~ 令和12年度	
				豊田 西市地区水路	水路改修 L=400m	令和8年度 ~ 令和12年度	
				豊浦 川棚川	帯工 W=11m	令和8年度	
				豊北 沼川	護岸改修 L=350m	令和8年度 ~ 令和9年度	
				全市 河川緊急メンテナンス事業	護岸改修等 13箇所	令和8年度 ~ 令和9年度	

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		342,228	489,500	520,500	535,700	536,500
主要な経費	河川改修	182,915	292,500	351,000	324,100	321,000
	道路防災	159,313	197,000	169,500	211,600	215,500
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	337,100	489,500	520,500	535,700	536,500
	その他特定財源					
	一般財源	5,128				

事業名	道路整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費		
総合計画の体系	第5章 第5節 道路の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が高く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	市道の道路改良率		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	幹線道路とのアクセス、安全で円滑な通行空間の確保、地域環境の改善等を図るための道路整備を推進する。
令和8年度の主な取組	社会資本整備総合交付金や過疎対策事業債を活用し、道路整備を継続して実施する。

2 施設の概要、計画等

【社会資本整備総合交付金事業計画】

管内	路線名	事業内容	事業実施期間
本庁	小月小島線	道路整備 L=570m	平成25年度～令和11年度

【地域道路整備事業計画】

管内	路線名	事業内容	事業実施期間
豊田	中村長正司線	道路改良 L=1,140m	平成27年度～令和8年度
豊北	宮迫中原線	道路改良 L=346m	平成29年度～令和11年度



小月小島線

※小月小島線 令和7年度3月補正（前倒し）：341,090千円

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		379,817	401,200	118,359	489,600	614,350
主要な経費	小月小島線	112,129	264,500	56,759	315,000	429,450
	宮迫中原線	111,100	41,100	41,100	71,900	30,800
	中村長正司線	65,902	35,900	20,500		
財源	国庫支出金	62,657	130,000	28,683	165,000	224,950
	県支出金					
	市債	296,900	256,600	86,800	309,600	368,900
	その他特定財源					
	一般財源	20,260	14,600	2,876	15,000	20,500

事業名	橋りょう維持管理業務		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 橋りょう維持費		
総合計画の体系	第5章 第6節 道路・橋梁等老朽化対策の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	橋梁等健全度割合		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	市民生活や社会・経済活動の基盤となる橋梁等のメンテナンスを推進し、計画に沿った事業進捗を図る。
令和8年度の主な取組	道路更新防災等対策事業費補助金を活用し、橋梁等の定期的な点検・診断を実施するとともに、「下関市橋梁等長寿命化修繕計画」に基づく計画的な補修を行う。

2 施設の概要、計画等

<p>■橋梁等長寿命化</p> <p>「下関市橋梁等長寿命化修繕計画」に基づき、点検・診断結果がⅣ判定（緊急措置段階）及びⅢ判定（早期措置段階）の橋梁について、令和12年度までに補修等を実施。                  （令和6年度末時点：Ⅳ・Ⅲ判定の橋梁等184施設）</p> <p>■橋梁等点検</p> <p>法令に基づき、市道に架かる道路橋、横断歩道橋及びトンネルを定期的に点検・診断</p> <p>・橋梁 : 1,518 橋                  ・横断歩道橋 : 3 施設                  ・トンネル : 2 箇所</p> <p>※5年間1サイクルで継続的に実施                  （令和7年3月修繕計画改訂時点）</p>	 
	<p>橋梁点検状況</p> <p>橋梁劣化状況（コンクリート橋）</p>

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		493,773	407,000	522,500	699,850	760,750
主要な経費	橋梁等長寿命化	425,706	287,000	422,500	599,850	660,750
	橋梁等点検	68,067	120,000	100,000	100,000	100,000
財源	国庫支出金	263,429	211,200	272,800	361,350	393,250
	県支出金					
	市債	186,400	131,600	190,100	270,000	305,100
	その他特定財源(基金繰入金)			59,000		
	一般財源	43,944	64,200	600	68,500	62,400

事業名	交通安全施設等整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 交通安全施設整備事業費		
総合計画の体系	第5章 第5節 道路の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	安全で便利な道路機能が構築されていると感じる市民の割合		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

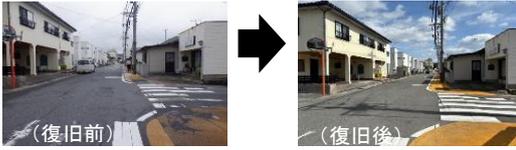
概要	通学路として利用する児童をはじめ歩行者の危険を排除するため、交通安全施設等の整備を行い、安全で安心な道路空間の確保を推進する。
令和8年度の主な取組	社会資本整備総合交付金等を活用し、通学路の安全対策、危険踏切の解消を行う。また、通学路の消失した路面標示、カラー舗装、区画線の復旧等を行う。

2 施設の概要、計画等

【事業計画】				
事業名	管内	路線名等	事業内容	事業実施期間
特定交通安全施設等整備事業	本庁	高尾・幡生線	歩道整備 L=1,500m	平成24年度～令和9年度
		貝光・清末線他	歩道整備 L=230m	平成28年度～令和8年度
		宇部線(高磯折第1踏切)	歩道整備 L=530m	平成30年度～令和8年度
		清末西町3号線他	歩道整備 L=290m	令和2年度～令和8年度
	川中伊倉町24号線	歩道整備 L=30m	令和6年度～令和9年度	
	川中綾羅木南町21号線(仮称)	道路整備 L=110m	令和8年度～令和14年度	
	後田町9号線	歩道整備 L=100m	令和8年度～令和11年度	
	菊川	三町～下保木線	歩道整備 L=150m	令和5年度～令和8年度
豊浦	本庁	田部～七見線	歩道整備 L=630m	令和8年度～令和12年度
		中道線	歩道整備 L=420m	平成26年度～令和8年度
交通安全施設整備事業	本庁	通学路交通安全対策(復旧)事業	路面標示、カラー舗装等の復旧	令和5年度～令和8年度



高尾・幡生線(歩道整備)



通学路交通安全対策(復旧)事業

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		299,826	357,175	315,500	634,200	1,009,183
主要な経費	清末西町3号線他	17,927	76,400	62,900		
	三町～下保木線	7,558	31,400	44,000		
	川中綾羅木南町21号線(仮称)			12,600	10,500	105,000
財源	国庫支出金	141,530	166,925	159,500	332,200	524,953
	県支出金					
	市債	134,300	154,500	137,900	271,700	431,200
	その他特定財源					
	一般財源	23,996	35,750	18,100	30,300	53,030

事業名	急傾斜地崩壊対策事業		
予算区分	一般会計 土木費 河川費 急傾斜地崩壊対策事業費		
総合計画の体系	第5章 第7節 河川・海岸環境の整備	実施計画番号	25
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	急傾斜地の崩壊を未然に防止することを目的に、土砂災害警戒区域に指定された箇所のがけ崩れ対策を推進する。
令和8年度の主な取組	土砂災害警戒区域に指定された急傾斜地の崩壊を防止するため、崩壊対策工事等を実施する。

2 施設の概要、計画等

【小規模急傾斜地崩壊対策事業】			
箇所名	事業場所	事業内容	事業実施期間
彦島本村町七丁目(10)-②	彦島本村町七丁目	吹付法砕工 L=82m	令和3年度～令和8年度
彦島杉田町(一)(3)	彦島杉田町一丁目	吹付法砕工 L=36m	令和6年度～令和8年度
吉見古宿町(一)(1)	吉見古宿町	法面対策工 L=30m	令和7年度～令和9年度
木屋川南町(一)(1)	木屋川南町一丁目	測量設計 L=130m	令和8年度～令和10年度
羽山町(6)	羽山町	測量設計 L=80m	令和8年度～令和10年度



彦島本村町七丁目(10)-②

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		136,450	131,500	135,275	107,100	107,100
主要な経費	吉見古宿町(一)(1)		16,300	24,425	5,100	
	彦島本村町七丁目(10)-②	30,223	30,600	20,400		
	木屋川南町(一)(1)			19,050	51,000	51,000
財源	国庫支出金					
	県支出金	45,476	44,500	46,350	52,500	52,500
	市債	80,100	83,900	86,300	54,600	54,600
	その他特定財源(分担金)	6,678	1,600	1,125		
	一般財源	4,196	1,500	1,500		

事業名	中心市街地地区まちなかウォーカブル推進事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 街路事業費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	21
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	令和5年度

1 事業の概要・取組

概要	中心市街地地区（下関駅～唐戸）における歩行者の回遊性の向上を図るため、竹崎・園田線とウォーターフロントエリアの縦動線となる歩道の拡幅や高質化、照明の設置など、車中心から人中心の空間に転換し、「居心地が良く歩きたくなる」まちなか空間の創出を目指す。
令和8年度の主な取組	社会資本整備総合交付金等を活用し、南部町6号線ほかの歩道整備工事を行う。

2 施設の概要、計画等

路線名	事業概要
①竹崎・園田線	歩道照明設置 L=1,100m
②丸山線	歩道高質化 L=300m
③唐戸町5号線	歩道高質化 歩道照明設置 L=164m
④南部町6号線	歩道高質化 歩道照明設置 L=70m
⑤南部町8号線	歩道高質化 歩道照明設置 L=19m
⑥三百目・本町線	歩道高質化 歩道照明設置 L=41m
⑦岬之町8号線	歩道高質化 歩道照明設置 L=63m
⑧竹崎町自歩道1号線	地下道高質化 L=130m

○事業期間  
令和5年度～令和9年度

竹崎・園田線

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		191,633	328,000	325,000	775,997	
主要な経費	工事請負費	159,321	233,000	310,000	729,045	
	補償金		60,000			
	委託料	21,245	20,000		10,000	
財源	国庫支出金	90,283	150,000	150,000	369,522	
	県支出金					
	市債	86,300	160,200	157,500	365,800	
	その他特定財源					
	一般財源	15,050	17,800	17,500	40,675	

事業名	城下町長府地区街路修景整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 街路事業費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	27
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	居住誘導区域の人口密度		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	城下町長府地区における歩行者の回遊性の向上と賑わいの創出を目的とし、主要な道路の高質化等を行い、安全で快適な街路整備に取り組むもの。
令和8年度の主な取組	社会資本整備総合交付金等を活用し、長府南之町2号線ほかの街路整備等を行う。

2 施設の概要、計画等

路線名	事業概要
①長府宮の内町4号線	街路整備 L=350m
②(都)南之浜惣社町線	街路整備 L=330m
③長府南之町2号線ほか	街路整備 L=500m
④長府黒門東町2号線	街路整備 L=430m
⑤松原・長府駅前線ほか	街路整備 L=780m



道路の美化整備イメージ  
(歩行者導線視覚的分離)





整備イメージ

○事業期間：  
令和7年度～令和11年度

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			72,800	195,000	222,600	204,750
主要な経費	工事請負費			132,000	212,000	195,000
	公有財産購入費			20,800		
	補償金			28,000		
財源	国庫支出金		32,200	91,900	106,000	97,500
	県支出金					
	市債		36,500	92,600	104,900	96,500
	その他特定財源(基金繰入金)		4,100	10,000		
	一般財源			500	11,700	10,750

事業名	洪水ハザードマップ作成業務		
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川総務費		
総合計画の体系	第5章 第7節 河川・海岸環境の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	道路河川管理課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	令和3年の水防法改正を受け、令和8年3月までに山口県が新たな洪水浸水想定区域を指定・公表する。これに伴い、水防法第15条に基づいて洪水ハザードマップを作成、配布するもの。
令和8年度の主な取組	洪水ハザードマップの作成を行う。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R9)
洪水浸水想定区域内の住民への洪水ハザードマップ配布率	%				100

3 参考情報

- 事業スケジュール
  - ・令和8年度 洪水ハザードマップ作成
  - ・令和9年度 洪水ハザードマップ配布
- 対象河川数
  - 改正前：7水系8河川
  - 改正後：22水系64河川
  - (うち、21水系63河川の洪水ハザードマップを新たに作成)

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				30,000	未定	
主要な経費	委託料			30,000		
財源	国庫支出金			15,000		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			15,000		

事業名	緊急浚渫推進事業			
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川維持費			
総合計画の体系	第5章 第7節 河川・海岸環境の整備	実施計画番号	25	
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合			
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ			
担当課名	道路河川管理課	開始年度	令和2年度	

1 事業の概要・取組

概要	近年、豪雨による激甚災害が頻発している。このため、土砂堆積や樹木等の繁茂により、断面が著しく阻害され、通水機能が低下している河川について、浚渫工事を実施し、通水機能（断面）を確保するもの。
令和8年度の主な取組	土砂堆積や樹木等の繁茂により、断面が著しく阻害され、通水機能が低下している河川について、浚渫工事を実施する。

2 施設の概要、計画等

「緊急浚渫推進事業債」を活用し、早急に対策が必要な河川の浚渫を実施し、通水機能を確保するもの。  
 河道内の土砂の堆積状況などから優先順位をつけ、堆積土砂（樹木繁茂）対策を計画的に実施する。

【計画河川数】 97河川  
 【令和8年度に実施する河川】 貴飯川ほか11河川  
 本庁 5河川  
 菊川 2河川 豊浦 2河川  
 豊田 1河川 豊北 2河川



浚渫前

↓



浚渫後

普通河川矢玉川

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		138,016	203,000	180,000	未定	未定
主要な経費	工事請負費	135,016	197,600	176,000		
	人件費	2,400	4,100	3,200		
	事務費	600	1,300	800		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	137,900	203,000	180,000		
	その他特定財源					
	一般財源	116				

事業名	民間住宅対策業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費		
総合計画の体系	第5章 第3節 住環境の整備	実施計画番号	23
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成25年度

1 事業の概要・取組

概要	良質な住宅ストックの形成の促進及び市民の安全・安心な居住環境の実現を目的に民間住宅施策を実施するもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住者又は市民に対する住宅取得費用の補助</li> <li>・ 市民に対するまちなかへの引越費用の補助</li> <li>・ 市民が行う浸水対策費用の補助</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
住宅取得支援件数 (当該年度)	件	28	36	36	36

3 参考情報

- ◆住宅取得支援事業補助金  
市内で住宅の建築又は購入をする本市への移住者又は市民に対して、下関駅周辺地区、居住誘導区域等の地域区分に応じて、その費用の一部（最大200万円）を補助する。
- ◆まちなか引越支援事業補助金  
下関駅周辺地区又は居住誘導区域内の民間賃貸住宅へ転居する市民に対して、引越費用の一部（最大10万円）を補助する。
- ◆住宅等浸水対策助成金  
止水板・止水壁の設置、止水袋の購入にかかる費用の一部を補助する。

※R6決算額、R7予算額は従前の補助金（移住者向け住宅購入支援事業補助金、まちなか引越しサポート補助金）の経費も含めて記載 (単位:千円)

4 予算情報

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		19,491	45,469	45,469	未定	未定
主要な経費	住宅取得支援事業補助金	17,890	41,000	41,000		
	まちなか引越支援事業補助金		2,500	2,500		
	住宅等浸水対策助成金	1,545	1,800	1,800		
財源	国庫支出金	7,600	13,500	18,450		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		23,000	25,000		
一般財源		11,891	8,969	2,019		

事業名	空き家対策業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費		
総合計画の体系	第5章 第3節 住環境の整備	実施計画番号	20
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	空き家バンク累計成約件数		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成24年度

1 事業の概要・取組

概要	空家等の適切な管理及び活用の促進のため、「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び「下関市空家等対策計画」に基づき、各種施策を講じるもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険な空き家に対する解体費用の補助</li> <li>下関駅周辺地区の空き家の解体費用の補助</li> <li>空き家バンク事業により取得した空き家の改修費用の補助</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R16)
空き家バンク累計成約件数	件	106	136	161	360

3 参考情報

- ◆危険家屋除却費補助金  
危険な空き家の解体にかかる費用の2分の1（個人最大40万円(重点対象地区（※）60万円））を補助する。 ※下関市空家等対策計画に定める重点対象地区（中心市街地斜面地周辺地区）
- ◆下関駅周辺地区空き家除却跡地活用促進事業補助金  
下関駅周辺地区の空き家の解体にかかる費用の2分の1（最大100万円）を補助する。
- ◆空き家バンク活用促進改修補助金  
空き家バンク登録物件の取得者が実施する空き家の改修にかかる費用の2分の1（最大50万円）を補助する。

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		14,377	56,221	64,617	未定	未定
主要な経費	危険家屋除却費補助金	9,597	10,000	21,000		
	下関駅周辺地区空き家除却跡地活用促進事業補助金		30,000	30,000		
	空き家バンク活用促進改修補助金			10,000		
財源	国庫支出金	6,296	12,000	18,000		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		30,000	32,500		
	一般財源	8,081	14,221	14,117		

事業名	下関駅周辺地区市営住宅等団地再生業務 (1期)		
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費		
総合計画の体系	第5章 第3節 住環境の整備	実施計画番号	23
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く(ハード面)、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	下関市公営住宅等長寿命化計画における目標管理戸数の削減達成率		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成29年度

1 事業の概要・取組

概要	効果的かつ効率的な建替事業の推進を図り、もって安全で安心な住環境の整備に資することを目的に、下関駅周辺地区に位置する市営住宅等の集約建替を行い、団地の再生を図る。
令和8年度の主な取組	令和7年度に行った入札が不調となったため、再度、PFIアドバイザー業務において、契約締結に至るまでの一連の手続きに係るアドバイザーからの支援を受け、事業者と事業契約を締結する。 事業契約締結後、建替事業に着手する。

2 施設の概要、計画等

○事業目的	建替対象住棟の中で、最も築年数が経過し、老朽化が著しい竹崎改良住宅(3)棟、(4)棟の建替えを、他の住宅に先行して行う。
○事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備棟数及び戸数 : 1棟 110戸</li> <li>・住戸タイプ : 1DK(82戸) 2DK(21戸) 3DK(7戸)</li> <li>・事業スケジュール(1期事業 予定)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度 事業者の選定、契約締結、建替事業着手</li> <li>令和14年度 建替事業完了</li> </ul> </li> </ul>
○債務負担行為(令和9年度~14年度)	限度額 3,220,000千円

【竹崎改良住宅(3)棟、(4)棟】



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		4,006	480	10,500	未定	未定
主要な経費	委託料			10,000		
	移転補償金	3,882	297	297		
	事務費	124	183	203		
財源	国庫支出金	268	89	89		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(使用料・基金繰入金)	3,738	391	10,411		
一般財源						

事業名	山陰地区市営住宅団地再生業務				
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費				
総合計画の体系	第5章 第3節 住環境の整備	実施計画番号	23		
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合				
目標指標【KPI】	下関市公営住宅等長寿命化計画における目標管理戸数の削減達成率				
担当課名	住宅政策課	開始年度	令和8年度		

1 事業の概要・取組

概要	効果的かつ効率的な建替事業の推進を図り、もって安全で安心な住環境の整備に資することを目的に、山陰地区に位置する市営住宅の集約建替を行い、団地の再生を図る。
令和8年度の主な取組	山陰地区に位置する市営住宅の集約建替に向けて、団地再生基本計画の策定を行う。

2 施設の概要、計画等

○事業概要	
・山陰地区の市営住宅	
松風荘団地	管理戸数：8棟285戸 竣工年度：昭和49年度～53年度
新垢田団地	管理戸数：16棟575戸 竣工年度：昭和51年度～55年度
安岡福江団地	管理戸数：18棟150戸 竣工年度：昭和45年度
・事業スケジュール(予定)	
令和8年度	団地再生基本計画策定
令和9年度	地元住民との協議
令和10年度	事業方式の検討、敷地測量
令和12年度～	入札、事業着手

【松風荘団地】



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				20,000	未定	未定
主要な経費	委託料			20,000		
財源	国庫支出金			9,000		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			11,000		
	一般財源					

事業名	長府前八幡(1)団地公営住宅等整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費		
総合計画の体系	第5章 第3節 住環境の整備	実施計画番号	23
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く(ハード面)、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	下関市公営住宅等長寿命化計画における目標管理戸数の削減達成率		
担当課名	住宅政策課	開始年度	令和3年度

1 事業の概要・取組

概要	効果的かつ効率的な建替事業の推進を図り、もって安全で安心な住環境の整備に資することを目的に、長府地区に位置する市営住宅の集約建替を行い、団地の再生を図る。
令和8年度の主な取組	PFI事業により設計を実施し、入居者の一時移転を行うとともに、既存建物解体工事に着手する。

2 施設の概要、計画等

○事業目的	長府地区内に多く点在する老朽化した市営住宅の集約拠点に位置付けている長府前八幡(1)団地の更新を行い、集約することにより、団地の再生を図る。
○事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備棟数及び戸数 : 2棟 225戸</li> <li>・住戸タイプ : 1DK(72戸) 2DK(108戸) 3DK(45戸)</li> <li>・事業スケジュール(予定) <ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度 設計、一時移転、解体工事着手</li> <li>令和10年度 A棟建設、引渡し</li> <li>令和14年度 B棟建設、引渡し</li> <li>令和15年度 建替事業完了</li> </ul> </li> </ul>

【長府前八幡(1)団地】



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		5,593	33,000	267,600	565,496	2,269,491
主要な経費	委託料	5,498	32,815	251,286	565,396	2,269,391
	移転補償金			16,292		
	事務費	95	185	22	100	100
財源	国庫支出金	2,749	6,876	127,595	282,697	1,134,365
	県支出金					
	市債			128,600	282,700	1,135,100
	その他特定財源(使用料・基金繰入金)	2,844	26,124	11,405	99	26
	一般財源					

# 都市整備部

事業名	幡生駅周辺整備検討業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	22
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	居住誘導区域の人口密度		
担当課名	都市計画課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	幡生駅は、重要な交通結節点であることから、都市計画マスタープランにおいて、地域拠点の都市施設に位置づけており、幡生駅のバリアフリー化にあわせて、武久側からの利便性向上、駅前広場整備や駅と新病院とのアクセスを向上させ、駅を中心としたまちづくりを進めるため、駅前整備を行うもの。
令和8年度の主な取組	・ JR協定に向けた基本設計

2 施設の概要、計画等

【整備スケジュール】

R8 基本設計  
(概略設計、概算金額算定)

R9 整備計画策定

R10～ JR協定  
詳細設計  
(JR発注) 駅舎等  
(市発注) 駅前広場等

幡生駅周辺整備基本構想

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				40,000	50,000	150,000
主要な経費	委託料			40,000	50,000	150,000
財源	国庫支出金					75,000
	県支出金					
	市債					67,500
	その他特定財源(基金繰入金)			40,000		
	一般財源				50,000	7,500

事業名	王司スマートインターチェンジ検討業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費		
総合計画の体系	第5章 第5節 道路の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	安全で便利な道路機能が構築されていると感じる市民の割合		
担当課名	都市計画課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	下関インターチェンジと小月インターチェンジの間における、王司パーキングを経由したスマートインターチェンジ設置の可能性について調査を行うもの。
令和8年度の主な取組	・スマートインターチェンジ調査検討

2 施設の概要、計画等

【業務概要】

スマートインターチェンジ調査検討

- ・事例確認
- ・整備手法検討
- ・課題整理

王司パーキングエリア(現況)




上り側
下り側



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				3,000	未定	未定
主要な経費	委託料			3,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			3,000		

事業名	公共交通機関整備推進業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 交通対策費		
総合計画の体系	第5章 第4節 公共交通の整備	実施計画番号	24
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	市民のバス利用率 市民の鉄道利用率		
担当課名	都市計画課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	生活に必要な移動手段である路線バスの運行の維持、公共交通の人材確保等に対する支援や、市生活バスの運行を実施する。 JR山陰本線の利用促進を図り、地域活性化につながる取組を実施する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通事業者等への各種補助金の交付</li> <li>菊川・豊田・豊北総合支所管内の市生活バスの運行</li> <li>JR山陰本線利用促進協議会の取組実施</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
人口に対するバス・鉄道の利用率	%	18.2	18.5	18.7	19.4

3 参考情報

<p>【公共交通事業者等への各種補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>路線バス運行の維持等を図るための補助</li> <li>第二種運転免許の取得費用</li> <li>運転手就労支援金</li> <li>キャッシュレス決済システム導入費用</li> </ul>	<p>【市生活バスの運行】</p> 	<p>【JR山陰本線の利用促進】</p> 
--	--	--

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		444,505	383,386	449,267	未定	未定
主要な経費	地方バス路線維持費補助金	230,000	200,000	270,000		
	生活バス運行委託料	58,546	65,008	67,684		
	公共交通人材確保支援事業費補助金	935	7,250	13,250		
財源	国庫支出金	4,023	5,708	6,008		
	県支出金	29,391	29,315	23,707		
	市債	1,900				
	その他特定財源(基金繰入金・使用料)	1,297	7,352	351,741		
	一般財源	407,894	341,011	67,811		

事業名	交通空白対策実証事業 (AIオンデマンド・貨客混載実証)		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 交通対策費		
総合計画の体系	第5章 第4節 公共交通の整備	実施計画番号	24
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く(ハード面)、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	市民のバス利用率		
担当課名	都市計画課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	交通空白地域の市民の交通手段を確保するために必要な「生活バス」の利用率や利便性向上を図るため、AIオンデマンド(貨客混載)の実証運行を実施するもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊田地域におけるAIオンデマンド(貨客混載)の実証運行(継続)</li> <li>効果検証</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
人口に対するバスの利用率	%	9.2	9.7	9.8	10.2

3 参考情報

<ul style="list-style-type: none"> <li>実証区域 豊田地域</li> <li>実証期間 令和7年10月1日～</li> <li>運行時間 8時15分～16時15分 (日・祝日・年末年始を除く)</li> </ul>	【AIオンデマンド実証車両】	【アプリによる運行予約】
		

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			39,000	13,000	未定	未定
主要な経費	委託料		39,000	13,000		
財源	国庫支出金		26,000			
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		13,000	13,000		
	一般財源					

事業名	交通空白対策実証事業 (廃止バス路線代替交通モード実証)		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 交通対策費		
総合計画の体系	第5章 第4節 公共交通の整備	実施計画番号	24
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており(ソフト面)、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	都市計画課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	利用者の減少や運転手不足などから、令和7年9月30日をもって廃止となった内日線・員光線の2路線について、地域住民の移動手段を確保するため、代替交通の実証運行の実施及び将来的な交通モードを検討するもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代替交通の実証運行(継続)</li> <li>・将来的な交通モードの検討</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
公共交通カバー率	%	78.7	78.7	78.7	78.7

3 参考情報

<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証運行区間                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①内日線(新下関駅～内日河原)</li> <li>②員光線(新下関駅～員光～ゆめタウン長府)</li> </ul> </li> <li>・実証期間 令和7年10月1日～(3年を目途)</li> </ul>	<p>【代替交通実証車両】</p> 
--	--

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			34,000	50,000	未定	未定
主要な経費	委託料		34,000	50,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金・使用料)		34,000	50,000		
	一般財源					

事業名	タクシー配車・待機支援補助金		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 交通対策費		
総合計画の体系	第5章 第4節 公共交通の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	都市計画課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	<p>運転手不足や利用者の減少等により、タクシー事業の存続が困難な地域において、タクシー車両台数の確保のための補助を行い、安定的な公共交通の維持を図るもの。</p>
令和8年度の主な取組	<p>・タクシーの配車・待機費用に対する補助金交付</p>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
タクシー待機（補助対象）台数	台		3	4	4

3 参考情報

<ul style="list-style-type: none"> <li>対象地域 菊川、豊田、豊浦、豊北の各地域</li> <li>対象者 各地域へ配車・待機したタクシー事業者（各地域1台まで）</li> <li>補助金額 1台につき、1日当たり2万円から売上を引いた額、または1万円のいずれか少ない額</li> </ul> <p>※令和7年度9月補正：5,000千円（対象地域：菊川、豊浦、豊北）</p>
--

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				14,600	未定	未定
主要な経費	補助金			14,600		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			14,600		
	一般財源					

事業名	日和山公園周辺地区市街地整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 市街地整備費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	21
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	居住誘導区域の人口密度		
担当課名	市街地開発課	開始年度	平成30年度

1 事業の概要・取組

概要	中心市街地北側の斜面地に位置する日和山公園周辺地区において、老朽建築物が密集し住環境の改善が求められていることから、地元と連携して市道等の整備を進めるもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aエリア：(仮称)丸山町改良1号線の用地買収・建物補償</li> <li>・ Bエリア：地元説明会・個別説明会の開催</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

[ 事業スケジュール ]

Aエリア

令和 8～ 9年度 用地買収等

令和10～11年度 工事

令和11年度 (仮称)丸山町改良1号線完了

Bエリア

令和 8年度 地元との連携 (地元説明会等)

令和 9年度～ 道路詳細設計

[Aエリア概要] (仮称)丸山町改良1・2号線

[日和山公園]

[Bエリア概要] (仮称)丸山町改良2・3号線

日和山公園周辺地区

(仮称)丸山町改良2号線

(仮称)丸山町改良1号線

(仮称)丸山町改良3号線

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		26,007	24,400	165,000	199,500	115,500
主要な経費	委託料	25,920	23,600	15,100	20,000	10,000
	用地買収・建物補償			142,700	170,000	100,000
	事務費	87	800	7,200	9,500	5,500
財源	国庫支出金	5,480	6,800	73,550	95,000	55,000
	県支出金					
	市債	800	4,600	71,700	94,000	54,400
	その他特定財源(基金繰入金)			19,000		
	一般財源	19,727	13,000	750	10,500	6,100

事業名	入江町周辺地区土地区画整理事業検討業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 市街地整備費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	21
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	居住誘導区域の人口密度		
担当課名	市街地開発課	開始年度	令和3年度

1 事業の概要・取組

概要	中心市街地北側の斜面地に位置する入江町周辺地区において、老朽建築物が密集し住環境の改善が求められていることから、区画整理事業を進めるもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区界測量の実施</li> <li>・ 地元説明会等の開催</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

[ 業務スケジュール ]

令和 8年度	地区界測量
令和 9~10年度	実施計画の作成
令和10年度	都市計画決定
令和11年度	事業認可

入江町周辺地区

地区界測量 (5.5ha)

旧第二幼稚園  
旧王江小学校

(現地の状況)

狭い道路・土地の高低差 老朽建築物が密集

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		4,965	6,100	34,800	36,300	24,300
主要な経費	委託料	4,965	6,000	34,500	36,000	24,000
	事務費		100	300	300	300
財源	国庫支出金		2,000	11,000	12,000	8,000
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			23,000		
	一般財源	4,965	4,100	800	24,300	16,300

事業名	優良建築物等整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 市街地整備費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	21
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	居住誘導区域の人口密度		
担当課名	市街地開発課	開始年度	令和4年度

1 事業の概要・取組

概要	都市機能誘導区域内において、市街地環境の整備改善・良好な市街地住宅の供給等に資する優良建築物等の整備を行う民間事業者による事業費の一部を補助し、都市機能と居住機能のバランスの取れた都市拠点を形成し、公共交通の利便性を活かした居住の促進と賑わいの創出を図るもの。
令和8年度の主な取組	・民間事業者に対する事業費の一部補助（細江町三丁目地区）

2 施設の概要、計画等

【細江町三丁目地区】  
 工事期間：令和6～8年度  
 事業費：約55.6億円  
 整備内容：分譲マンション(133戸)、一階店舗、駐車場等  
 補助対象：共同施設整備(空地、供給処理施設等の整備)  
 補助率：補助対象×2/3(国・市各1/3)

事業費	国費	市費	合計
令和6年度	26,200	26,200	52,400
令和7年度	159,850	159,850	319,700
令和8年度	215,110	215,110	430,220
合計	401,160	401,160	802,320

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		397,600	403,640	430,220	未定	未定
主要な経費	優良建築物等整備事業補助金	397,600	403,640	430,220		
財源	国庫支出金	198,800	201,820	215,110		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)	198,000	201,000	215,000		
	一般財源	800	820	110		

事業名	唐戸周辺地区市街地総合再生事業検討業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 市街地整備費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	21
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が高く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	居住誘導区域の人口密度		
担当課名	市街地開発課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	人口減少や社会経済情勢の変化への対応、老朽化した既存建築物の更新や土地利用の見直しなどが課題となっている唐戸周辺地区において、官民連携により市街地総合再生基本計画を策定するもの。
令和8年度の主な取組	・市街地総合再生基本計画の策定

2 施設の概要、計画等

[ 業務スケジュール ]

**市街地総合再生基本計画**

・現況調査  
・地区整備の基本方針

令和7～8年度

→

**基本計画**

・都市計画に係る計画  
・施設建築物の計画

令和9年度

→

**推進計画**

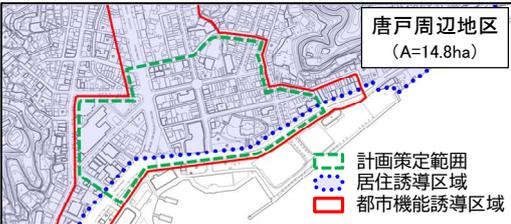
・事業計画案  
・権利調整案

令和10～11年度

[ 令和7～8年度業務概要 ]

- ・基本方針の検討
- ・ワークショップ
- ・民間事業者サウンディング、住民意向調査
- ・イメージ図作成、再生基本計画策定

[ 業務エリア ]



唐戸周辺地区 (A=14.8ha)

- 計画策定範囲 (緑点線)
- 居住誘導区域 (青点線)
- 都市機能誘導区域 (赤点線)

[ ワークショップの様子(令和7年開催) ]



3 予算情報

(単位:千円)

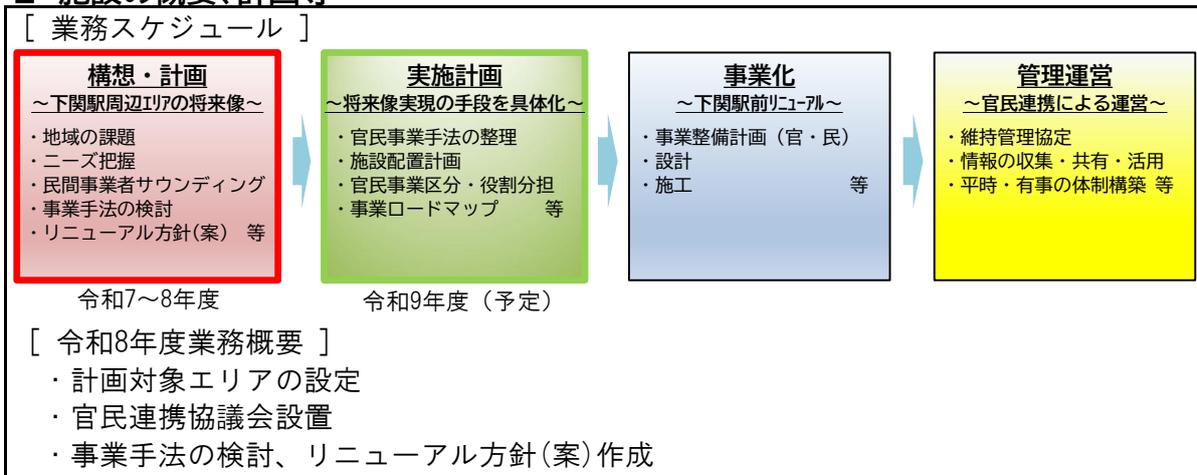
年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			12,000	10,700	未定	未定
主要な経費	委託料		12,000	10,500		
	事務費			200		
財源	国庫支出金		4,000	3,500		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		8,000	7,000		
	一般財源			200		

事業名	下関駅前リニューアル推進検討業務		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 市街地整備費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	20
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	居住誘導区域の人口密度		
担当課名	市街地開発課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	下関駅前において、より効率的かつ実効性のある施策等を検討し、官民連携による施設のリニューアルや新たな事業展開による賑わいの創出を図るもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携協議会の設置</li> <li>・リニューアル方針（案）の検討</li> </ul>

2 施設の概要、計画等



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			20,000	30,000	未定	未定
主要な経費	委託料		20,000	30,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		20,000	30,000		
	一般財源					

事業名	まちなかりビルド支援補助金		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 市街地整備費		
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	21
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が高く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	市街地開発課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	下関駅から唐戸周辺に至る中心市街地において、都市拠点としての市街地形成や防災性の高い都市基盤整備を推進するため、老朽化した建築物の解体に要する経費の一部を補助する。
令和8年度の主な取組	・老朽建築物の除却費用の一部補助

2 施設の概要、計画等

○補助概要  
 【補助率】1/2 【補助上限額】1億円  
 【補助要件】次の条件を全て満たすもの

- ・下関駅から唐戸周辺までの国道9号に面していること
- ・昭和56年5月31日以前に建築された老朽建築物
- ・6階建て以上又は延べ床面積3,000㎡以上
- ・除却後に新たに建物を建築すること(容積率200%以上 他)

【債務負担行為】

事業名	限度額	当年度以降の支出予定額		左の財源内訳			一般財源
		期間	金額	国県支出金	市債	その他	
まちなかりビルド支援補助金	200,000	R9~R10	200,000				200,000

※令和9年度、令和10年度に事業完了見込みの建築物についても補助申請可能

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				100,000	100,000	100,000
主要な経費	補助金			100,000	100,000	100,000
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			100,000		
	一般財源				100,000	100,000

事業名	乃木浜総合公園整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費		
総合計画の体系	第5章 第8節 公園・緑地の整備	実施計画番号	26
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	都市公園における行為許可件数		
担当課名	公園緑地課	開始年度	平成21年度

1 事業の概要・取組

概要	山陽地区の中核的な総合公園として、更なるスポーツ振興や、健康増進、地域コミュニティの形成を促進する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工芝グラウンドの観客席屋根設置</li> <li>緑地等整備</li> <li>インクルーシブ遊具等の整備（債務負担行為）</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多目的グラウンド（大1、小2）</li> <li>人工芝グラウンド（1面）</li> <li>庭球場（5面）</li> <li>野球場（1面）</li> <li>ストリートスポーツ広場（1面）</li> <li>グラウンドゴルフ場（4コース、32ホール）</li> <li>トイレ（4箇所）、緑地、園路等</li> </ul> <p>【事業スケジュール】</p> <p>令和8年度 人工芝グラウンド観客席屋根設置、緑地等整備              令和9年度 インクルーシブ遊具等整備              ※令和7年度3月補正（前倒し）：49,600千円</p> <p>【債務負担行為】</p> <p>期間：令和9年度 限度額：280,000千円</p>	 <p>全体計画図</p>
---	---

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		419,735	167,500	107,800	280,000	
主要な経費	工事請負費	400,288	151,000	102,750		
	委託料	473	10,400		280,000	
	事務費	18,429	6,100	5,050		
財源	国庫支出金	195,722	65,000	51,375		
	県支出金					
	市債	200,600	64,300	50,700	225,000	
	その他特定財源(基金繰入金)		30,000			
一般財源		23,413	8,200	5,725	55,000	

事業名	火の山公園再編整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費 一般会計 教育費 社会教育費 文化財保護費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興 第5章 第8節 公園・緑地の整備	実施計画番号	8
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	公園緑地課 / 文化財保護課	開始年度	令和5年度

1 事業の概要・取組

概要	火の山地区の唯一無二の眺望と、歴史的な遺産、広大な自然環境を活かし、関門地域の魅力を高めることを目的として、老朽化したロープウェイのリニューアルに合わせ、公園や観光施設の整備を行い、市民や観光客がゆっくりと滞在できる空間や、遊び・学びの場を創出する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生広場の整備</li> <li>・立体駐車場の整備</li> <li>・屋内展望施設の整備（債務負担行為に基づく契約のみ）</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<p>【施設概要】</p> <p>山頂：ヒノヤマリング、アスレチック、屋内展望施設、芝生広場、園路等 山麓：キャンプ場、立体駐車場、園路等</p> <p>【事業スケジュール】</p> <p>令和8年度 芝生広場、立体駐車場整備 令和9年度以降 屋内展望施設、芝生広場、園路等整備 ※令和7年度12月補正（減額）：▲6,000千円 ※令和7年度3月補正（前倒し）：492,400千円</p> <p>【債務負担行為】</p> <p>期間：令和9年度 限度額：926,000千円</p>	 <p>【芝生広場・屋内展望施設】</p>
--	---

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		538,000	1,266,900	787,000	未定	未定
主要な経費	委託料	116,391	35,500	236,949		
	工事請負費	346,011	1,170,000	517,000		
	事務費	48,044	51,500	29,051		
財源	国庫支出金	166,451	475,000	268,400		
	県支出金					
	市債	313,500	695,000	430,600		
	その他特定財源(基金繰入金)	111,900	96,000	88,000		
	一般財源	▲ 53,851	900			

事業名	長府苑及び拠点広場等整備事業		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費		
総合計画の体系	第5章 第8節 公園・緑地の整備	実施計画番号	27
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	都市公園における行為許可件数		
担当課名	公園緑地課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	<p>城下町長府地区の歴史・文化と調和した緑と街並みを活かして、地区内の回遊性・滞在性を向上し、まちの魅力を高めることを目的として、長府苑及びその周辺の観光資源、観光施設、文化施設を有効活用（一部改修含む）し、歩行者空間の整備などを行う。</p>
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長府苑及び美術館前広場の用地買戻</li> <li>・長府苑の施設整備（債務負担行為に基づく契約）</li> <li>・関見台公園改修の実施設計</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長府苑改修</li> <li>・美術館前広場改修</li> <li>・関見台公園改修</li> </ul> <p>【事業スケジュール】</p> <p>令和8年度 長府苑：用地買戻、附帯施設改修 美術館前広場：用地買戻 関見台公園：改修に伴う実施設計</p> <p>令和9年度 長府苑：和館・西洋館跡改修 園路・駐車場整備等</p> <p>※令和7年度3月補正（前倒し）：34,000千円</p> <p>【債務負担行為】</p> <p>期間：令和9年度 限度額：200,000千円</p>	<p>位置図</p>
---	------------

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		53,376	388,000	148,000	未定	未定
主要な経費	公有財産購入費		316,913	114,000		
	委託料	53,376	70,000	12,476		
	工事請負費			20,000		
財源	国庫支出金		191,550	69,620		
	県支出金					
	市債		170,500	61,700		
	その他特定財源(基金繰入金)		25,000	16,000		
	一般財源	53,376	950	680		

事業名	公園トイレ高質化事業 (秋根記念公園)		
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費		
総合計画の体系	第5章 第8節 公園・緑地の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が高く(ハード面)、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	都市公園における行為許可件数		
担当課名	公園緑地課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	<p>広いグラウンドを有する近隣公園として、散歩やグラウンドゴルフなど、主に勝山周辺の住民の方々に利用され、地域の活動などの拠点となる秋根記念公園において、老朽化や快適性に課題のある屋外トイレの高質化により、利用者の利便性の向上と、地区周辺の賑わいの拡大を図る。</p>
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東側屋外トイレの更新</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

【施設概要】	
<p>○既設トイレ                  便器数：男 大1(和)、小2                  女 大3(和・洋)                  主体構造：鉄筋コンクリート造                  建築年月：昭和54年3月</p>  <p style="text-align: center;">既設トイレ</p>	
<p>○更新後                  便器数：男 大1(洋)、小2                  女 大2(洋)                  バリアフリー 1箇所                  主体構造：鉄筋コンクリート造</p>  <p style="text-align: center;">更新後(イメージ)</p>	
【事業スケジュール】	
令和8年度 既設更新	

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			13,000	72,000		
主要な経費	工事請負費			70,100		
	委託料		13,000			
	事務費			1,900		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債			64,800		
	その他特定財源(基金繰入金)		13,000			
	一般財源			7,200		



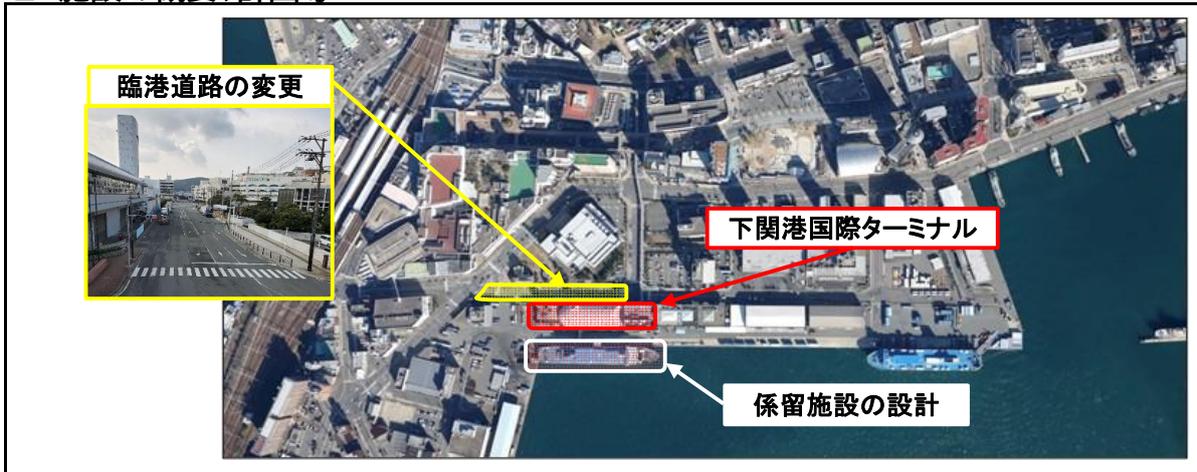
# 港湾局

事業名	本港地区港湾施設再編事業		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 管理費 総務費		
総合計画の体系	第5章 第12節 港湾の振興	実施計画番号	29
ゴール目標【KGI】	企業所得額		
目標指標【KPI】	輸出入貨物量		
担当課名	経営課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	課題となっている本港地区荷さばき地の確保や下関港国際ターミナルの老朽化等への対応として、下関駅周辺エリアリニューアルも考慮しつつ、効率的な土地利用及び施設配置について検討を行うもの。また、大型化が見込まれる国際フェリーの新造船に対応するための基盤整備を行うもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>下関港国際ターミナルの機能・規模等の検討及び土地利用の見直し</li> <li>荷捌き地の拡大に向けた国際ターミナル前臨港道路の変更</li> <li>新造船に対応した係留施設的设计</li> </ul>

2 施設の概要、計画等



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		9,020	21,500	34,500	未定	未定
主要な経費	委託料	9,020	21,500	34,500		
財源	国庫支出金		10,750	7,000		
	県支出金			700		
	市債			12,600		
	その他特定財源(使用料等)	9,020	10,750	14,200		
	一般財源					

事業名	下関港ウォーターフロント開発推進事業		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 管理費 総務費		
総合計画の体系	第2章 第3節 みなとのにぎわいの創出	実施計画番号	12
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	経営課 / 振興課	開始年度	平成30年度

1 事業の概要・取組

概要	<p>関門海峡沿いのウォーターフロントエリアである「あるかぼと・唐戸地区」において、官民連携による開発整備を進め、エリア全体の賑わい創出を図る。</p>
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 岬之町～唐戸地区の事業ニーズに関するサウンディング調査</li> <li>○ 唐戸ターミナル事業の契約満了に伴う民間事業者の公募</li> <li>○ A地区事業者公募における優先交渉権者との事業契約締結</li> <li>○ みなとオアシス推進事業の実施</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
観光客数（暦年・実人数）	千人	5,856	6,800	7,500	10,000

3 参考情報

下関港ウォーターフロント開発エリア

■唐戸ターミナル事業者公募スケジュール(案)

令和8年 4月:事業者サウンディングの実施  
公募資料の作成

令和9年 1月:事業者公募開始  
(提案受付期間約6ヶ月)

令和9年10月:選定審査委員会の開催  
優先交渉権者の選定

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		26,055	21,625	25,071	未定	未定
主要な経費	委託料	25,706	21,000	22,903		
	旅費	349	580	868		
	負担金			1,300		
財源	国庫支出金	7,776	9,000			
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(一般会計繰入金等)	18,279	12,625	25,071		
一般財源						

事業名	航路誘致集貨対策業務			
予算区分	港湾特別会計 港湾費 管理費 総務費			
総合計画の体系	第5章 第12節 港湾の振興	実施計画番号	—	
ゴール目標【KGI】	企業所得額			
目標指標【KPI】	輸出入貨物量			
担当課名	振興課	開始年度	平成17年度	

1 事業の概要・取組

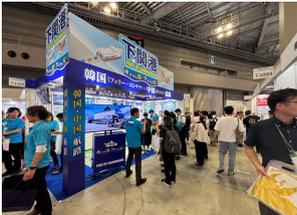
概要	東アジアとのゲートウェイである下関港の一層の港勢拡大に向け、貨物航路の誘致や集貨活動等を推進するため、国内外でのポートセールスの実施や物流展への出展、PR広告の掲載をするもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外集貨セミナー・セールス活動</li> <li>・物流展出展（関東・九州）</li> <li>・PR広告の掲載</li> <li>・下関港くん蒸待機費用補助金</li> <li>・下関港利用トライアル補助金</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R16)
輸出入貨物量（暦年）	万 t	260	280	280	310

3 参考情報

・輸出入貨物量実績  
 令和4年 251万 t  
 令和5年 247万 t  
 令和6年 260万 t



物流展 ブース（東京）



集貨セミナー（東京）

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		15,771	27,174	26,341	未定	未定
主要な経費	委託料(集貨セミナー開催委託 他)	8,894	12,716	12,886		
	使用料(物流展出展料 他)	1,223	2,028	2,020		
	補助金(下関港利用トライアル 他)	2,032	6,500	6,500		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(使用料)	15,771	27,174	26,341		
	一般財源					

事業名	客船誘致業務		
予算区分	港湾特別会計 港湾費 管理費 総務費		
総合計画の体系	第2章 第3節 みなとのにぎわいの創出	実施計画番号	13
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	下関港外国人入国者数		
担当課名	振興課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	長州出島クルーズ岸壁等におけるクルーズ客船の寄港回数増加に向け、関係機関と連携しながら、安全安心で魅力ある寄港地観光を造成するなど、効果的なクルーズ客船誘致活動を実施するもの。
令和8年度の主な取組	全国クルーズ活性化会議総会の下関開催をはじめ、世界最大のクルーズ見本市への出展、民間主体の協議会による客船おもてなしの強化など、積極的な誘致活動を展開することで、寄港数の増加を目指し、市内経済の活性化及びにぎわいの創出を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7(実績)	R8	最終(R8)
クルーズ客船寄港数 (暦年)	回	16	9	57	57

3 参考情報



▲令和7年5月寄港（SCENIC ECLIPSE II）



▲受入時のおもてなし対応



▲タグボートによる入出港支援

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		30,551	54,461	54,755	未定	未定
主要な経費	客船受入業務等委託料	23,543	35,375	32,236		
	クルーズ客船おもてなし推進協議会負担金		2,000	5,000		
	客船誘致促進補助金	2,424	6,500	4,521		
財源	国庫支出金	1,762	5,363	7,004		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(一般会計繰入金等)	28,789	49,098	47,751		
	一般財源					

事業名	港湾施設整備事業・国直轄事業 (港湾)			
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 改修事業費			
総合計画の体系	第2章 第3節 みなとのにぎわい創出 第5章 第12節 港湾の振興	実施計画番号	29	
ゴール目標【KGI】	企業所得額			
目標指標【KPI】	輸出入貨物量			
担当課名	経営課 / 施設課	開始年度	平成17年度	

1 事業の概要・取組

概要	老朽化が進む港湾施設の改修や補修等を行い、利便性や安全性の向上を図るもの。 また、新港地区（長州出島）の泊地浚渫及び本港地区の耐震強化岸壁を整備する国直轄事業に対して負担金を支出するもの。
令和8年度の主な取組	港湾施設整備 長府地区 泊地浚渫、岸壁長寿命化(防舷材)、橋梁長寿命化 東港地区 岸壁改良(ポラード) 西山地区 岸壁改良(係船柱、防舷材)、防波堤改良 国直轄事業 本港地区 岸壁改良 新港地区 泊地浚渫

2 施設の概要、計画等

【港湾施設整備】

- 本港地区 岸壁改良、臨港道路改良
- 長府地区 泊地浚渫、航路浚渫
- 東港地区 岸壁長寿命化、橋梁長寿命化
- 西山地区 岸壁改良、臨港道路改良
- 巖流島地区 泊地浚渫

【国直轄事業】

- 本港地区 岸壁改良
- 新港地区 泊地浚渫

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		692,466	820,300	929,600	839,000	710,000
主要な経費	港湾施設整備事業	358,054	395,300	409,600	319,000	190,000
	国直轄事業費負担金(本港地区)	221,994	200,000	250,000	250,000	250,000
	国直轄事業費負担金(新港地区)	112,418	225,000	270,000	270,000	270,000
財源	国庫支出金	143,396	107,000	83,000	115,000	71,000
	県支出金	19,990	29,650	33,150	37,550	31,950
	市債	500,600	641,900	761,700	648,900	575,100
	その他特定財源(一般会計繰入金等)	28,480	41,750	51,750	37,550	31,950
	一般財源					

事業名	高潮対策事業・国直轄事業 (海岸)			
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 海岸保全施設整備事業費			
総合計画の体系	第5章 第7節 河川・海岸環境の整備	実施計画番号	25	
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く(ハード面)、生活全般に満足を感じている市民の割合			
目標指標【KPI】	浸水箇所整備率			
担当課名	経営課 / 施設課		開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	過去に高潮被害を受けた王喜地区から王司地区において海岸保全施設(堤防)の嵩上げ等の整備を行うもの。 また、長府・壇ノ浦地区及び山陽地区の海岸保全施設整備を行う国直轄事業に対し負担金を支出するもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>王司地区 堤防(改良) L=130m</li> <li>長府・壇ノ浦地区 護岸工 L=310m</li> <li>山陽地区 胸壁・陸閘 L=30m、護岸工 L=80m 水門護岸工(改良) L=50m 宮崎水門 L=80m 新川水門</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

【高潮対策事業】

- 海岸保全施設整備  
王司地区 L=3, 350m  
(完了) 清末地区、王喜地区  
壇ノ浦地区、巖流島地区

【国直轄事業(海岸)】

- 整備区間  
長府・壇ノ浦地区、山陽地区
- 事業年度：平成20年度～令和13年度
- 整備概要  
護岸 L=2, 129m、護岸(改良) L=5, 905m  
胸壁 L=3, 990m、陸閘 26基、水門 5基

海岸保全施設整備(王司地区)



国直轄事業(山陽地区)



国直轄事業(長府・壇ノ浦地区)



国直轄事業(山陽地区)



3 予算情報

(単位:千円)

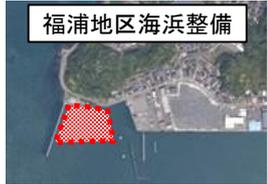
年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		1,080,165	865,900	865,900	865,900	865,900
主要な経費	王司地区施設整備	310,165	95,900	95,900	95,900	95,900
	国直轄事業費負担金	770,000	770,000	770,000	770,000	770,000
財源	国庫支出金	149,633	45,000	45,000	45,000	45,000
	県支出金	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
	市債	868,800	738,800	738,800	738,800	738,800
	その他特定財源(一般会計繰入金等)	59,482	79,850	79,850	79,850	79,850
	一般財源					

事業名	緑地整備事業			
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 環境整備事業費			
総合計画の体系	第5章 第12節 港湾の振興	実施計画番号	29	
ゴール目標【KGI】	企業所得額			
目標指標【KPI】	輸出入貨物量			
担当課名	施設課	開始年度	平成26年度	

1 事業の概要・取組

概要	新港地区（長州出島）への進出企業の立地環境の向上を図り、関連施設を越波による飛沫や風から防護するため、緩衝緑地及び防風施設の整備を行うもの。東港・唐戸地区では海響館や唐戸市場周辺の老朽化したボードウォークや緑地を改修し、福浦地区では藻場造成による海浜整備を行うもの。		
令和8年度の主な取組	・新港地区緑地整備 ・東港・唐戸地区緑地整備	防風フェンス工 L=90m、実施設計 護岸工（床掘工、基礎工、構造物据付） ボードウォーク改修 A=270㎡ 緑地改修（汐入池・水の広場撤去）	

2 施設の概要、計画等

○新港地区緩衝緑地 A=8.0ha ・植栽工、築堤工、防護柵工 ・防風フェンス工 ・護岸工	 <p>新港地区緑地整備</p>	 <p>護岸整備</p>
○東港・唐戸地区緑地 A=2.1ha ・ボードウォーク改修 ・緑地改修	 <p>東港・唐戸地区緑地整備</p>	 <p>福浦地区海浜整備</p>
○福浦地区海浜 L=120m ・藻場造成		

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		177,053	315,500	528,300	1,755,600	359,500
主要な経費	新港地区緑地整備	115,818	282,600	360,000	350,000	268,000
	東港・唐戸地区緑地整備	56,725	32,900	150,000	1,385,600	61,500
	福浦地区海浜整備	4,510			20,000	30,000
財源	国庫支出金	85,005	134,000	215,000	405,000	146,500
	県支出金	3,021	8,400	14,750	25,250	10,650
	市債	81,600	163,200	281,900	454,500	191,700
	その他特定財源(一般会計繰入金等)	7,427	9,900	16,650	870,850	10,650
	一般財源					

事業名	新港地区ふ頭用地整備事業			
予算区分	港湾特別会計 港湾費 建設費 新港地区ふ頭用地整備事業費			
総合計画の体系	第2章 第3節 みなとのにぎわい創出 第5章 第12節 港湾の振興	実施計画番号	13	
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)			
目標指標【KPI】	下関港外国人入国者数			
担当課名	振興課 / 施設課	開始年度	平成29年度	

1 事業の概要・取組

概要	新港地区(長州出島)において、貨物船の寄港需要や貨物の増加への対応、クルーズ旅客の受入環境の向上を図るため、ふ頭用地の整備や旅客待合施設の整備するもの。また、老朽化しているジブクレーンやガントリークレーンなどの荷役機械の延命化を合わせて行うもの。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>待合施設整備</li> <li>保安設備整備(監視設備の改修)</li> <li>荷役機械の延命化(ジブクレーン・ガントリークレーン)</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<p>○施設の概要</p> <p><u>待合施設</u>                  建築面積：1,228.03㎡                  構造：鉄骨造 1階建て【膜屋根】                  継続費 令和8年度：310,000千円                  令和9年度：304,000千円</p> <p><u>港湾荷役機械</u>                  ▶ジブクレーン                  供用開始：平成21年3月                  ▶ガントリークレーン                  供用開始：平成29年10月</p>	  <p>○待合施設</p>
	  <p>○ジブクレーン      ○ガントリークレーン</p>

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		88,651	73,500	397,100	329,000	25,000
主要な経費	委託料	26,840	30,100	48,200	29,000	25,000
	工事請負費	59,568	37,000	332,000	300,000	
	事務費	2,243	6,400	16,900		
財源	国庫支出金	8,946		100,000	100,000	
	県支出金					
	市債	79,300	73,500	297,100	229,000	25,000
	その他特定財源(使用料)	405				
	一般財源					

事業名	臨海土地管理・売却業務		
予算区分	臨海特別会計 臨海土地造成事業費 臨海土地造成事業費 臨海土地造成費		
総合計画の体系	第1章 第2節 商工業の振興 第5章 第12節 港湾の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	企業所得額		
目標指標【KPI】	第2/3次産業総生産額		
担当課名	経営課 / 振興課 / 施設課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	保有する造成地の売却、貸付及び適正な維持管理を行う。また、市が発注する工事の建設発生残土を適正に処理するために新港地区（長州出島）に設置した公共残土処理場の管理運営を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートセールス及び企業訪問による誘致活動</li> <li>・成功報酬型土地売却仲介業務委託事業者と連携した誘致活動</li> <li>・新港地区の土地売却</li> <li>・公共残土処理場及び臨海部公共残土処理場管理基金の管理</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
新港地区(長州出島) 産業振興用地の分譲面積	m <sup>2</sup>	67,906	221,145	221,145	221,145

3 参考情報

- 新港地区（長州出島）土地売却状況
  - ・産業ゾーン 売却済 1区画/全11区画
  - ・物流ゾーン 売却済11区画/全13区画  
(R8.1月末現在：物流ゾーン1区画内定中)



- 公共残土処理場における建設発生土処理受入金の単価（税込）  
(現行) 2,420円/m<sup>3</sup> ⇒ (R8.4.1~) 3,025円/m<sup>3</sup>

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		29,175	64,153	84,508	未定	未定
主要な経費	臨海土地管理業務	15,592	39,944	54,228		
	公共残土処理場管理業務	13,583	24,209	30,280		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(財産収入・諸収入等)	29,175	64,153	84,508		
一般財源						

# 総合支所

事業名	観光宣伝業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	地域政策課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	菊川地域の観光振興を目的に、道の駅きくがわを拠点とした観光情報の発信や夏まつり花火大会などの各種イベントの開催を通じて、交流人口の拡大を図る。
令和8年度の主な取組	○菊川町の玄関口である田部峠歓迎塔周辺の環境整備を行い、イベント情報掲示板等の視認性を高めPR強化を図る。 ○地域内交流や地域経済の活性化を図るため、住民参画による「きくがわマルシェ」で活用する簡易屋台等を整備する。また、当該イベントと「ひろみちお兄さん親子体操教室」を連動させ、より一層のにぎわい創出を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
菊川地区の観光客数	人	426,175	500,000	500,000	500,000

3 参考情報

菊川地区 観光客数の推移 (単位:人)					 <p>きくがわマルシェ</p>
H26	H27	H28	H29	H30	
435,026	462,659	453,606	484,493	472,567	
R1	R2	R3	R4	R5	
472,631	406,006	406,184	431,068	430,670	

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		8,082	8,538	10,499	未定	未定
主要な経費	委託料	2,659	5,640	5,445		
	工事請負費	1,254				
	補助金	3,477	2,100	4,100		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(財産収入・基金繰入金等)	2,541	2,212	6,045		
一般財源		5,541	6,326	4,454		

事業名	地域資源を活用した公民共創まちづくり推進事業（菊川地域）		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	14
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	地域政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	菊川地域が有するスポーツ・農業・人材といった資源を有機的に連携させ、地域の仕事を地域の人が担う仕組みを構築する。また、地域企業等や農業分野における担い手不足の解消と、多様で柔軟な働き方を通じて、人と仕事の循環を生み出し、持続可能な地域を目指す。
令和8年度の主な取組	○スポーツのまち菊川の強みを活かし、担い手不足が課題となっている農業分野への取り組みとして、スポーツを通じて農業に関わり、段階的に就農へとつなげる関係づくりを行う。 ○地域企業・事業者等と地域人材を結ぶマッチング体制を整備し、ローカルテレワークを通じた地域内雇用の創出と、多様な働き方の実現を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R10)
地域内雇用者数	人			2	10

3 参考情報

<p>【令和7年度の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツイベント・合宿の参加者数 約1,100人</li> <li>○地域イベントの参加者数 約800人</li> <li>○テレワーク実践ワークショップの参加者数 約40人</li> </ul>	 <p>ひろみちお兄さん親子体操教室</p>  <p>テレワーク実践WS</p>
--	--

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				6,000	未定	未定
主要な経費	委託料			6,000		
財源	国庫支出金			3,000		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			3,000		

事業名	観光宣伝業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	地域政策課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	道の駅蛸街道西ノ市を観光交流拠点として、豊田地区の観光資源の魅力を発信するとともに、各種イベントを支援することで、観光振興や交流人口の拡大を図る。
令和8年度の主な取組	豊田の冬の風物詩である「ワカサギ」のブランド化を図るため、豊田湖のワカサギ釣り客からのニーズを反映した「ワカサギ船」の導入及び認知度向上や消費拡大を目的とした「ワカサギ食」イベントを開催する。 また、豊田湖畔公園ケビンの点検・補修、施設内の腐食が進む外灯の撤去及び地域の子どもたちを対象とした木育イベントを実施する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
豊田地区の観光客数	人	770,151	816,000	869,000	1,050,000

3 参考情報

豊田地区 観光客数の推移 (単位:人)					【ワカサギ船】	【ケビン】
H26	H27	H28	H29	H30		
1,016,719	1,043,494	916,896	874,657	836,185		
R1	R2	R3	R4	R5		
894,454	636,049	695,117	734,544	719,282		

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		9,237	11,356	16,882	未定	未定
主要な経費	委託料	2,700	3,682	5,300		
	備品購入費		60	4,357		
	補助金	6,477	7,145	7,145		
財源	国庫支出金					
	県支出金			4,400		
	市債	4,600	3,500	2,400		
	その他特定財源(財産収入・諸収入)	72	1,076	76		
	一般財源	4,565	6,780	10,006		

事業名	地域資源を活用した公民共創まちづくり推進事業（豊田地域）		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	14
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	地域政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	リノベーションまちづくりの手法により、地域に存在する廃校・空き家・空き店舗等の地域資源を公民が共創して活用し、にぎわいを創出することで、エリア価値を高め、新たな人材や投資を呼び込み、移住・定住者が増加する好循環を構築するもの。
令和8年度の主な取組	旧豊田中小学校を地域の交流拠点として、ワークショップやセミナーの開催、テレワークの推進、副業人材の育成を図るなど、新たな価値を生み出す場を創出する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R10)
リノベーションまちづくり関連のイベント開催回数	回			3	5

3 参考情報

<ul style="list-style-type: none"> <li>○旧豊田中小学校                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉校日：令和3年3月31日</li> <li>・地域での利用状況：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「思い出さいか市」</li> <li>「豊田中地区スポーツ大会」等</li> </ul> </li> <li>・地域住民による環境整備等：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内の除草作業（年4回程度）</li> <li>グラウンドの維持管理</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	 
--	--

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				3,000	未定	未定
主要な経費	委託料			3,000		
財源	国庫支出金			1,500		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			1,500		

事業名	観光宣伝業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	地域政策課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	豊かな自然・景観・歴史的資源及び食文化等を効果的に活用するとともに、各種イベントの開催等を通じて、にぎわいの創出及び交流人口の拡大を図り、豊浦地域の持つ観光資源の魅力をPRする。
令和8年度の主な取組	各種補助金の交付により、地域団体が実施する豊浦夏まつりや豊浦コスモスまつり及び豊浦町観光協会が実施する川棚温泉まつりや豊浦地域全域にわたる観光案内等を支援する。また、川棚温泉エリア再生事業の成果を踏まえ、引き続き地域資源活用型イベントへの補助等を行い、川棚温泉エリアを含めた豊浦地域全域の観光客の増加、交流人口の拡大を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
豊浦地区の観光客数	人	430,406	475,000	506,000	616,000

3 参考情報

豊浦地区の観光客数推移 (単位:人)						
H26	H27	H28	H29	H30		
550,114	608,467	557,607	597,729	596,770		
R1	R2	R3	R4	R5		
588,476	422,328	400,138	390,683	428,509		

豊浦コスモスまつり      豊浦夏まつり

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		8,038	9,509	12,508	未定	未定
主要な経費	地域イベント助成事業補助金	5,385	6,590	8,090		
	観光協会補助金	2,146	2,666	2,666		
	委託料			1,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	6,000	4,500	3,000		
	その他特定財源					
一般財源		2,038	5,009	9,508		

事業名	地域資源を活用した公民共創まちづくり推進事業（豊浦地域）		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	14
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	地域政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	リノベーションまちづくりの手法により、地域に存在する空き家・空き店舗等の地域資源を公民が共創して活用し、にぎわいを創出することで、エリア価値を高め、新たな人材や投資を呼び込み、移住・定住者が増加する好循環を構築するもの。
令和8年度の主な取組	豊浦地域に適したリノベーションまちづくりを推進するため、活動プランの作成や先進地事例の調査、セミナーの開催等により、地域の理解促進や機運醸成を図る。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R10)
リノベーションまちづくりの趣旨に沿った起業者数	人			1	1

3 参考情報

令和5～7年度に実施した川棚温泉エリア再生事業で得られた地域のにぎわいを生かして、空き物件等の地域資源を活用したリノベーションまちづくりを推進し、更なる地域の活性化につなげる。

空き物件  
(地域資源)



→

リノベーションまちづくり

→



にぎわい拠点

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				3,600	未定	未定
主要な経費	委託料			3,500		
	旅費等			100		
財源	国庫支出金			1,750		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			1,850		

事業名	観光宣伝業務		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	観光消費額（地域外からの外貨獲得）		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	地域政策課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	豊北総合支所管内の観光振興を目的とし、管内の観光情報の収集や情報発信等を行い交流人口の拡大を図る。
令和8年度の主な取組	滝部駅を拠点として、山陰線の利用促進をはじめ、観光情報の提供を行うことにより、滞在時間及び周遊率の増加を図る。 また、山口デスティネーションキャンペーンで実施されるオープントップバスの周遊に合わせ、滝部駅等でのマルシェによるおもてなしを実施する。

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
豊北地区への観光客数	人	773,578	900,000	959,000	1,130,000

3 参考情報

【豊北地区の観光客数推移】 (単位：人)

H26	H27	H28	H29	H30
920,826	1,012,575	1,071,032	1,127,740	1,061,022
R1	R2	R3	R4	R5
1,008,735	651,629	620,970	734,999	783,560



マルシェイメージ

4 予算情報

(単位：千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		8,197	10,168	7,398	未定	未定
主要な経費	委託料	1,793	4,480	3,500		
	負担金補助及び交付金	6,336	5,576	3,806		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	2,400	1,800	1,200		
	その他特定財源					
	一般財源	5,797	8,368	6,198		

事業名	地域資源を活用した公民共創まちづくり推進事業（豊北地域）		
予算区分	一般会計 総務費 総務管理費 総合支所費		
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	14
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	地域政策課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	リノベーションによるまちづくりの手法を用いて、地域の価値や魅力を向上させるため、「豊北エリアビジョン」に基づいた事業を推進し、地域内においてさらに横展開する。
令和8年度の主な取組	リノベーションまちづくりアドバイザー業務 ・まちあるきワークショップの開催 ・エリアビジョンの推進

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R10)
移住・定住相談件数	件	170	200	210	230

3 参考情報

■豊北地域リノベーションのまちづくり【R5~R7】

- ・リノベーターズサミット
- ・まちあるきワークショップ
- ・テレワーク講座
- ・エリアビジョン策定
- ・旧教職員住宅、旧消防署待機宿舍の改修
- ・シェアビレッジの整備 など




まちあるきワークショップ

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				3,000	未定	未定
主要な経費	委託料			3,000		
財源	国庫支出金			1,500		
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			1,500		



# 消防局

事業名	西消防署整備事業		
予算区分	一般会計 消防費 消防費 消防施設費		
総合計画の体系	第7章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており（ソフト面）、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	総務課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	建物の老朽化や護岸の浸食、さらには消防車両の大型化や複雑多様化する災害に対する資器材の増加により、狭隘な西消防署を移転し建て替えるもの。 消防施設の機能強化に加え、女性職員の配置や仮眠室の個室化等の労働衛生環境を考慮した庁舎とする。
令和8年度の主な取組	基本・実施設計業務（地質調査を含む）【R9年度債務負担行為】 移転先である「旧下関市立南部学校給食共同調理場」の解体設計業務

2 施設の概要、計画等

1 施設の概要	西消防署 彦島本村町六丁目1番2号 昭和45年3月建築 鉄筋コンクリート造3階建 建築（延）面積：1,078.25㎡、敷地面積：1,063.01㎡	
移転先	彦島江の浦町三丁目4番10号 （旧下関市立南部学校給食共同調理場） 敷地面積：1,975㎡	 <p>【現在の西消防署】</p>
2 事業計画	R8～9年度：基本・実施設計業務 旧下関市立南部学校給食共同調理場解体 R10～11年度：建設工事 R12年度：新消防庁舎 供用開始予定	

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				44,000	76,100	未定
主要な経費	委託料			44,000	76,100	
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債			44,000	76,100	
	その他特定財源					
	一般財源					

事業名	消防車両等整備事業		
予算区分	一般会計 消防費 消防費 常備消防費/消防施設費		
総合計画の体系	第7章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	34
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており(ソフト面)、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	消防力の整備指針(消防庁告示)を目標として、常備消防車両等の整備に取り組みながら、耐用年数を経過した車両等を計画的に更新するとともに、消防車両の安全基準に基づく、はしご付消防自動車の集中整備を行うなど、適正に維持管理する。
令和8年度の主な取組	災害対応多目的車1台及び高規格救急自動車2台を更新し、はしご付消防自動車の集中整備を行う。

2 施設の概要、計画等

令和8年度事業	○更新車両 3台	災害対応多目的車1台	高規格救急自動車2台	豊浦西消防署豊北出張所
消防局	(平成19年1月配備 19年経過)	豊浦西消防署	(令和元年11月配備 6年経過)	(令和3年3月配備 5年経過)
				
	○はしご付消防自動車の集中整備(分解・点検・修理)1台 北消防署勝山出張所(平成25年3月配備) 「消防自動車の安全基準」に基づき実施			

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		85,252	310,000	168,000	262,620	237,460
主要な経費	車両購入費等	85,252	310,000	168,000	262,620	237,460
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	82,100	310,000	119,000	200,100	235,500
	その他特定財源(基金繰入金)			49,000		
	一般財源	3,152			62,520	1,960

事業名	消防団充実強化事業		
予算区分	一般会計 消防費 消防費 非常備消防費/消防施設費		
総合計画の体系	第7章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	34
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており(ソフト面)、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	消防団員加入割合		
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	耐用年数を経過した消防団車両等の計画的な更新、老朽・狭隘な消防機庫の計画的な改修・改築(統廃合を含む)を行う。 また、安全装備品等を配備することにより、消防団員の安全を確保し、災害活動の充実強化を図る。
令和8年度の主な取組	消防機庫1棟を改築するとともに、小型動力ポンプ付積載車4台、小型動力ポンプ積載車3台、小型動力ポンプ4台の更新及び活動服等の安全装備品の配備を行う。

2 施設の概要、計画等

令和8年度 主な事業概要	【消防機庫(改築イメージ)】
<ul style="list-style-type: none"> <li>消防機庫改築(建替) 1棟 【消防施設費・工事請負費ほか】 西市分団第1・3部(西市)</li> <li>小型動力ポンプ付積載車 4台 【消防施設費・備品購入費】 神玉分団第3部(根崎)、角島分団第1部(黒瀬) 神田分団第1部(特牛)、阿川分団第3部(浦)</li> <li>小型動力ポンプ積載車 3台 【消防施設費・備品購入費】 吉田分団第2部(肥田)、豊東分団第3部(上保木)、豊東分団第5部(上田部)</li> <li>小型動力ポンプ 4台 【消防施設費・備品購入費】 勝山分団第5部(小野)、殿居分団第2部(殿居) 西市分団第2部(大河内)、豊東分団第2部(下保木)</li> <li>消防団装備品 【非常備消防費・消耗品費】 安全装備品~活動服、耐切創用手袋、雨衣等</li> </ul>	 

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		116,092	137,216	156,443	188,736	211,704
主要な経費	消防機庫の改築	53,554	71,336	74,180	89,486	112,454
	車両購入費等	46,877	44,000	63,000	87,200	87,200
	教育及び装備品等	15,661	21,880	19,263	12,050	12,050
財源	国庫支出金	4,957	5,000			
	県支出金			600		
	市債	97,100	105,200	130,500	155,500	192,500
	その他特定財源 <small>(基金繰入金・諸収入)</small>	8,251	21,990	8,800	8,800	8,800
	一般財源	5,784	5,026	16,543	24,436	10,404

# 教育委員会

事業名	GIGAスクール構想推進事業 (タブレット更新)		
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費 / 小学校費 教育振興費 / 中学校費 教育振興費 / 高等学校費 教育振興費		
総合計画の体系	第3章 第2節 教育の振興	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思える保護者の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	学校支援課 / 下関商業高等学校	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	GIGAスクール構想を推進するため、学校におけるICT環境の整備を進めるとともに、機器の老朽化に伴う課題の解決を図る。
令和8年度の主な取組	令和2年度に導入したタブレット及び付属品の更新、設定作業を行う。

2 施設の概要、計画等

◆ 整備台数	小学校 10,859台 中学校 6,106台 下商 540台 計 17,505台 (児童生徒、指導者用、予備分を含む)
◆ 整備内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット端末</li> <li>・ キーボード一体型ケース</li> <li>・ タッチペン</li> <li>・ 保護フィルム</li> <li>・ 設定管理用ライセンス</li> <li>・ Webフィルタリングソフト</li> </ul>

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				1,139,600		
主要な経費	備品購入費			995,819		
	消耗品費			43,109		
	委託料			100,672		
財源	国庫支出金					
	県支出金			622,050		
	市債			13,500		
	その他特定財源(基金繰入金)			503,000		
	一般財源			1,050		

事業名	玄洋中学校区小中一貫教育校施設整備事業		
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校建設費 / 中学校費 学校建設費		
総合計画の体系	第3章 第2節 教育の振興	実施計画番号	16
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思える保護者の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	学校支援課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	令和9年4月に本村小学校、西山小学校及び玄洋中学校による施設一体型小中一貫教育校を開校するため、必要となる施設の改修を行うもの。
令和8年度の主な取組	玄洋中学校に小学生を受け入れるために必要となる改修を行う。

2 施設の概要、計画等

<p>◆ 主な改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通教室棟                     <ul style="list-style-type: none"> <li>普通教室、手洗い場、階段手摺、配膳室の改修</li> <li>トイレの大規模改修、空調設備の設置</li> <li>外壁及び屋上防水改修</li> </ul> </li> <li>管理特別教室棟                     <ul style="list-style-type: none"> <li>職員室の改修、図書室の設置</li> <li>特別教室の調理台の補修、実験台の取替え</li> <li>外壁及び屋上防水改修</li> </ul> </li> <li>特別棟                     <ul style="list-style-type: none"> <li>特別教室の床改修</li> </ul> </li> <li>その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>遊具の設置、防球ネット改修、通学路整備</li> </ul> </li> </ul>	<p>【校舎の外観（現況）】</p>  <p>【内部の状況（現況）】</p> 
---	---

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				635,600		
主要な経費	工事請負費			602,000		
	委託料			12,480		
	事務費			21,120		
財源	国庫支出金			98,022		
	県支出金					
	市債			337,800		
	その他特定財源(基金繰入金)			199,000		
	一般財源			778		

事業名	学校トイレ快適化事業		
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校建設費 / 中学校費 学校建設費		
総合計画の体系	第3章 第2節 教育の振興	実施計画番号	16
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	学校支援課	開始年度	令和3年度

1 事業の概要・取組

概要	児童生徒の教育環境改善のためにトイレの大規模改修を行う。
令和8年度の主な取組	小学校2校、中学校1校のトイレの大規模改修を行う。

2 施設の概要、計画等

◆ 実施内容  
 委託：アスベスト調査委託  
 工事：トイレの洋式化、乾式化、床の段差解消  
 内装改修（トイレブース及び照明器具の更新）

◆ 整備スケジュール

	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 見込	R8年度 予定	計
小学校	3校	2校	2校	2校	2校	11校
中学校	3校	1校	1校	1校	1校	7校
計	6校	3校	3校	3校	3校	18校

【施工例 改修前】



【施工例 改修後】



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		181,864	310,000	240,000	240,000	240,000
主要な経費	工事請負費	181,279	304,000	237,250	237,250	237,250
	委託料	250	1,000	1,000	1,000	1,000
	事務費	335	5,000	1,750	1,750	1,750
財源	国庫支出金	36,649	58,638	48,112	48,112	48,112
	県支出金					
	市債	73,100	87,800	156,500	156,500	156,500
	その他特定財源(基金繰入金)	134,000	163,000	35,000		
	一般財源	▲ 61,885	562	388	35,388	35,388

事業名	学校外壁落下予防保全事業				
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校建設費 / 中学校費 学校建設費				
総合計画の体系	第3章 第2節 教育の振興	実施計画番号	16		
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合				
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和8年度		

1 事業の概要・取組

概要	小・中学校施設の老朽化に伴う外壁落下や雨漏りを予防するため、外壁及び屋上防水の改修を計画的に実施する。
令和8年度の主な取組	外壁改修及び実施設計等を行う。

2 施設の概要、計画等

◆ 実施内容  
 委託： アスベスト調査、実施設計業務  
 工事： 外壁改修

【老朽化した小・中学校施設】





3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				99,500	未定	未定
主要な経費	工事請負費			53,000		
	委託料			42,900		
	事務費			3,600		
財源	国庫支出金			17,857		
	県支出金					
	市債			72,700		
	その他特定財源					
	一般財源			8,943		

事業名	学校給食費支援事業 (完全無償化)		
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 保健体育総務費 / 学校給食共同調理場費		
総合計画の体系	第3章 第2節 教育の振興	実施計画番号	16
ゴール目標【KGI】	下関市は子育てがしやすいまちだと思える保護者の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和7年度

1 事業の概要・取組

概要	ポートレース未来基金及び給食費負担軽減交付金を財源として、市立小中学校に通う児童生徒の給食費を無償化し、子育て世帯の経済的支援を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小中学校に通う児童生徒の給食費を完全無償化する。</li> <li>・食物アレルギー対応のため学校給食の代替として弁当を持参する児童生徒の保護者に対し、食物アレルギー対応補助金を交付する。</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
支援の対象となる児童生徒の食数	食	3,034,242	3,060,000	2,930,000	2,930,000

3 参考情報

<p>○対象児童生徒見込人数 小学校10,167人、中学校5,327人、計15,494人</p> <p>○学校給食費 (1食当たり) 小学校390円、中学校455円</p> <p>○食物アレルギー対応補助金対象者見込人数 小学校15人、中学校5人、計20人</p>	<p><b>【給食費負担軽減交付金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を実施する公立小学校が対象で、国と県が財源を折半し交付。</li> <li>・児童1人当たり月額5,200円が上限</li> </ul>
--	---

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費			947,486	1,206,000	未定	未定
主要な経費	光熱水費等		76,106	72,726		
	賄材料費		870,755	1,131,810		
	補助金		625	1,464		
財源	国庫支出金					
	県支出金			581,552		
	市債					
	その他特定財源 <small>(基金繰入金・諸収入)</small>		947,486	624,000		
一般財源				448		

事業名	新規学習スペース設置検討業務		
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 社会教育総務費		
総合計画の体系	第3章 第4節 生涯を通じた学ぶ機会の提供	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	図書館や公民館、博物館などが整備され、いつでも、どこでも、だれでも学習する機会が充実していると思う市民の割合		
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	学生が通学に利用する機会が多い新下関駅周辺に快適な学習環境を新たに整備することで、中・高校生等の学習環境の向上と学習機会の確保を図る。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新下関駅周辺候補地調査</li> <li>・運営形態や管理体制の検討、整備費と運営経費の試算 など</li> </ul>

2 事業の目標指標

指標説明	単位	R6(実績)	R7	R8	最終(R11)
(市民実感調査) 図書館や公民館、博物館などが整備され、いつでも、どこでも、だれでも学習する機会が充実していると思う市民の割合	%	45.9	45.9	50.0	50.0

3 参考情報

▼中・高校生等駅周辺学習スペース  
 愛称：エキスタ  
 場所：大丸下関店5階（100坪）  
 席数：約100席  
 令和6年8月オープン  
 オープンから令和7年12月末までの利用者 約40,000人（約80人/日）

4 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				5,000	未定	未定
主要な経費	委託料			5,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			5,000		
一般財源						

事業名	玄洋地区複合施設(仮称)整備事業		
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 公民館費		
総合計画の体系	第3章 第4節 生涯を通じた学ぶ機会の提供	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	図書館や公民館、博物館などが整備され、いつでも、どこでも、だれでも学習する機会が充実していると思う市民の割合		
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	令和9年度からの玄洋中学校区小中一貫教育校の開校に伴い廃校となる西山小学校の跡地に、近隣にある公共施設の機能を移転・集約し、複合施設として整備する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設整備に向けた基本構想の策定</li> <li>・既存施設のアスベスト調査の実施</li> <li>・地域住民・施設利用者に対する説明会の開催</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

○集約化対象施設(移転・機能統合の検討対象)
①玄洋公民館
②彦島武道館
③勤労青少年ホーム(ユール下関)
④彦島宮の原老人憩の家
○スケジュール(予定)
令和8年度 複合施設整備の基本構想、アスベスト調査
令和9年度 設計・解体工事
令和10年度以降 施設整備
令和12年度以降 施設オープン

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				11,000	未定	未定
主要な経費	委託料			11,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			11,000		
	一般財源					

事業名	川中支所移転に伴う川中公民館改修事業		
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 公民館費		
総合計画の体系	第3章 第4節 生涯を通じた学ぶ機会の提供	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	図書館や公民館、博物館などが整備され、いつでも、どこでも、だれでも学習する機会が充実していると思う市民の割合		
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	現在、川中公民館（分館）に併設されている川中支所を川中公民館（本館）内へ移転するため、改修工事を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>川中公民館改修に向けた実施設計業務</li> <li>建物西側の駐車場整備</li> <li>公共下水道切替工事</li> <li>地域住民・施設利用者に対する説明会の実施</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

○施設概要（本館）	<ul style="list-style-type: none"> <li>竣工：平成4年6月（築33年）</li> <li>構造：4階建 鉄筋コンクリート造</li> <li>延床面積：2,903.22㎡</li> <li>利用状況：令和6年度 63,468人 令和5年度 61,004人 令和4年度 56,669人</li> </ul>	
○スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度 改修実施設計・西側駐車場整備等</li> <li>令和9年度～ 改修工事</li> <li>令和11年度 川中公民館への川中支所移転</li> </ul>	

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				64,900	未定	未定
主要な経費	委託料			27,700		
	工事請負費			36,000		
	事務費			1,200		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債			41,500		
	その他特定財源(基金繰入金)			23,000		
	一般財源			400		

事業名	吉見地区地域交流施設検討業務		
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 公民館費		
総合計画の体系	第3章 第4節 生涯を通じた学ぶ機会の提供	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合		
目標指標【KPI】	図書館や公民館、博物館などが整備され、いつでも、どこでも、だれでも学習する機会が充実していると思う市民の割合		
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和8年度

1 事業の概要・取組

概要	吉見地区では吉見公民館及び吉母公民館を地域づくり・まちづくりの拠点と位置づけてきたが、人口減少や少子高齢化などの社会情勢の変化を背景に、地域交流施設を軸とした新たな地域づくりが必要となっている。今後、地域の活性化及び住民の学習・交流拠点としての機能向上を図るため、施設のあり方について検討を行う。
令和8年度の主な取組	・吉見地区地域交流施設の基本構想策定業務

2 施設の概要、計画等

○施設概要	
<p>吉見公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工：昭和52年4月（築48年）</li> <li>・構造：3階建 鉄筋コンクリート造</li> <li>・延床面積：1,675.88㎡</li> <li>・利用状況：令和6年度 11,526人 令和5年度 11,004人 令和4年度 10,196人</li> </ul>	<p>吉母公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工：昭和53年4月（築47年）</li> <li>・構造：2階建 鉄筋コンクリート造</li> <li>・延床面積：481.56㎡</li> <li>・利用状況：令和6年度 380人 令和5年度 533人 令和4年度 514人</li> </ul>
	

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				3,000	未定	未定
主要な経費	委託料			3,000		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			3,000		

事業名	土井ヶ浜プロジェクト推進事業				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 博物館費				
総合計画の体系	第2章 第4節 連携・交流の推進	実施計画番号	—		
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)				
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数				
担当課名	文化財保護課	開始年度	令和8年度		

1 事業の概要・取組

概要	我が国屈指の重要遺跡である「国史跡土井ヶ浜遺跡」の存在を核として、関連する本市の歴史的遺産を最大限に活用し、地域の賑わい創出とシビックプライドの醸成を目的とした施設整備を推進する。
令和8年度の主な取組	土井ヶ浜プロジェクト推進事業の基本計画を策定し、事業内容や翌年度(令和9年度)以降の事業スケジュール等、必要な事項を整理する。

2 施設の概要、計画等

<p>○施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設名称：土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム</li> <li>・竣工：平成4年12月</li> <li>・構造：3階建 鉄筋コンクリート造</li> <li>・延床面積：1,977.66㎡</li> <li>・利用状況：令和6年度 9,173人 令和5年度 11,660人 令和4年度 11,124人</li> </ul> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画策定業務 15,700千円</li> </ul>	
--	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				15,700	未定	未定
主要な経費	委託料			15,000		
	事務費			700		
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)			15,000		
	一般財源			700		



# 上下水道局

事業名	長府浄水場更新事業		
予算区分	水道事業会計 資本的支出 建設改良費 長府浄水場更新事業費		
総合計画の体系	第5章 第9節 上水道の整備	実施計画番号	28
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	浄水施設の耐震化率		
担当課名	水道施設課	開始年度	平成22年度

1 事業の概要・取組

概要	長府浄水場は、本市の約80%の浄水を担う市内最大の浄水場であるが、昭和21年に給水を開始して以来80年が経過し、施設の老朽化が顕著にあらわれている。このことから、安定供給のための施設能力向上と併せ、事故や災害に強い施設とするために、民間事業者の技術力や創意工夫を活かせるDBO方式により更新事業を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長府浄水場更新事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計業務</li> <li>・統合着水井、浄水池、水処理棟、原水ポンプ槽及び自家発電棟の建設工事並びに場内配管工事等</li> </ul> </li> <li>○長府浄水場更新事業に係る工事監理等支援業務</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

○事業計画

- ・事業期間 : 平成22年度～令和26年度
- ・浄水処理方法 : 生物接触ろ過(上向流)+凝集(+粉末活性炭)+沈殿+再凝集+急速ろ過
- ・計画浄水量 : 88,000m<sup>3</sup>/日(既設浄水量 110,000m<sup>3</sup>/日)
- ・事業者 : 神鋼環境ソリューショングループ
- ・契約額 : 30,222,531,900円

○事業スケジュール

年度(和暦)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26			
設計・建設工事期間(DB部分)	← R4.8.29～R18.11(14年3か月) →																									
施設維持管理期間(O部分)																										

長府浄水場完成予想図



3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		1,370,782	1,251,715	3,379,712	5,549,313	5,034,511
主要な経費	設計業務及び建設工事	1,341,152	1,225,165	3,360,306	5,528,872	5,015,981
	委託料	29,557	26,246	19,195	19,910	18,282
	事務費	73	304	211	531	248
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	973,700	904,900	2,735,500	2,774,600	3,272,400
	その他特定財源(自己財源)	397,082	346,815	644,212	2,774,713	1,762,111
一般財源						

事業名	水道施設の耐震化事業			
予算区分	水道事業会計 資本的支出 建設改良費 耐震化事業費			
総合計画の体系	第5章 第9節 上水道の整備	実施計画番号	—	
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合			
目標指標【KPI】	基幹管路の耐震適合率（水道）			
担当課名	水道管路課／水道施設課	開始年度	平成24年度	

1 事業の概要・取組

概要	<p>事故や災害に強く安全で安心できるライフラインとしての水道施設を確保するため、「重要給水施設管路耐震化計画」に基づき、重要給水施設に供給している配水管の耐震化を推進する。</p> <p>また、「水道施設等耐震化事業計画」に基づき、主要配水池(5,000m<sup>3</sup>以上)についても耐震化を推進する。</p>
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要給水施設管路の耐震化（配水管の耐震化） φ150mm～φ600mm配水管耐震化工事等 延長 1,806m（1,806mのうち750mは、老朽施設更新事業の鋳鉄管更新工事にて施工）</li> <li>主要配水池の耐震化 彦島配水場耐震化工事（令和8年度～令和10年度継続費）</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<ul style="list-style-type: none"> <li>○重要給水施設管路耐震化計画（令和7年度変更） <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間：令和3年度～令和26年度</li> <li>・計画延長：38.6km</li> <li>・進捗率：34.2%（令和8年度末）</li> </ul> </li> <li>○水道施設等耐震化事業計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間：平成28年度～令和11年度</li> <li>・計画容量：46,000m<sup>3</sup> （長府配水池、彦島配水池、熊野配水池）</li> <li>・進捗率：78.3%（令和8年度末）</li> </ul> </li> </ul>	<p>ダクタイル鋳鉄管（耐震継ぎ手）</p>  <p>日本ダクタイル鉄管協会提供</p>
--	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		908,192	775,323	568,633	1,379,694	862,928
主要な経費	重要給水施設管路の耐震化	657,278	773,069	562,045	607,167	560,406
	主要配水池の耐震化	248,739		4,400	770,280	300,320
	事務費	2,175	2,254	2,188	2,247	2,202
財源	国庫支出金	12,705	10,045	5,603	103,589	89,424
	県支出金					
	市債	890,900	759,500	530,000	1,221,500	738,400
	その他特定財源(自己財源)	4,587	5,778	33,030	54,605	35,104
	一般財源					

事業名	水道施設の老朽施設更新事業		
予算区分	水道事業会計 資本的支出 建設改良費 老朽管更新事業費		
総合計画の体系	第5章 第9節 上水道の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	基幹管路の耐震適合率（水道）		
担当課名	水道管路課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	水道管の破損事故を未然に防ぎ、安全、安定、安心な給水体制を維持するため、経年劣化した管路の更新を実施する。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>長府浄水場～日和山浄水場間送水管更新 φ600mm送水管布設工事 延長 368m</li> <li>長府浄水場～長府配水場間送水管更新 φ800mm送水管布設工事 延長 129m</li> <li>鑄鉄管更新 φ200mm配水管布設工事 延長 1,363m</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<ul style="list-style-type: none"> <li>○長府浄水場～日和山浄水場間送水管更新計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間：平成28年度～令和10年度</li> <li>・計画延長：10.7km</li> <li>・進捗率：86.0%（令和8年度末）</li> </ul> </li> <li>○長府浄水場～長府配水場間送水管更新計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間：令和元年度～令和8年度</li> <li>・計画延長：1.7km</li> <li>・進捗率：100%（令和8年度末）</li> </ul> </li> <li>○鑄鉄管更新計画（令和7年度策定）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間：令和8年度～令和22年度</li> <li>・計画延長：18.0km（撤去延長）</li> <li>・進捗率：7.2%（令和8年度末）</li> </ul> </li> </ul>	<p>送水管布設工事 長府浄水場～日和山浄水場間（楠乃2丁目）</p> 
---	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		258,352	549,494	737,338	758,810	758,179
主要な経費	送水管の更新	250,908	544,654	321,365	290,817	348,545
	鑄鉄管の更新			410,400	463,426	403,777
	事務費	7,444	4,840	5,573	4,567	5,857
財源	国庫支出金			26,733	19,335	37,381
	県支出金					
	市債	209,600	548,400	699,800	702,500	684,700
	その他特定財源(自己財源)	48,752	1,094	10,805	36,975	36,098
	一般財源					

事業名	工業用水道施設の耐震化事業		
予算区分	工業用水道事業会計 資本的支出 建設改良費 耐震化事業費		
総合計画の体系	第5章 第10節 工業用水道の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	配水管路の耐震化適合率（工業用水）		
担当課名	水道管路課	開始年度	令和6年度

1 事業の概要・取組

概要	重要インフラである工業用水の安定供給を確保するため、「工業用水道配水管路耐震化計画」に基づき、工業用水道施設（工業用水道配水管）の耐震適合化を推進する。
令和8年度の主な取組	・工業用水道配水管路の耐震適合化 彦島迫町一丁目φ450mm配水管耐震化工事等 延長 88m

2 施設の概要、計画等

<p>○工業用水道配水管路耐震化計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間：令和6年度～令和32年度</li> <li>・計画延長：7.7km</li> <li>・進捗率：4.9%（令和8年度末）</li> </ul>	<p>配水管耐震化工事</p> 
---	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		47,863	162,888	47,846	55,469	63,851
主要な経費	工業用水道配水管路の耐震化	47,863	162,888	47,846	55,469	63,851
財源	国庫支出金			10,658	6,240	7,182
	県支出金					
	市債	42,100	115,600	26,000	34,400	39,600
	その他特定財源(自己財源)	5,763	47,288	11,188	14,829	17,069
	一般財源					

事業名	下水道施設の改築・耐震化事業		
予算区分	下水道事業会計 資本的支出 建設改良費 管渠布設費/処理場築造費/ポンプ場築造費		
総合計画の体系	第5章 第11節 下水道の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	重要管路の耐震化率（下水道）		
担当課名	下水道管路課/下水道施設課/北部事務所	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	管路及び施設の老朽化による事故や機能停止といったリスクを未然に防ぐため「下関市下水道ストックマネジメント計画」を基に、事業費の平準化に留意しながら老朽施設の改築・耐震化を推進することで、下水道機能の維持を図る。実施に際しては、個々の施設や設備の状態に応じて費用対効果を考慮しながら、更新又は改築を行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処理場設備の改築（電気・機械設備）、耐震診断業務等</li> <li>・ 中継ポンプ場設備の改築（電気・機械設備）</li> <li>・ マンホールポンプ場更新（ポンプ・非常通報装置）</li> <li>・ 管路の点検調査（対象延長 6,600m）</li> <li>・ 管路の改築（更新延長 1,818m）</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

○下関市公共下水道全体計画		
・ 計画期間	: 昭和33年度～令和27年度	下水道管更生工法(内部の様子)
・ 計画対象施設	: 管延長 1,002 km	(竹崎町四丁目)
	: 処理場 7か所	
	: ポンプ場 24か所	
・ 重要管路の耐震化率	: 45.6% (令和8年度末)	

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		703,527	1,020,641	2,540,454	2,356,495	3,264,426
主要な経費	施設工事費	507,539	838,175	2,384,121	2,222,428	3,036,580
	委託料	195,772	181,956	154,077	133,759	227,535
	事務費	216	510	2,256	308	311
財源	国庫支出金	132,748	365,374	942,630	996,362	1,385,497
	県支出金					
	市債	354,739	495,720	1,229,345	1,247,647	1,748,408
	その他特定財源(自己財源)	216,040	159,547	368,479	112,486	130,521
	一般財源					

事業名	浸水対策事業		
予算区分	下水道事業会計 下水道事業費用 営業費用 雨水渠費 / 資本的支出 建設改良費 雨水渠布設費		
総合計画の体系	第5章 第11節 下水道の整備	実施計画番号	—
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	下水道による都市浸水対策達成率		
担当課名	下水道管路課	開始年度	平成17年度

1 事業の概要・取組

概要	近年増加傾向にある集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、「下関市公共下水道全体計画」に基づき、浸水が頻繁に発生する地域において、令和23年度末の整備率100%を目標として雨水渠の改築を着実に推進している。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水渠等の工事（東新田雨水1号幹線（小月南町）、小串第4排水区）</li> <li>・工事設計業務（西部排水区（新地西町）、浜田排水区（富任町））</li> <li>・下関市内水ハザードマップ作成</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<p>○下関市公共下水道全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間 : 昭和33年度～令和27年度</li> <li>・計画内容 : 雨水渠等の整備</li> <li>・都市浸水対策達成率 : 39%（令和8年度末）</li> </ul>	<p>ボックスカルバートの設置 （田中町）</p> 
---	---

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		412,896	244,375	155,623	230,065	226,252
主要な経費	施設工事費	365,294	145,110	61,710	229,570	225,470
	委託料	23,452	80,994	88,792	144	144
	事務費	24,150	18,271	5,121	351	638
財源	国庫支出金	131,824	100,880	33,144	58,740	56,690
	県支出金					
	市債	225,450	94,820	47,500	170,830	168,780
	その他特定財源(自己財源)	55,622	48,675	74,979	495	782
	一般財源					

事業名	処理場の統廃合事業		
予算区分	下水道事業会計 資本的支出 建設改良費 ポンプ場築造費		
総合計画の体系	第5章 第11節 下水道の整備	実施計画番号	28
ゴール目標【KGI】	都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く（ハード面）、生活全般に満足を感じている市民の割合		
目標指標【KPI】	ゴール目標【KGI】と同じ		
担当課名	下水道施設課	開始年度	平成21年度

1 事業の概要・取組

概要	官民連携を検討の上、老朽化した筋ヶ浜終末処理場を廃止し、山陰終末処理場に統合することで、費用の削減、汚水処理の合理化、効率化、水質環境の改善、環境負荷の軽減を推進する。
令和8年度の主な取組	PFI手法の導入可能性の検討等を行う。 ・統廃合事業に係る導入可能性調査業務及びアドバイザー業務 ・（仮称）第2武久中継ポンプ場用地取得に伴う土地調査測量業務

2 施設の概要、計画等

○施設の概要 【新規施設】 ・（仮称）第2武久中継ポンプ場 ・圧送管：約1km 【既存施設】 ・山陰終末処理場（現況処理能力：52,175m <sup>3</sup> /日） 【廃止予定施設】（令和12年度以降） ・筋ヶ浜終末処理場及び第三中継ポンプ場 ○事業スケジュール ・導入可能性調査等の委託期間：令和7年度～令和9年度
--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費				65,497	3,998	
主要な経費	委託料等			65,497	3,998	
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(自己財源)			65,497	3,998	
	一般財源					

# ボートレース企業局

事業名	ボートレース下関リニューアル事業		
予算区分	ボートレース事業会計 資本的支出 建設改良費 施設設備改良費		
総合計画の体系	第2章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	10
ゴール目標【KGI】	観光消費額(地域外からの外貨獲得)		
目標指標【KPI】	観光客数/宿泊客数		
担当課名	ボートレース事業課	開始年度	令和3年度

1 事業の概要・取組

概要	昭和40年代に建設した整備棟を始め、施設全体の老朽化が進んでいるため、施設の改修を実施し、併せて、施設全体が地域とのつながりを持ち、地域と共生する集いの場となるよう、ボートレースパーク化を進め、ボートレース下関のリニューアルを行う。
令和8年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新競技棟整備：工事施工(令和7年度～令和10年度継続費)</li> <li>○中央スタンド大規模改修ほか：実施設計</li> <li>○護岸改修及び防風ネット整備：工事施工(令和5年度～令和8年度継続費)</li> <li>○外向発売所「ふく～る下関」拡張：工事施工</li> <li>○レジャー・スポーツゾーン整備：設計・工事施工</li> </ul>

2 施設の概要、計画等

<p>○施設の概要</p> <p>敷地面積 157,227㎡</p> <p>建設 整備棟(S45)、管理棟(S44) スタンド 【西(S55)、中央(H11)、東(S44)】 外向発売所(H24)</p> <p>○事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備棟と管理棟を統合し、新競技棟を建設</li> <li>・中央スタンドを大規模改修</li> <li>・東スタンド跡地整備</li> <li>・護岸改修及び防風ネットを整備</li> <li>・外向発売所を拡張</li> <li>・レジャー・スポーツゾーン整備</li> </ul>	
--	--

3 予算情報

(単位:千円)

年度		R6決算	R7予算	R8予算	R9予定	R10予定
事業費		436,932	1,645,000	9,022,280	5,837,510	14,120,340
主要な経費	委託料	257,129	376,000	551,780	230,000	10,000
	工事請負費	179,803	1,269,000	8,470,500	5,607,510	14,110,340
財源	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	その他特定財源(自己財源)	436,932	1,645,000	9,022,280	5,837,510	14,120,340
一般財源						

## 參考資料

### 第3次下関市総合計画 目標指標一覧

指標体系表

章	ゴール目標【KG1】		節	各種施策	目標指標【KPI】				
	No.	指標名			No.	指標名			
1	産業・就業	KG1	生産性(市内就業者1人当たり総生産)	1	農林水産業の振興	KP1	第1次産業(農業/林業/水産業) 総生産額		
		KG2	市民雇用者1人当たりの報酬	2	商工業の振興	KP2	第2/3次産業総生産額		
		KG3	企業所得額	3	地域産業を支える労働力の確保	KP3	就業率		
						KP4	やりたい仕事を見つけやすいと感じる若者の割合		
2	交流・にぎわい	KG2	市民雇用者1人当たりの報酬	1	文化・スポーツの振興	KP5	観光客数/宿泊客数		
						KP6	市民1人当たりのスポーツ施設年間利用回数		
		KG3	企業所得額	2	観光・レクリエーションの振興	再掲	観光客数/宿泊客数		
		KG4	観光消費額(地域外からの外貨獲得)	3	みなとのにぎわいの創出	KP7	下関港外国人入国者数		
		KG10	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合	4	連携・交流の推進	KP8	挑戦でき活躍しやすい環境が整っていると感じる若者の割合		
再掲	観光客数/宿泊客数								
3	子ども・子育て・教育	KG5	下関市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合	1	子ども・子育て支援の充実	KP9	理想だと思ふ子どもの人数として「3人以上」と回答した保護者の割合		
						KP10	全国学力・学習状況調査における全国と本市の比較値①小学6年②中学3年 <全国平均を100とした場合>		
		KG6	将来の夢や目標を持っている子どもの割合(①小学6年②中学3年)	2	教育の振興	KP11	自分には良いところがあると思ふ児童生徒の割合 ①小学6年②中学3年		
		KG10	生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合	3	地域の教育力の向上	KP12	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思ふ子どもの割合について、山口県(平均)と本市の比較値①小学6年②中学3年 <山口県平均を100とした場合>		
4	健康・保健・福祉・医療	KG7	健康寿命の延伸	1	保健・医療の充実	KP13	図書館や公民館、博物館などが整備され、いつでも、どこでも、だれでも学習する機会が充実していると思ふ市民の割合		
						2	地域福祉の充実	KP14	健康づくりに関するサービスや医療環境などが充実し、健康的な生活がしやすいと実感する市民の割合
						3	高齢者福祉の充実	KP15	日常の暮らしの中で、相談できる人や場所があると感じている市民の割合
		KG11	市民一人ひとりの人権や多様性が尊重されており、誰もが個性と能力を発揮できる、共生・協働社会に向けた取組が進んでいると感じる市民の割合	4	障害者福祉の充実	KP16	高齢者が、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して生活を送っていると思ふ市民の割合		
						KP17	障害のある人、その家族にとって、日常や将来の生活に不安なく暮らしやすいと思ふ市民の割合		
						KP18	障害福祉サービスの支給決定者数		
5	低所得者福祉の充実	6	包括的な支援体制づくり	KP19	生活困窮者自立相談支援サービス提供率				
				KP20	就労支援により就労開始や常用就職した割合				
6	包括的な支援体制づくり	6	包括的な支援体制づくり	KP21	支援関係機関の役割分担、支援の方向性の整理等を行った件数				

章	ゴール目標【KGI】		節	各種施策	目標指標【KPI】	
	No.	指標名			No.	指標名
5	都市基盤・生活基盤	KG1 生産性(市内就業者1人当たり総生産)	1	市街地の整備	KP22	居住誘導区域の人口密度
			2	良好な景観の形成	KP23	魅力ある下関らしいまちなみや景観などが形成されていると感じる市民の割合
		KG2 市民雇用者1人当たりの報酬	3	住環境の整備	KP24	下関市公営住宅等長寿命化計画における目標管理戸数の削減達成率
					KP25	空き家バンク累計成約件数
		KG3 企業所得額	4	公共交通の整備	KP26	市民のバス利用率
					KP27	市民の鉄道利用率
					KP28	コミュニティ交通オンデマンド路線数
		KG8 都市・生活基盤において、インフラ環境は、利便性や防災機能が強く(ハード面)、生活全般に満足を感じている市民の割合	5	道路の整備	KP29	安全で便利な道路機能が構築されていると感じる市民の割合
			6	道路・橋梁等老朽化対策の推進	KP31	橋梁等健全度割合
		KG9 都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており(ソフト面)、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合	7	河川・海岸環境の整備	KP32	浸水箇所整備率
			8	公園・緑地の整備	KP33	都市公園における行為許可件数
			9	上水道の整備	KP34	浄水施設の耐震化率
					KP35	基幹管路の耐震適合率(水道)
10	工業用水道の整備		KP36	配水管路の耐震化適合率(工業用水)		
11	下水道の整備		KP37	重要管路の耐震化率(下水道)		
			KP38	下水道による都市浸水対策達成率		
12	港湾の振興	KP39	輸出入貨物量			
13	スマートシティの推進	KP40	しもまちプラス等で提供する各種サービスの利用率			
6	環境	KG9 都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており(ソフト面)、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合	1	豊かな自然や暮らしの環境の保全	KP41	環境基準達成率(大気・水質)
			2	自然と調和した脱炭素社会の構築	KP42	温室効果ガス排出量
			3	循環型社会の進展を目指した廃棄物処理の推進	KP43	市民1人1日当たりのごみ排出量
7	安全・安心・共生・協働	KG9 都市・生活基盤において、安全安心で、環境にもやさしく、市民のニーズに沿ったサービスの提供も充実しており(ソフト面)、不便や不安なく日常生活を送っていると感じている市民の割合	1	生活安全の推進	KP44	犯罪認知件数
					KP45	交通事故(人身)の発生件数
					KP46	救急講習に参加した人数
					KP47	消防団員加入割合
		KG10 生涯学習や地域イベントへの参加、地域貢献活動など、交流やコミュニケーションの機会が充実し、社会参画・参加しやすいと感じる市民の割合	2	公衆衛生の充実	KP48	個別避難計画の作成率
					KP49	必要な物や場所は衛生的で安心して利用できると思う市民の割合
		KG11 市民一人ひとりの人権や多様性が尊重されていて、誰もが個性と能力を発揮できる、共生・協働社会に向けた取組が進んでいると感じる市民の割合	3	人権意識の醸成、男女共同参画・多文化共生の推進	KP50	動物愛護管理センターにおける犬猫の殺処分頭数
					KP51	人権が尊重されていると感じる市民の割合
					KP52	性別を理由として、役割を固定的に分けることにとらわれない考え方を持っている市民の割合
					KP53	多文化共生社会の推進に向けた取組件数
4	市民協働の推進	KP54	市民活動団体とボランティアギルド登録者のマッチング件数			
8	行政経営	KG12 市政の動向の把握や市政情報を適切に入手し、様々な行政サービスを活用できていると感じる市民の割合	1	行政機能の充実	KP55	市報やホームページなど市政情報の発信や市民の声の聴取などの環境が充実していると思う市民の割合
					KP56	国が推奨する「地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続」におけるオンライン化達成率
		KG13 将来負担比率	2	持続可能な行財政基盤の構築	KP57	財政調整基金残高